ACCESS MAP 交通のご案内

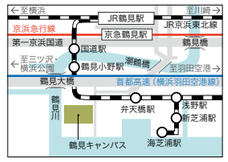
［編集・発行］横浜市立大学 広報課
2023.05

舞岡キャンパス（木原生物学研究所）

- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科
  ［生命環境システム科学専攻］
- 木原生物学研究所

〒244-0813　横浜市戸塚区舞岡町641-12
TEL.045-820-1900
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

鶴見キャンパス



- 理学部
- 生命医科学研究科
  ［生命医科学専攻］

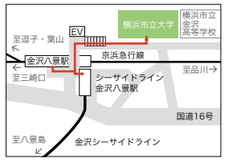
〒230-0045　横浜市鶴見区末広町1-7-29
TEL.045-508-7201、7202
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、「理研・市大大学院前」下車
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分

みなとみらいサテライトキャンパス

〒220-8107　横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー7階
TEL.045-681-7560
●横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩3分
●市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分
●JR京浜東北線・横浜線「桜木町駅」下車徒歩5分

金沢八景キャンパス

- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部（医学科・看護学科）※1年次
- 都市社会文化研究科
  ［都市社会文化専攻］
- 国際マネジメント研究科
  ［国際マネジメント専攻］
- 生命ナノシステム科学研究科
  ［物質システム科学専攻］
  ［生命環境システム科学専攻］
- データサイエンス研究科
  ［データサイエンス専攻］
  ［ヘルスデータサイエンス専攻］

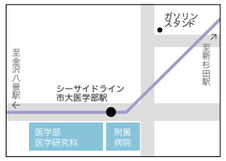


〒236-0027　横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2311
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

福浦キャンパス

附属病院

- 医学部（医学科・看護学科）
- 医学研究科［医科学専攻］［看護学専攻］
- 先端医科学研究センター



〒236-0004　横浜市金沢区福浦3-9
福浦キャンパス　TEL.045-787-2511
附属病院　TEL.045-787-2800
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

附属市民総合医療センター

〒232-0024　横浜市南区浦舟町4-57　TEL.045-261-5656
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分　●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分

※デバイスによっては読み取れない場合があります

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

Twitter @YCU_koho
LINE @yokoichi
Facebook YokohamaCityUniv
Instagram yokohama_city_university

横浜市立大学 アドミッションズセンター
〒236-0027　神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2055　FAX.045-787-2057
www.yokohama-cu.ac.jp

100
伝統と革新の、その先へ
1928 - 2028

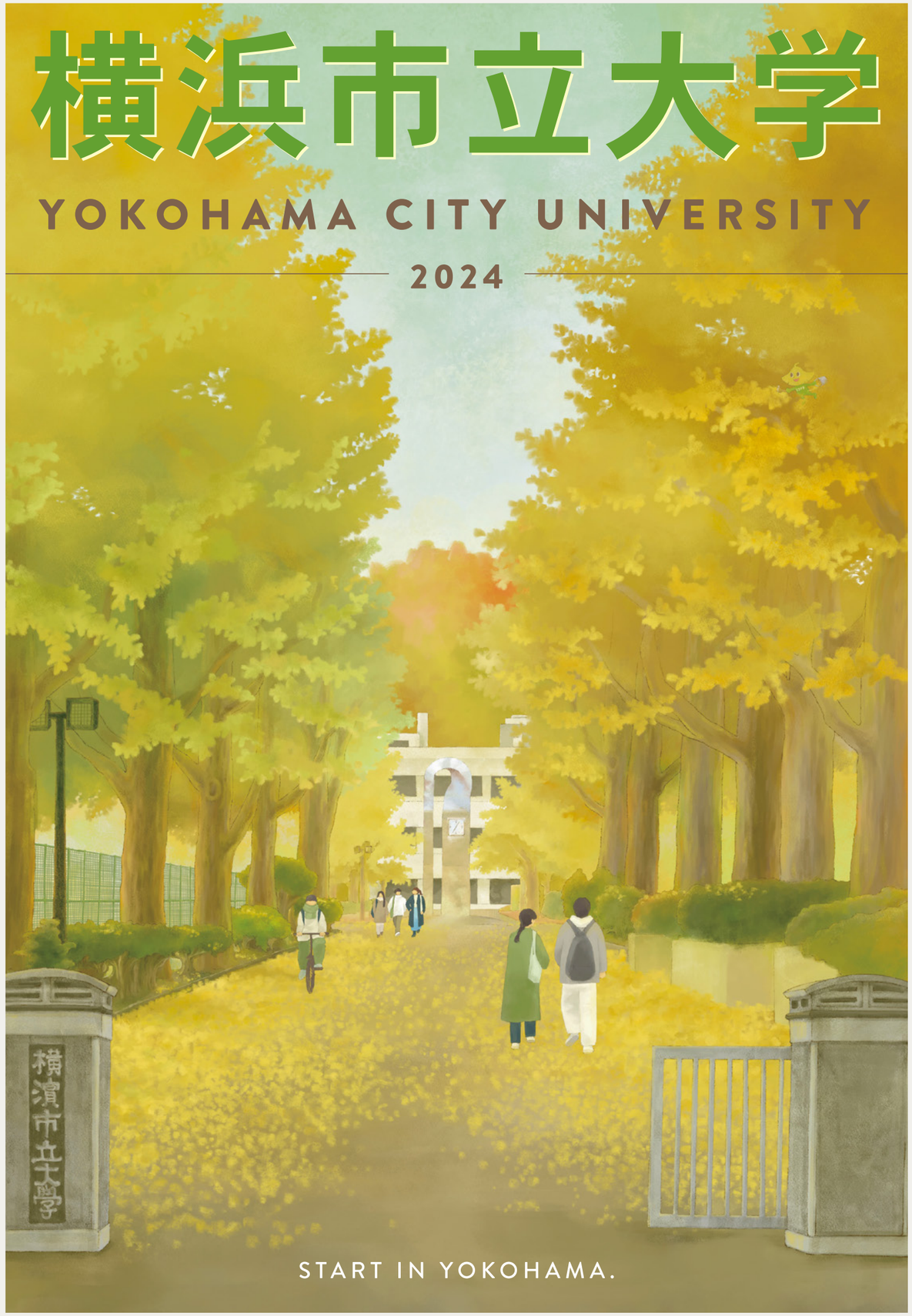
YCU 大学案内 2024

横浜市立大学

横浜市立大学

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

2024



CONTENTS
・目次・

プロローグ 02

- 学長メッセージ 02
- 横浜市立大学の3つの特長 03
- ヨコハマと歩む 04
- 活躍する卒業生 06
- 数字で見るYCU 10

学びのフィールド 12

- 学部・大学院構成 12
- 学部教育のカタチ 14

YCUの共通教養 14

グローバル教育 20

- 海外で学ぶ
  海外で実践する 20
- グローバル人材育成 22
- 短期留学・研修プログラム 23
- 長期留学・研修プログラム 24

- 海外フィールドワーク
  支援プログラム 26
- オンラインプログラム 26
- 海外インターンシップ 27

ヨコハマで学ぶ 28

領域横断教育 30

学部紹介

国際教養学部 32

国際商学部 38

理学部 44

データサイエンス学部 50

医学部 56

- 医学科 58
- 看護学科 66
- 二つの附属病院 73

研究施設・連携研究機関 74

- 先端医科学研究センター 74
- 次世代臨床研究センター 74
- 鶴見キャンパス 76
- 木原生物学研究所
  （舞岡キャンパス） 77
- 連携大学院・海外連携機関等 78
- みなとみらいサテライト
  キャンパス 78

Researcher Interview 79

学生支援 80

- 進路状況 80
- キャリアサポート 82
- さまざまな学生サポート 83
- 図書館 83

キャンパスライフ 84

- 数値で見る学生生活／
  学生お気に入りスポット／
  YCUトリビア／
  YCUの1年 84
- 実家暮らし・一人暮らし 86
- Club/Circle 88
- キャンパス紹介
  金沢八景キャンパス 90
  福浦キャンパス 92

学資・奨学金 94

YCUの最新情報 96

WEBへのアイコンについて

詳しくは WEBで

さらに詳しい情報はWEBサイトに掲載中！
WEBサイトでは常に最新情報を
発信しているので、要チェック！

詳しくは ヨコ知り！

受験生向けWEBマガジン「ヨコ知り！」では、
受験に役立つ情報やYCU生の
キャンパスライフを発信中！

GO GLOBAL.
START IN
YOKOHAMA.

相原 道子
MICHIKO AIHARA

1956年3月生まれ。神奈川県出身。医学博士。専門は皮膚科学。1980年横浜市立大学医学部卒業。西ドイツMAX-PLANCK研究所、米国STANFORD UNIVERSITY MEDICAL CENTER、小田原市立病院、横浜市立大学医学部附属病院、横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター等を経て、2008年横浜市立大学附属病院皮膚科教授、2011年横浜市立大学医学部皮膚科学教授。附属病院副病院長、病院長を歴任した後、2020年4月より現職。

PRESIDENT'S MESSAGE 学長メッセージ

キーワードは「新たな社会の創造をリードし、社会に貢献する大学」

社会の課題に意欲的に挑戦する人材、世界レベルの研究と医療を推進する人材を育てたい

横浜市立大学は、近年、大規模な学部・研究科の再編・新設をはじめとする大学改革に取り組んできました。大学創立90周年となる2018年にデータサイエンス学部を新設、2019年には国際総合科学部を国際教養学部、国際商学部、理学部に再編、2020年4月にデータサイエンス研究科を新設し、2023年4月にヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程を新設しました。これまでの文理融合的な視点で「課題を発見、解決する力」を育んできた教育の土台を基盤に、それぞれの専門分野における先端的知識を獲得し、それを活用する能力を身に付けることにより、複雑化する社会課題に対して主体的に対応できる人材を育成しています。

また、2020年4月に横浜の中心部であるみなとみらい21地区にオープンしたサテライトキャンパスでは、大学院教育や産学官連携、企業とのコラボレーションによる共同研究等を展開し、イノベーションの創出を目指しています。

医学部医学科では、グローバルスタンダードに準拠した医学教育を推進し、医学研究科医科学専攻では世界水準の研究を目指すなど国際的に活躍できる医師や研究者の育成に力を入れています。医学研究科看護学専攻では、博士後期課程を設置し、市内唯一の看護学における高度人材の育成と研究の拠点として活動しています。

少人数による教育に取組み、学生と教職員との距離感が近いことも大きな特長です。経済支援やキャリア支援などさまざまな学生支援も充実しています。これらの教育環境に加えて、世界に誇る研究力も横浜市立大学の強みです。それぞれの学問領域において独創的・先端的な研究を数々発信し続けると共に、領域横断的に新たな価値を創出し社会のイノベーションに繋がる研究にも取り組んでいます。また、二つの附属病院においては、安全かつ高度で先進的な医療を提供しています。感染症のパンデミックの対応や高度救命救急医療など、横浜市民の安心・安全のために「最後の砦」としての役割を果たしています。

さらに横浜市立大学の設立団体である横浜市が「SDGs未来都市・横浜」の実現を目指す中、本学が持つ教育・研究等のリソースを活用し、SDGs の目標達成に向けて取り組んでいます。

これまで、名実共に横浜と歩んできた横浜市立大学は2028年に創立100周年を迎えます。伝統と革新のその先に、さらなる発展を誓い、これからも横浜市立大学は「知の拠点」として教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすべく、より良い大学づくりを進めます。

横浜市立大学　学長　相原 道子

YCU's Special Features

横浜市立大学の 3つの特長

教育プログラム

広い視野と知識から、自らの専門性を切り拓く

- すべての学生が1年次の共通教養科目で、専門科目の基盤となる知識、姿勢、思考法を学べる
- Practical EnglishやAdvanced Practical Englishで、英語によるコミュニケーション力を鍛えられる
- 少人数の演習等、多彩な教授陣による専門教育が受けられる領域横断型のプログラム

地域貢献とグローバル

国際都市横浜で学び、世界に通用する力を身に付ける

- 横浜というフィールドで課題を発見し、解決策の実践を通して地域や世界の問題を学べる
- 駐日大使の講演会や国際イベントへの参加等、横浜にいながら多様な国際経験を積める
- 海外フィールドワークや留学、海外インターンシップで、世界へと飛び出し、自分を試せる

きめ細かな学生支援

コンパクトだから、温かい距離感

- 教養ゼミやPractical English、専門での演習等、少人数クラスで自ら、能動的に学べる
- 学生数約5,000人という規模だからこそ、教員との距離が近く、親身な指導が受けられる
- 履修や課外活動、留学や就職相談等、スタッフから手厚いサポートが受けられる

ヨコハマと歩む
The History of Yokohama City University

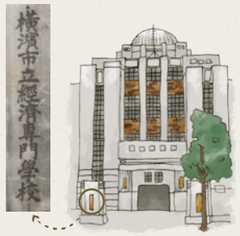
YCUの源流は、明治初頭に設立された横浜商法学校、横浜仮病院まで遡る。明治の早い時期に商業学校や病院が設立されたのは、当時、横浜が日本第一の貿易港で国際商業都市だったから。その後、創立される1928年の横浜市立横浜商業専門学校（Y専）、1944年の横浜市立医学専門学校を経て、1949年に新制大学として横浜市立大学に。以来、開国、開港の地である横浜にふさわしい、開放的で国際性、進取性に富む学風は、YCUの伝統として受け継がれている。

1882

横浜市立大学創立年

1882 横浜商法学校（Y校）
1888 横浜商業学校
1917 横浜市立 横浜商業学校
1928 横浜市立 横浜商業専門学校（Y専）

1942



1942年頃 横浜市立経済専門学校

1944

学生生活も戦時色が濃くなる。
1944年卒業アルバムより

1949 横浜市立大学 新制大学の設置認可 横浜医科大学設立

1944 横浜市立 経済専門学校
1949 横浜市立大学 商学部

1944 横浜市立 医学専門学校
1949 横浜医科大学

1871 横浜仮病院
1872 横浜中病院 横浜共立病院
1874 県立十全医院
1891 横浜市十全医院
1898 横浜市立 十全看護婦養成所

1944 横浜市立医学専門学校 附属十全病院
1949 横浜医科大学病院

1871年(明治4年)、早矢仕有的が「仮病院」を開設

早矢仕 有的
(1837-1901)

米国人宣教師兼医師として来日。仮病院では週１回診療をし、1880年まで十全医院の中心となって活躍した。

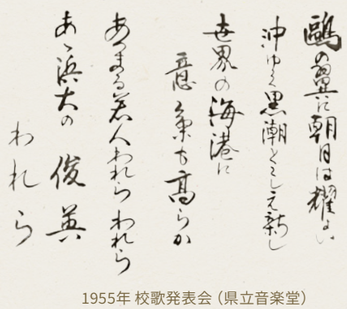
Duane B. Simmons
(1834-1889)

1874

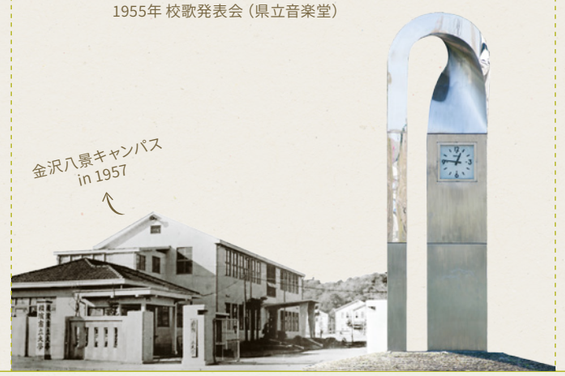
1924

1924年 大震災後の仮病院

1955



1955年 校歌発表会（県立音楽堂）



1952 横浜市立大学（商・文理・医）横浜市看護婦養成所
1971 医学部付属高等看護学校
1995 横浜市立大学（商・国際文化・理・医）看護短期大学部
2005 横浜市立大学（国際総合科学部／国際総合科学科、医学部／医学科・看護学科）

1991 医学部附属浦舟病院
2000 医学部附属市民総合医療センター
2005 附属市民総合医療センター

1954 横浜市立大学医学部病院
1991 医学部附属病院
2005 附属病院

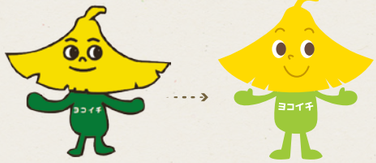
1987

1987年 医学部が福浦キャンパスに移転

1958

1958年頃の横浜市立大学
医学部病院（浦舟）

2008



横浜市立大学キャラクター「ヨッチー」
創立80周年企画で、2008年に誕生。
学生プロジェクトの発案、デザインをもとに、
在学生、卒業生、教職員からの人気投票により決定。

2018

2018年4月 首都圏初の
データサイエンス学部誕生

2018 横浜市立大学（国際総合科学部、データサイエンス学部、医学部／医学科・看護学科）
2019 横浜市立大学（国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部／医学科・看護学科）

大学院沿革

医学研究科（1961～）、経営学研究科・経済学研究科（1970）、総合理学研究科（1989）、総合理学研究科・連携大学院／生体超分子システム科学専攻（2001）・国際文化研究科（1993）を統合して国際総合科学研究科（2005～2009）を設置、国際総合科学研究科を再編し、都市社会文化研究科、国際マネジメント研究科、生命ナノシステム科学研究科を設置（2009～）、医学研究科看護学専攻（2010～）、生命医科学研究科（2013～）、医学研究科看護学専攻博士後期課程（2018～）、データサイエンス研究科（2020～）、ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程（2023～）

詳しくは ヨコ知り！

PROFILE.

Name　山下 理子 Riko Yamashita
Class of　2020年度卒
Course　国際総合科学部 国際都市学系
※学部再編により、現在は国際教養学部

財務省　大臣官房秘書課

国の未来を支える人材の採用活動を担当

▼財務省の大臣官房秘書課で採用担当として活躍する山下理子さん。就活生に向けた説明会の企画や広報活動を行っている。

「日々、公務員を目指す受験生に、財務省の魅力を伝える説明会の開催や情報の発信などを行っています。採用活動をするにあたっては、例えば、どのような企画が一番財務省の魅力を伝えることができるのか、多くの受験生に分かりやすい情報を届けるにはどうしたらよいのかなど、どのようなことをするにも担当チーム内で色々な意見が出され、それを一つの形にしていく難しさがあります。ですが、一人でも多くの受験生に財務省を志望していただき、それが良い採用に繋がり、更に凛々しい姿で入省を迎えたときには、非常に大きな喜びがあります。引き続き、一人でも多くの方に財務省で働いてみたいと思ってもらえるよう就活生のみなさんが初めて出会う職員が私であることを忘れず、業務に取り組んでいきたいです。入省3年目の現在、入省前に憧れた先輩方の姿からは程遠いですが、上司や同僚に支えられながら学びの多い日々を過ごしています」

卒業論文で、山下さんは住宅政策についての研究をした。特に、緊縮財政下における英国の住宅政策について研究していたという。

「教養科目を通じて、まちづくりやごみ屋敷について学んだことで、住環境の大切さを感じるようになりました。2万字以上に及ぶ論文の執筆には苦労もありましたが、公務員としてベースとなる公共政策の在り方を考えることができ、非常に有意義であったと感じています」

部活動や短期語学研修仲間からの刺激が活力に

▼在学中は部活動でジャズオーケストラに所属していた山下さん。部活動以外にも短期語学研修へ参加するなど、国際的な学びにも注力していた。

「部活は週2日、例年秋に行われる大会へ出場する他、地域のイベントにも参加していました。大学2年生の春休みには短期の語学研修でアイルランドのダブリンへ行き、他国の学生と学ぶ貴重な経験ができました。国際的な教育に力を入れているYCUに集まる学生の関心は広く、そんな仲間からの刺激は今でも私の活力になっています。YCUで過ごす時間はきっと宝物になります。日々の授業や友人を大切に、頑張ってください」

受験生応援メッセージ

市大で過ごした4年間は大切な宝物です！皆さんも頑張ってください！

○ 私の仕事道具 ○

大学卒業時に贈られたボールペン。YCUでは多くのことに挑戦する友人と出会えたので、このボールペンを使う時は、そんな友人たちを思い出し、「私も負けないぞ！」という気持ちになり、それが日々の活力になっている。

☆ 学生時代のEPISODE ☆

部活のジャズオーケストラ「Second Wind Jazz Orchestra」ではトランペットを担当していた。「部活の良いところは、普段は授業が被ることが少ない学部の人とも仲良くなれることですね。今でも交流のある仲間がたくさんいます」と山下さん。

環境とユーザーへの想いを研究技術にのせて

▼株式会社LIXILにて、研究開発者として働く遠藤翔一さん。現在は、環境にやさしいおしゃれな新住宅素材の開発をしているという。

「植物栽培や大自然の鑑賞が趣味で、それもあってか人一倍環境意識が強かったんです。昨今の自然回帰の価値観を鑑み、自然や植物と融和した新素材を世に出したく、研究所だけでなく、デザイナーや設計者など部署外の多くの方々の支えのおかげで、入社1年目に描いたチャレンジングな研究をさせて頂いています。

もちろん、作りたいからただ作るのではありません。十億人の人々の快適な住生活を提供させて頂くメーカーである以上〝LIXIL〟というブランドとして愛される商品、その裏にある配慮と愛のある技術を提供することが必須です。どこの地方に住む、どんな趣味嗜好を持った、どんな方がどんな理由でこの新素材を愛用くださるか。

常にお客様の想定内外の行動にも耐えうる安心安全な品質を、お客様のことを想いながら培った化学や物理の知見を基に技術として作りあげる。大変ではありますが、未来の快適な日常を創れる、やりがいのある仕事です」

そんな遠藤さんは大学院で〝新規抗がん剤リード化合物TaepeeninDの合成開発の研究に力を入れていたという。

「日本の3大疾患に数えられるがんの細胞を抑制・死滅させるには、副作用がつきものの抗がん剤治療が必要です。しかし、天然からごく少量採取されるTaepeeninDは、抗がん作用を持ちながら副作用を持たない事が発見されました。植物の体内ではなく人間の手で、この物質を合成する方法を作る研究をしていました。『技術で誰かの人生や生活を変える』ということこそ、今にも通ずる私の研究の原動力でありロマンです」

目標をもって楽しく刺激的な毎日を生きる

▼在学中はハンドボール部と学園祭実行委員会に所属していた遠藤さん。YCUで出会った人たちから、たくさんの刺激を受けたという。

「わかりやすく〝生き方や感性のベクトルが弾けている〟、そんな個性豊かな人たちと卒業後も続く人間関係を作りたく、所属先を選択しました。彼らと過ごすなかで、仲間への尊敬やルール遵守をしつつ、大事な試合やイベントに向けてトコトン本音で話し合い努力し、ふざける時はトコトンふざけ倒す。かけがえのない思い出を作り上げるためのプロセスの大切さを知りました。失敗も多々ありましたが、惜しげもなく喜怒哀楽をさらけ出し、泣いて笑って歌って飲んで学んだ学生時代は私の宝物です。大学進学の目的は、十人十色かもしれませんが、〝どんな人とどんなことをしたいか？〟何を身に付け社会で何をするのか？〟それを決めているかどうかは、後々の質を大きく左右させるかもしれません」

培った知見をもとに
愛される商品を作りだすやりがいのある仕事

詳しくは ヨコ知り！

PROFILE.

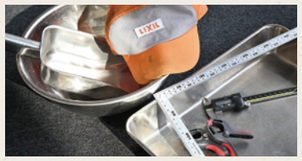
Name　遠藤 翔一 Shoichi Endo
Class of　2019年度卒
Course　生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程
（国際総合科学部 理学系卒業）

株式会社LIXIL
技術研究所研究員

受験生応援メッセージ

〝自分らしい生き方ってなんだろう？〟その問答があなたの価値になります

○ 私の仕事道具 ○



学生時代はフラスコやシリンジを用いてμgスケールの化合物を取り扱っていたが、現在はラボで4kg程のサンプルを作るそう。そのため、用いる道具もスコップやバケツ、定規など、みなさんの身近にあるようなものが研究道具として使われているそう。

☆ 学生時代のEPISODE ☆

YCU在学当時にお世話になった、学生担当の田村さん(左)と友田さん(右)。「自分のことは単に〝変わってる〟と思っていた私に、私自身の長所・短所を教えてくれて、自信を付けてくれた方々です。YCUでは必死に頑張る学生に、職員やOBも手を差し伸べてくれました。時には対等な仲間のように、物事に対して一緒に感動することもある素敵な環境でした」と遠藤さん。

患者さん一人ひとりのことを理解し
最適な関わり方を考える日々

詳しくは
ヨコ知り！

PROFILE.

Name	谷口 夏澄 Kasumi Taniguchi
Class of	2016年度卒
Course	医学部 看護学科
	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 看護部

大学時代の学びを活かしながら患者さんに関わっていく

▼横浜市南区浦舟町にある市民総合医療センターの消化器外科病棟で看護師として勤務する谷口夏澄さん。

「主にがん患者が多い病棟で、手術で根治を目指す患者さんだけではなく、いわゆる終末期にある方とも関わる機会が多くあります。患者さんの価値観や、これまでの生活状況、退院後はどう生活するか、ご家族との関係など、様々な面で患者さんを捉えて、向き合うことが重要です」

そんな業務において、YCUで得た学びはどう生きているのか。

「卒業研究ではがん終末期にある患者さんへの関わり方について研究しました。そこで得た知見は今の仕事に役立っています。また、課題に感じることについて、様々な論文を調べて考察したり、病棟で情報共有したりできているのも、卒業研究での経験が生かされていると思います」

幅広い交流を楽しみながら看護の学びを深めた日々

▼資格を持てて、困っている人のために何かできる仕事をしたいと考えて、高校生の頃に看護師の道を志した谷口さん。YCUは自宅からは遠かったものの、総合大学であるところに魅力を感じて入学した。

「1年生では共通教養科目で他学部の学生と一緒に学べる機会があったし、部活のアカペラ部でも広く交流できました。また、『医学部』の看護学科なので、医学科の学生と一緒に受ける授業もあって、医学に関する専門性を深められる環境はYCUならではの良さだと思います。もちろん、附属病院があって目指しやすい進路があるのも魅力でした」

大学時代には、看護師として働くための強固な土台固めができたと谷口さんは話す。

「実習で患者さんと関わったり、実際に働く看護師の方々の姿を見たりして、看護とは何か、自分はどんな看護師になりたいのか、という看護に対する思いを深めていったように思います。YCUでの学びは、働いていて何か困難が生じた時に、それを乗り越える基盤になっています。特に、何かの問題に対して、ただ経験を基に考察するのではなく、理論や先行研究などの根拠に基づき考察する姿勢が身に付けられたのは、今後患者さんと関わり続けていくうえでも、非常に良かったと思います」

受験生応援メッセージ

色々なことに興味をもって
世界をたがやしていって下さい。
ぜひ楽しんで!!

○ 私の仕事道具 ○

聴診器、アルコール消毒液、患者さんの肌に当たっても傷つけないようにカバーが付いたハサミ、手荒れを防ぐハンドクリーム、ペン類など。電卓とタイマーが一体化した機器は、点滴の速度を計算したり、回診など自分へのリマインドのために使う。

☆ 学生時代のEPISODE ☆

学部を越えて学生が集まるアカペラ部に所属していた。部員同士でバンドを組み、よく空きコマを利用して練習していた。年に数回、部がライブを企画してライブ出演をかけたオーディションを受けたり、学内や他大学への宣伝活動も行っていた。

病気の症状にとどまらない多くの問題を
チームでサポートしていきたい

PROFILE.

Name	竹田 雄馬 Yuma Takeda
Class of	2015年度卒
Course	医学部 医学科
	横浜市立大学附属病院 緩和医療科　助教

詳しくは
ヨコ知り！

患者や家族と深く話し合い個々に合った提案で支える

▼がん患者を中心に、患者の状況に応じて症状の緩和やメンタル面での様々な問題をサポートする緩和ケア。竹田雄馬さんは、緩和医療科の医師として、看護師・薬剤師などの多職種からなる緩和ケアチームのリーダーをしている。

「緩和ケアは、その時の症状だけでなく、患者さんの仕事の事や、将来の不安なども考慮して、生活の質を上げられるようトータルでサポートします。本人やご家族と話し合い、今後どう過ごしていくかを決めていく。このような『治す医療』とは違う『支える医療』は、今後重要になってくるでしょう。自分は患者さんと一緒に考えられる医師を目指していたので、まさに今の仕事は理想の姿といえるかもしれません」

患者さんと対話をしながらオーダーメイドの提案をして、生活の質が向上した時の喜びは大きい。

「治療のために色々な事をあきらめている方に対して、我々が介入する事で、できる事が増えて、その人らしく過ごせるようサポートできた時は、やりがいを感じますね。そのためには、様々な病気や治療のことを日々勉強して、チームの連携をしっかり取る事が欠かせません」

今でもつながっているともに高め合った仲間たち

▼実家が高齢者施設などを営み、自然と医師の道を選択した竹田さん。生まれ育った横浜で医師を目指していたためYCUに進学した。

「臨床実習では、すべての診療科で実際の診療に参加できるので、各診療科の知識や考え方を学べた経験は、現在とても役に立っています。また、部活動も積極的に取り組みましたが、そこで育まれたチームをまとめる力は、今の仕事に生きています。YCUの医学部は定員が少なく、かつ目指す方向が同じなので、学生同士の団結力が強い。試験が多いですが、毎回、楽しく勉強会や反省会をして、一緒に励まし合いながらお互いを高め合っていました。卒業後も、仲間との付き合いは続いていて、附属病院以外でも横浜市内で働く人が多いので、常に仲間の存在を身近に感じられる。これは素晴らしい事ですね」

受験生応援メッセージ

人生に無駄なことは
1つもありません.
迷ったら絶対に
チャレンジして下さい!!

○ 私の仕事道具 ○

患者さんが1週間どのように過ごしたか、何があったかなどを記入してもらう専用の用紙。ここから患者さんがどんな日々を過ごし、来週は何をやりたいのか、今何に困っているかを探って、一緒に考える。緩和ケアでは、実はかなり重要なアイテム。

☆ 学生時代のEPISODE ☆

国家試験後にクラス旅行で伊豆に行った際の1枚。60名以上が参加した。「医学部では、同級生全員が同じ目標に向かって進む仲間で、家族のような存在でした。励ましあいながら多くの実習を乗り越え、成長することができました」と竹田さん。

数字で見る YCU

よこはまりつだいがく

留学生数 130人

23カ国・地域

本学に在籍している外国人留学生の数

（2022年11月1日現在）

海外留学・研修参加者 485人

（2023年3月1日現在）

世界大学ランキング 国内11位タイ 公立大学では1位

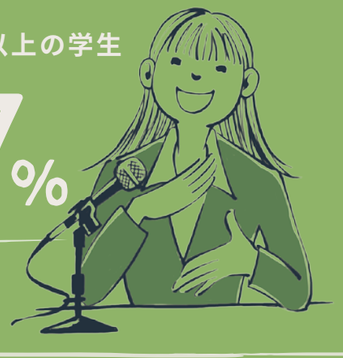
THE（Times Higher Education）世界大学ランキング2023で、YCUは国内の大学では11位タイ、公立大学では4年連続1位となりました。

（Times Higher Education World University Rankings 2023の発表をもとに掲載）

TOEFL-ITP 500点相当以上の学生 98.7%

Practical Englishの最低達成条件をクリアしている学生の割合

（2021年度修了時点）



部活動・サークル数 119団体

（2022年4月現在）

運動系団体：56団体
文化系団体：51団体
その他サークル：12団体

※金沢八景キャンパス・福浦キャンパスの合計

医師国家試験合格率 97.9%

（2022年度実績）

（全国平均）91.6%

※既卒含む

看護師国家試験合格率 100%

（2022年度実績）

（全国平均）90.8%

※既卒含む

海外大学・研究機関等と締結している交流協定数 86

キャリアサポートイベント数 約100

キャリア支援センターが行っているキャリア・就職支援イベントの数

（2022年度実績）

国際総合科学部学生数

国際総合科学科	68人

男子 34 人／女子 34 人

国際教養学部学生数

国際教養学科	1,253人

男子 303 人／女子 950 人

国際商学部学生数

国際商学科	1,165人

男子 577 人／女子 588 人

理学部学生数

理学科	519人

男子 268人／女子 251人

データサイエンス学部学生数

データサイエンス学科	259人

男子 184 人／女子 75 人

医学部学生数

医学科	557人

男子 343人／女子214 人

看護学科	411人

男子 9 人／女子 402 人

大学院学生数

都市社会文化研究科	68人

博士前期 49 人　男子 26 人／女子 23 人
博士後期 19 人　男子 10 人／女子 9 人

国際マネジメント研究科	43人

博士前期 35 人　男子 20 人／女子 15 人
博士後期 8 人　男子 7 人／女子 1 人

生命ナノシステム科学研究科	134人

博士前期 118 人　男子 63 人／女子 55 人
博士後期 16 人　男子 9 人／女子 7 人

生命医科学研究科	121人

博士前期 85 人　男子 36 人／女子 49 人
博士後期 36 人　男子 24 人／女子 12 人

データサイエンス研究科	95人

博士前期 81 人　男子59 人／女子 22 人
博士後期 14 人　男子 12 人／女子 2 人

医学研究科 医科学専攻	437人

修士 38 人　男子 12 人／女子 26 人
博士 399 人　男子 288 人／女子 111 人

医学研究科 看護学専攻	68人

博士前期 44 人　男子 11 人／女子 33 人
博士後期 24 人　男子 3 人／女子 21人

（2023年4月1日現在）

国際総合科学部　進路状況

■国際教養学系　就職率 94.6%

	就職	進学	その他
計	139	4	18

■国際都市学系　就職率 97.7%

	就職	進学	その他
計	127	5	8

■経営科学系　就職率 97.6%

	就職	進学	その他
計	246	9	16

■理学系　就職率 95.7%

	就職	進学	その他
計	45	97	5

データサイエンス学部　進路状況

■データサイエンス学科　就職率 96.6%

	就職	進学	その他
計	28	19	0

（2021年卒業生）

留学生数（人）

（2023年4月1日現在）

所属		正規生	研究生	交換留学生	合計
学部	国際総合科学部	3	0	0	3
	国際教養学部	14	0	15	29
	国際商学部	20	0	12	32
	理学部	10	0	1	11
	データサイエンス学部	3	0	1	4
	学部生合計	**50**	**0**	**29**	**79**
大学院	都市社会文化研究科	12	0	0	12
	国際マネジメント研究科	18	1	0	19
	生命ナノシステム科学研究科	4	1	0	5
	生命医科学研究科	1	0	0	1
	データサイエンス研究科	3	0	0	3
	医学研究科	10	1	0	11
	大学院生合計	**48**	**3**	**0**	**51**
合 計		**98**	**3**	**29**	**130**

教員数（人）

（2023年4月1日現在）

所属・配属	教授	准教授	講師	助教	助手	計
学術院（国際総合科学群）	**79**	**57**	**3**	**13**	**0**	**152**
国際教養学部	24	17	2	0	0	43
国際商学部	15	11	1	0	0	27
理学部	30	22	0	13	0	65
データサイエンス学部	9	6	0	0	0	15
国際総合科学部	1	1	0	0	0	2
学術院（医学群）	**60**	**100**	**98**	**379**	**2**	**639**
医学部医学科	42	33	42	80	2	199
医学部看護学科	10	3	7	15	0	35
データサイエンス研究科	2	5	1	0	0	8
生命医科学研究科	1	2	0	1	0	4
附属病院	1	15	22	120	0	158
附属市民総合医療センター	2	40	26	161	0	229
保健管理センター	1	0	0	0	0	1
先端医科学研究センター	0	2	0	2	0	4
研究・産学連携推進センター	1	0	0	0	0	1

学部・大学院構成

YCU 教育の特長

学　部	PAGE	学　科	学　位	入学定員	キャンパス		特　色	教員数	取得できる資格	卒業必要単位数	大学院
国際教養学部	P.32	国際教養学科	学士（学術）	270	金沢八景キャンパス		多様な学問群の中から多角的な視点と豊かな教養を育み、確かな外国語運用能力と思考力で、現代社会や都市の課題を解決できる人材を育成	専任教員数 43名	教員免許 （英語）	124	**都市社会文化研究科** ■都市社会文化専攻 修士（学術）／博士（学術）
国際商学部	P.38	国際商学科	学士（経営学） 学士（経済学）	260	金沢八景キャンパス		グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力等「実学」を意識した、社会に変革をもたらすグローバル・リーダーを育成	専任教員数 27名	—	124	**国際マネジメント研究科** ■国際マネジメント専攻 修士（経営学）／修士（経済学） 博士（経営学）／博士（経済学）
理学部	P.44	理学科	学士（理学）	120	金沢八景キャンパス 鶴見キャンパス 舞岡キャンパス		物理学、化学、生物学を基盤とし、生命現象を原子・分子・細胞・個体それぞれのレベルで解明し、融合的に物質科学と生命科学に挑んでいける人材を育成	専任教員数 69名	教員免許 （理科）	124	**生命ナノシステム科学研究科** ■物質システム科学専攻 ■生命環境システム科学専攻 修士（理学）／博士（理学） **生命医科学研究科** ■生命医科学専攻 修士（理学）／博士（理学）
データ サイエンス学部	P.50	データ サイエンス学科	学士 （データサイエンス）	60	金沢八景キャンパス		数理や統計といった専門的な教育のみならず、文系理系にとらわれない広範な教育でビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、新たな社会的価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストを育成	専任教員数 15名	—	124	**データサイエンス研究科** ■データサイエンス専攻 ■ヘルスデータサイエンス専攻 修士（データサイエンス）／ 修士（ヘルスデータサイエンス）／ 博士（データサイエンス）／ 博士（ヘルスデータサイエンス）
医学部	P.58	医学科	学士（医学）	90	金沢八景キャンパス 福浦キャンパス		豊かな人間性と深い知性を有し、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して、人類の福祉に貢献できる人材を育成	専任教員数 207名	医師 国家試験 受験資格	201	**医学研究科** ■医科学専攻 修士（医科学）／博士（医学）
	P.66	看護学科	学士（看護学）	100	金沢八景キャンパス 福浦キャンパス		高い教養と専門性だけでなく、他者の痛み、喜びも理解できる豊かな人間力で未来の看護をけん引できるリーダーを育成	専任教員数 35名	看護師 保健師 国家試験 受験資格	124	**医学研究科** ■看護学専攻 修士（看護学）／博士（看護学）

※データサイエンス研究科は、2020年に新設しました。国際教養学部、国際商学部、理学部は、2019年に国際総合科学部を再編し、開設しました。データサイエンス学部は、2018年に新設しました。
※専任教員数は「客員教員」「特別契約教員」を除く。

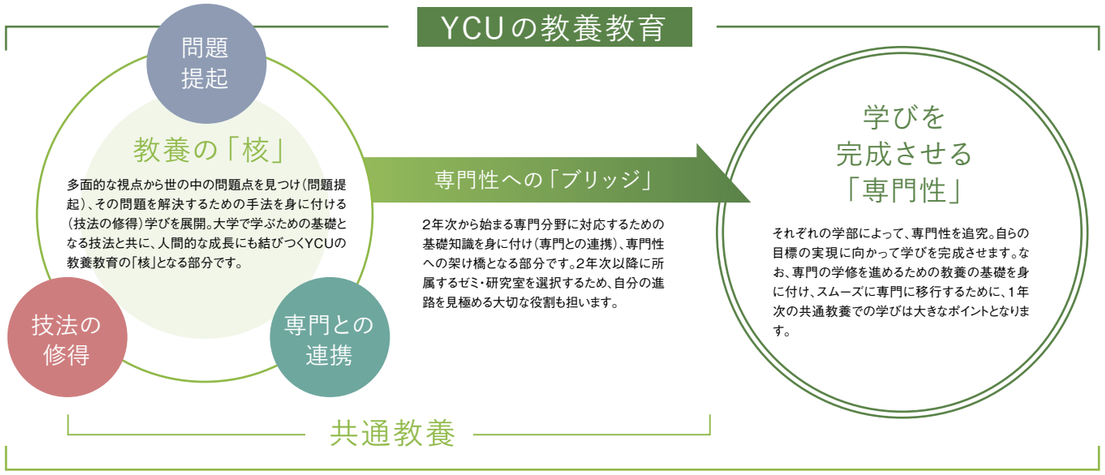
学部教育のカタチ

YCUの学部教育は、教養教育、グローバル教育、地域での学び、そして専門教育を柱として展開していきます。教養教育は、他大学に先がけて展開した文理融合型のアプローチをベースとした、共通教養科目が中心となります。また、国内外でのグローバル体験を積み、多様性を理解し、コミュニケーション力を身に付けるグローバル教育や、自分たちの暮らす「ヨコハマ」をフィールドに地域や社会の課題解決に実践的に取組む地域での学びによって総合力を高めていきます。この総合力を、それぞれの専門教育において応用・深化させていく、そんな体系的な教育プログラムがYCUにはあります。

YCUの共通教養

自ら問題を発見し、解決する力を修得する

共通教養は、YCUの教育の土台であり、「自ら主体的に課題を発見して解決する力」を育てていく事を目標としています。問題の解決には、情報の質を見極め、主体的に選別する能力や技術が必要になり、ときには高い専門性が求められる場面もあります。問題を発見してから試行錯誤を重ねて解決に至るプロセスに必要な基礎力を獲得するため、YCUの共通教養科目は、「問題提起科目」「技法の修得科目」「専門との連携科目」という大きく3つの科目群で構成されています。全学部の学生は、入学後1年次よりこれらの科目群を通して学ぶ姿勢を身に付け、さらには問題の発見・課題解決の力を修得していきます。



共通教養3つの科目群

★ 必修科目

問題提起科目群

★YCUリベラルアーツ入門

総合講義

特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。

- 国際関係論
- 環境論入門
- まちづくり学入門
- 連携特別講座「国際協力の実践と課題」
- 企業家に学ぶ
- 生命科学と環境
- 医療と社会
- Education in the World
- 現代社会とジェンダー
- 鎌倉・金沢を知る
- 横浜学事始
- 多文化社会を考える
- データサイエンス入門
- 国際マネジメント
- 物質と生命

多文化交流ゼミ

Practical English合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現する事を学びます。

- 現代アジア・太平洋地域事情
- 横浜の中にある外国人コミュニティー
- 外国人の日本研究
- 世界で報道される日本
- Comparing Education in the World
- Japan from Foreigner's View
- Global Communications

実践科目

実践する事で、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。

- キャリア形成実習
  - キャリアデザイン
  - プレ・インターンシップ
  - インターンシップ
  - 横浜の産業と企業理解
- 健康スポーツ実習
  - 春期スポーツ種目
  - 秋期スポーツ種目
  - ウエルネスライフ実習
- 自然体験実習
  - ボードセーリング
  - ヨット
  - シーカヤック
- 長期海外研修
- 短期海外研修
- 福祉施設実習
- 特別講座
  - 留学科目・共通教養A
  - 留学科目・共通教養B
  - 留学科目・共通教養C
  - 留学科目・共通教養D

技法の修得科目群

ゼミ

- ★ 教養ゼミ
- ★ 基礎ゼミ（国際教養学部・国際商学部・理学部のみ必修）

語学

- ★ Practical English
- Essential Practical English
- Advanced Practical English Ⅰ～Ⅶ
- 看護英語

初習外国語

Practical English合格者対象の科目です。中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があります。※国際教養学部 教養学系のみ必修

- ドイツ語教養基礎Ⅰ
- ドイツ語教養基礎Ⅱ
- ドイツ語教養実践
- フランス語教養基礎Ⅰ
- フランス語教養基礎Ⅱ
- フランス語教養実践
- 中国語教養基礎Ⅰ
- 中国語教養基礎Ⅱ
- 中国語教養実践A
- 中国語教養実践B
- 中国語教養実践C
- 韓国・朝鮮語教養基礎Ⅰ
- 韓国・朝鮮語教養基礎Ⅱ
- 韓国・朝鮮語教養実践A
- 韓国・朝鮮語教養実践B
- 韓国・朝鮮語教養実践C
- スペイン語教養基礎Ⅰ
- スペイン語教養基礎Ⅱ
- スペイン語教養実践

- 日本語入門Ⅰ
- 日本語入門Ⅱ
- 日本語Ⅰ
- 日本語Ⅱ
- 日本語Ⅲ
- 日本語実践
  - 文章表現A
  - 文章表現B
- 文章表現C
- 口頭表現A
- 口頭表現B
- 口頭表現C
- アカデミックジャパニーズA
- アカデミックジャパニーズB
- 留学生のキャリアデザインA
- 留学生のキャリアデザインB

※留学生・帰国生対象

情報関連科目

- ★ 情報リテラシー
- DSリテラシー
- プログラミングA
- プログラミングB
- プログラミングC

専門との連携科目群

基礎科学講義

専門への接続科目

- 心理学入門
- 文化研究入門
- 思想研究入門
- 文学研究入門
- 健康スポーツ科学入門
- 倫理学入門
- 歴史学入門
- 世界史概説
- 社会学入門
- 国際社会学入門
- 政治学入門
- 経営学入門Ⅰ
- 経営学入門Ⅱ
- 法学入門
- 経済学入門Ⅰ
- 経済学入門Ⅱ
- 簿記入門Ⅰ
- 簿記入門Ⅱ
- 民法入門
- 日本国憲法
- ビジネス統計Ⅰ
- ビジネス統計Ⅱ
- ゲーム理論入門
- 経営管理論
- 微分と積分
- 微分と積分演習
- 行列とベクトル
- 行列とベクトル演習
- 物理学概説A
- 物理学基礎演習A
- 物理学概説B
- 物理学基礎演習B
- 化学概説A
- 化学概説B
- 化学概説C
- 生物学概説A
- 生物学概説B
- 生物学概説C
- 基礎物理学実験
- 基礎化学実験
- 基礎生物学実験
- 統計と確率
- 科学の倫理学
- 英米文化理解A
- 英米文化理解B
- 英語学入門A
- 英語学入門B
- イギリス文学入門
- アメリカ文学入門
- English Grammar for Higher Education
- Introduction to Psychology
- Topics in Modern Psychopathology
- 欧米研究入門
- 課題探究科目
  - Japanese Globalization Comparative Context
  - History of Modern Japan
  - 現代社会の見方
  - 歴史から今を知る
  - 企業の経済学
  - ライフサイクルの経済学
- 病気を科学する
- 哲学入門
- 社会調査法入門
- 芸術入門
- 日本史概説
- アジア研究入門
- データサイエンス倫理
- 国際文化論
- 人間科学論
- 国際社会論
- 都市政策・まちづくり論
- リメディアル講座
  - 基礎物理学
  - 基礎生物学
  - 医学科基礎物理学
- 地理学入門

※ データサイエンス学部、医学部の学生が履修する共通教養科目の科目名については、上記の科目名と一部異なるものがあります。
国際教養学部、国際商学部、理学部の再編に伴う科目名変更によるものですので、履修する内容は、5学部共通です。
※ 上記科目は2023年4月1日現在となります。今後、科目名が変更となる可能性があります。

Pick up科目

YCUリベラルアーツ入門

めまぐるしく変化する現代社会においては、多様な価値観を認め合いながら、世界や地域におけるさまざまな課題を主体的に解決していく必要があります。そのためには、領域を超えて多面的かつ柔軟に思考し、多様性を受容し、人間と社会をより深く理解しようとするリベラルアーツの涵養が求められます。横浜市立大学では、2023年度から全学部1年生の必修科目「YCUリベラルアーツ入門」を開講しました。この講義では、リベラルアーツの根幹を成す領域のゲスト講師による講演や本学の卒業生による学びの体験や現在の活動についての講演を聴きます。また、講義の中で提起された課題について「教養ゼミ」で議論することでさらに理解を深めていきます。

オンラインによって、離れた3つの教室で同時に講義を行う

教養ゼミ

受験生のための WEB マガジン
ヨコ知り！ THE MOVIE

詳しくは ヨコ知り！

教養ゼミの目的は、「考える力」と「それをカタチにする力」を体得することです。なぜなら、大学では自らの疑問から「問い」を設定し、それを研究し、発表する事が求められるからです。教養ゼミでは問いを定め、それを研究・発表していく過程を通して、データの信頼性・データと正しく向き合う姿勢・多様な意見の尊重を習得し、自分の考えを表現する力を育成していきます。専門の異なる教員2名と学部の異なる学生で少人数クラスを形成し、その中で自由に活発に議論を交しながら「大学での研究の第一歩」を踏み出します。

情報系科目・ADEPTプログラム

現代社会には大量の情報が溢れています。今後さらに進む情報化社会において、適切な情報を見抜いて、データを解析していく能力が不可欠となりますが、それと同時に情報倫理や情報モラルを身に付けることも必要です。そこで、横浜市立大学では全学生が1年次に情報リテラシーを学びます。さらに、DSリテラシーや総合講義（データサイエンス入門）を学び、その基盤の上に専門領域の科目を積み上げ、確かなデータサイエンスのスキルを身に付けていきます。

情報リテラシー

コンピュータや情報ネットワークの用途や動作原理などの基礎知識、情報倫理、情報セキュリティーを学んだ上で、表計算ソフトを用いた実践的な実習課題を行います。データの活用方法を学び、学生生活に必要な基本的スキルを身に付けます。なお、情報リテラシーで学んだことを教養ゼミで実践することで理解を深めることができます。

DSリテラシー

データサイエンスの基礎を学ぶ講義です。具体的には、データの集計・分析・可視化などの基礎的な内容と統計的手法を用いたデータ解析を学びます。講義は座学と演習を中心に展開されますが、実践的な実習も行うことで、データサイエンスの素養を身に付けます。

ADEPTプログラム
AI Data Science Education Program forTomorrow

情報化社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事場で使いこなすことができるように、基礎的素養を身に付けておくことが重要となっています。このプログラムは、修得した知識・技能を基に、人間を中心とした適切な判断ができ、自らの意志でデータやAI技術を有効かつ、安全に活用することができる人材育成を目的としています。このプログラムを修めた学生には修了証が授与されます。

MDASH Literacy
数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 リテラシーレベル
認定の有効期限：令和9年3月31日

キャリア形成実習

キャリア教育のスタート

これから先の人生（キャリア）をスタートする準備を行うのがキャリア形成実習です。インターンシップでは、自分の将来のキャリアと照らし合わせ、実際に就業体験を行う事で、進路についての理解を深めます。国内に限らず、海外でのインターンシップも推進しています。インターンシップに参加、報告を行う事で、卒業単位として認定されます。

基礎科学講義

知識を学問に変える準備

基礎科学講義の大きな柱は二つ。その分野を勉強するために必要な基本概念の修得を目指す入門科目と、事象を主体的かつ批判的に分析する思考方法を身に付ける課題探究科目です。さらには、実験を通じて自然科学の基礎を修得する科目、高等学校での知識を補うリメディアル講座も用意されています。これらは共通教養の科目なので、所属する学部に関わらず、自分の問題意識にあった講義を履修する事ができます。

※このページの写真は2020年以前に撮影したものが含まれています。

Pick up科目

Practical English

国際水準の英語による コミュニケーション能力を身に付ける

Practical Englishの目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスターティングポイントに立つ事にあります。授業は、４つの基本的なスキル（読む・書く・話す・聞く）を使いながらすべて英語で進められ、英語を使う事、英語で考える事、英語で学ぶ事を修得します。到達度を客観的な基準（TOEFL-ITP）で測り、500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の修得には、授業への8割以上の出席も求められます。授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリング等をはじめ、さまざまな学生のサポートはPractical English Centerが行います。

Advanced Practical English

PE クリアは、 ゴールではなくスタート

Practical Englishで到達したTOEFL-ITP500点という水準は、あくまでもスタート地点です。Advanced Practical Englishでは、このスタート地点に立った学生が、留学や国際協力といったさまざまな活動を本格的に行う事ができる力を身に付けられるよう、レベル別、目的別のクラスを用意しています。また、YCUで提供している学生海外派遣プログラムとも連携し、TOEFL-iBT, IELTS等の受検や、英語圏の大学学部レベルの授業に必要なスキルの養成にも対応。英語を使って世界に羽ばたく学生をサポートします。

コミュニケーション・アワー

インストラクターと自由な会話を行い、英語を使う機会が豊富にあります。平日にスケジュールされた時間であれば、予約不要で学生は誰でも自由に参加できます。集まった学生とインストラクターによって会話が展開され、継続的に参加する事により、話す力と聴く力を養う事ができます。曜日や時間によってインストラクターが代わるため、さまざまな出身地やその国の文化、習慣、趣味等に触れる事ができ、教養の幅も広がります。（新型コロナウイルス感染防止のため、2022年度は予約制で実施）

ライティング・センター

学生の英文作成能力を向上させる事を目的にPractical English Center内に設置されたセクションで、英語による文章作成のプロセスを指導・サポートします。指導は1対1のチュートリアル方式です。単なるネイティブチェックや翻訳サービスの提供ではなく、文章の作成と構成（アカデミックな表現や文章構造等）ができるようになるためのサポートを行っています。このようなライティング・コンサルの体制が整っている大学は国内ではまだ少数です。

多文化交流ゼミ

グローバル人材、はじめの一歩

Practical EnglishとAdvanced Practical Englishで培った英語力を生かす場としての多文化交流ゼミ。使用言語はすべて英語。ゲストスピーカーによる講義、グループでテーマに沿ったリサーチ、プレゼンテーション、クラスディスカッションの流れを繰り返しながら、学生中心に展開される授業です。アメリカ・カナダ大学連合やCITYNETといった横浜にある国際機関の協力により開かれる科目もあり、大学レベルでの実践的英語力を身に付けると同時に、広い視野に立った思考力と発信力を養います。

初習外国語

母語 ＋ 英語 ＋ もうひとつの外国語

英語の授業に加えて、外国語の授業を中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択して履修する事ができます。グローバル化がますます進展するこれからの社会で、複数の外国語・文化に習熟する事は、複雑化するさまざまな文脈の中で自分を生かす力＝生きる力を形づくる事です。まず最初に週3回の授業に積極的に取組む事で、生活上の基礎的な運用能力を身に付ける事が可能です。続いてそれぞれの専門領域における社会活動や、学術研究活動での実践的な受信・発信能力を養成します。海外の大学へ留学できる道も開かれています。

※国際教養学部 教養学系のみ必修

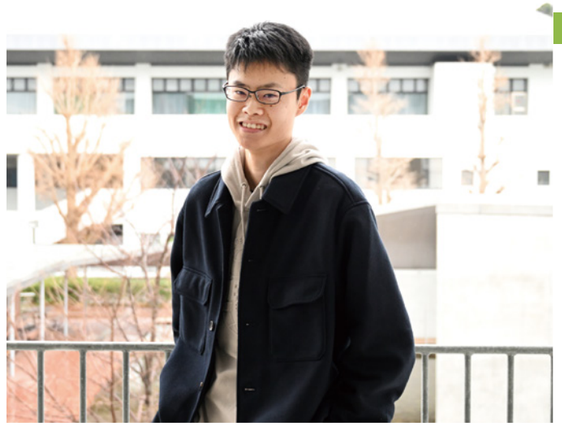
※このページの写真は2020年以前に撮影したものが含まれています。

学生の声

魅力的な講義の数々によって 将来のビジョンが明確になった。

国際教養学部 国際教養学科 2年
マニトバ州（カナダ） Goose Lake High School卒
百瀬 有紗 Arisa Momose

将来は国際協力に携わる道を志している自分にとって、共通教養科目の「国際関係論」や「環境論」の講義は、現在の国際社会の課題を自分自身の問題として、深く考える事ができる貴重な機会でした。特に、国内外で現在活躍されているゲスト講師の方々のお話は、食い入るように聞いてしまうほど興味深い内容で、ゲストに直接質問をすることもできます。私は「国際関係論」の講義がきっかけで、自分の夢に近づくために留学と大学院への進学を決意しました。留学予定のハンガリーでは、国際関係についての専門的な知識を身に付け、視野を広げる事が今から楽しみです。



学生の声

専門分野を深めるための 幅広い他分野の知識が身に付く。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 2年
神奈川県立小田原高等学校卒
濱口 巧磨 Takuma Hamaguchi

共通教養科目は、経営学や簿記、心理学といった様々な科目を履修できるので、物事を多面的に考えることができます。自分の専門であるデータサイエンスは、マーケティングや環境分野など様々な領域で使われるため、１年次のうちに幅広く他分野の知識を身に付けておくことは、より深い学びにつながるはずです。「環境論入門」では地球温暖化の状況などを詳しく知ることができたし、「経営学入門」では、企業でマーケティングを行う際に必要とされる、経営の基礎的なことを学べました。今後データサイエンスを学んでいく際、ここで得た知識を積極的に活用していきたいです。

学生の声

他学部の学生と一緒に学び 学問の面白さを改めて発見できる。

医学部 医学科 2年
東京都立日比谷高等学校卒
藤澤 海音 Kaito Fujisawa

共通教養科目では、各科目の特性に応じたレポートの書き方を先生が丁寧に指導してくれて、論文の作法やルールを１年のうちに会得できました。また、自分の専門以外の科目を他学部の学生と一緒に受けられるので、改めて学問の面白さや楽しさを発見し、幅広い教養が身に付きます。生命系の科目には人体について扱う講義もあり、今後学ぶ専門科目の予習になる部分も多くありました。自分は以前から興味があった、「まちづくり学入門」の講義が非常に楽しかったです。将来医師になった時、地域医療などを考えるにあたり必要な知識を得られました。

グローバル教育

海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進するYCUでは、その中の32の国・地域の大学と学生間の交流を深めています。
夏季または春季の休暇を利用した短期留学プログラムの他、長期派遣プログラムや交換留学プログラム、海外フィールドワーク支援プログラム等があり、
毎年多くの学生が世界の各地で国際性を磨きながら成長しています。

YCU の国際交流ネットワーク 世界32ヵ国・地域の大学・研究機関等とのネットワーク

ヨーロッパ

イタリア
●ベネチア大学　●カターニャ大学
●パドヴァ大学

オーストリア
●ウィーン大学

ドイツ
●ゲーテ大学　●ミュンヘン大学
●フライブルク大学

フランス
●リヨン第3大学
●パリ公立病院連合（AP-HP）
●パリ・デカルト大学
●ストラスブール大学

ルーマニア
●ブカレスト大学

セルビア
●ベオグラード大学

スペイン
●ナバラ大学
●マドリード・コンプルテンセ大学
●サンティアゴ・デ・コンポステラ大学

フィンランド
●オウル大学

スイス
●チューリヒ大学

ベルギー
●ルーヴェン・カトリック大学
●ルーヴァン・カトリック大学

オランダ
●ユトレヒト大学

スウェーデン
●オレブロ大学
●ハルムスタード大学

イギリス
●リッチモンド大学ロンドン
●リーズ・トリニティ大学
●ド・モントフォート大学
●キール大学

ポーランド
●ヤゲウォー大学

トルコ
●中東工科大学

ハンガリー
●エトヴェシュ・ローランド大学

北アメリカ

アメリカ
●サウスカロライナエイキン大学　●セントクラウド州立大学　●サンディエゴ州立大学（SDSU）
●カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）
●カリフォルニア大学アーバイン校（UCI）
●UCSDスクリプス海洋研究所
●サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所
●ラホヤアレルギー免疫研究所　●テンプル大学　●ウィーバー州立大学
●ニューヨーク州立大学ストニーブルック校　●サザン・メイン大学　●シンシナティ小児病院

カナダ
●ブリティッシュコロンビア大学（UBC）　●マニトバ大学
●モントリオール大学　●メモリアル大学　●ヒューロン大学カレッジ

中南米

ブラジル
●リオグランデ・ド・スル連邦大学

メキシコ
●アメリカス・プエブラ大学（UDLAP）

アフリカ

ウガンダ
●マケレレ大学

ザンビア
●ザンビア大学

アジア・オセアニア

シンガポール
●シンガポール国立大学

タイ
●カセサート大学
●タマサート大学
●チェンマイ大学
●ウボンラチャタニ大学

フィリピン
●フィリピン大学

ベトナム
●貿易大学
●ベトナム国家大学 ホーチミン市校
●ハノイ大学

マレーシア
●マレーシア科学大学

中国
●上海師範大学
●上海交通大学
●北京師範大学

台湾
●国立台湾師範大学
●東海大学
●国立虎尾科技大学
●国立政治大学
●国立台湾科技大学
●国立成功大学
●長庚大学

韓国
●仁川大学校
●世明大学校
●光州科学技術院
●高麗大学校（世宗キャンパス）
●淑明女子大学校
●延世大学校

インドネシア
●ハサヌディン大学

ネパール
●クォパ工科大学

○国際交流実績

世界各国
32ヵ国・地域
（2023年4月現在）

海外交流大学・研究機関
80大学・研究所
（2023年4月現在）

短期留学生派遣数
131人
（2022年度実績）

長期留学生派遣数
55人
（2022年度実績）

外国人留学生数
130人
（2022年11月現在）

海外フィールドワーク参加者数
141人
（2022年度実績）

海外インターンシップ参加者数※
9人
（2022年度実績）

※海外インターンシップの渡航再開は
2022年度春季（2023年2月・3月から）

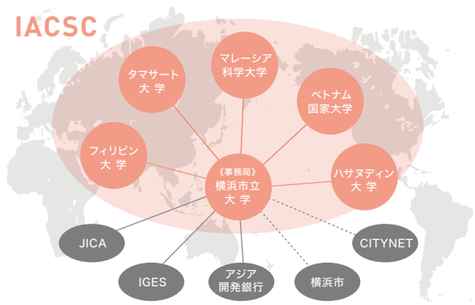
地球規模の課題を海外の現場で学び、
考え、分析し、解決する

アカデミックコンソーシアム

YCUは、アジア各国のトップ大学と協働で都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム（IACSC※1）」を2009年に創設し、横浜市およびJICA・アジア開発銀行(ADB)・CITYNET等の国際的機関と連携しながらグローバルな研究や教育を推進しています。IACSCでは「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3分野を中心に①年次総会・国際シンポジウムの運営（2022年度はマレーシア科学大学で開催）、②国際共同研究の推進、③持続可能な都市づくり共通教育プログラム（SUDP※2）の開講、④海外フィールドワークや国際ワークショップ開催等、多岐にわたる活動を各国で展開しています。YCUの「グローバル都市協力研究センター（GCI※3）」は2011年に設立され、IACSCネットワーク全体の事務局として上記の諸活動の企画立案、各参加大学や協力機関との交渉や調整、教育・研究プログラムの実施を担当しています。YCUの学生は、IACSCの活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地での学びの機会を得る事で、国際化する社会で要求される行動力、交渉力、思考・分析力、発信力を身に付けています。GCIは、学生が国内や海外のフィールドに出て、都市の現場が抱える現状と課題に向き合い、新たな知識と経験を得て実践的に課題解決を目指す事のできるグローバル人材の育成を支援しています。

※1　IACSC: International Academic Consortium for Sustainable Cities
※2　SUDP: Sustainable Urban Development Program
※3　GCI: Global Cooperation Institute for Sustainable Cities

【アカデミックコンソーシアム（IACSC）】



【主な参加大学・協力機関等】

・マレーシア科学大学
・タマサート大学（タイ）
・フィリピン大学
・ベトナム国家大学
・ハサヌディン大学（インドネシア）
・横浜市
・アジア開発銀行（ADB）
・独立行政法人 国際協力機構（JICA）
・公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）
・アジア太平洋都市間協力ネットワーク（CITYNET）

グローバル人材育成の体系図

STEP1　世界を相手にする語学力と適応力を手に入れる

語学教育体系

専門科目・全学開放科目
- Global Business Strategy
- Learning Global Cooperation in English
- Global Leadership　等

英語での講義が理解できる基準：TOEFL 600

共通教養科目
- 多文化交流ゼミ
- 英米文化理解

総合講義（Education in the World）　等

APE 科目

TOEFL 540～550	APE Ⅴ TOEFL-iBT	APE Ⅵ IELTS	APE Ⅶ TOEIC
TOEFL 520～540	APE Ⅱ Academic Speaking	APE Ⅲ Academic Writing	APE Ⅳ Academic Study Skills / Business English / Liberal Arts
TOEFL 500～520	APE Ⅰ Four Basic Skills Speaking/Writing		

初習外国語
- 中国語
- 韓国・朝鮮語
- ドイツ語
- フランス語
- スペイン語

海外留学最低基準※

到達目標	TOEFL 550 / IELTS 6.0 / TOEIC 800
必修	TOEFL 500

PE 科目　TOEFL 500
- PE ① Listening
- PE ② Reading
- PE ③ Grammar

PE : Practical English　APE : Advanced Practical English

※本基準は、海外の大学で専門科目の単位取得を目指す場合の国際的な基準です。本学学内における海外留学・研修プログラムの基準と異なる場合があります。

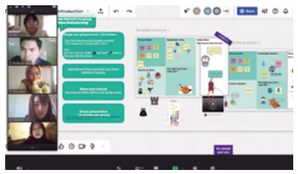
キャンパスにいながらのグローバル体験

YCUは、皆さんの語学力を試す場としてさまざまな機会を用意しています。海外への留学もそのひとつですが、キャンパスの中で自分の語学力を伸ばす事もできます。海外からYCUへやって来る留学生との交流により留学への意欲を醸成します。

01

サマープログラム

海外大学の夏季休暇期間を利用して、海外の協定校等から学生を受け入れ、一緒に授業を受けたり、研究活動を行うプログラムです。海外学生と議論やグループワークを行う事で、これまでにない考え方や発想に触れる事ができます。



02

国際交流型シェアハウス

YCUは、留学生と日本人学生が共同生活を送るためのシェアハウスを金沢文庫駅近くに有しています。留学生と一緒に生活を送る事で、考え方、生活習慣、文化の違いに触れ、新しい学びへとつなげていく事ができます。
※女子学生限定です。空室がある場合、随時大学のWebサイトにて募集します。

03

チューター制度

チューターとは、海外からの留学生の大学生活をサポートする学生の事です。チューターとなって、オリエンテーションでのサポート、履修アドバイス、キャンパス案内等留学生との交流を通じて国際感覚を養う事ができます。

STEP2　海外で学び、実践する、挑戦する

留学のモデルスケジュール

	Aさん（理学部）＜第2クォータープログラム（2Q）＞	Bさん（国際教養学部）＜交換留学＞
1年生	4月 PE（Practiacal English）を履修	4月 Advanced PE を履修し英語試験対策
	9月 留学説明会に初参加。留学に興味をもつ	9月 長期留学を決意し、IELTS を受験
	11月 グローバル推進室窓口で留学相談	11月 交換留学の学内選考に申込
	2月 2Q プログラムについて情報収集、申込	2月 学内選考を通過！　手続きを開始
2年生	7月 2Q プログラムでカナダに 4 週間留学	7月 / 8月 交換留学でスウェーデンに1年間留学
	8月 帰国後も英語学習を継続	
3年生	4月 チューターに登録。外国人留学生のサポートに携わる	4月
	6月 海外大学院への進学を決意	6月 帰国。留学報告書を作成
	9月 情報収集と並行して英語を猛勉強	9月 夏休みを利用してインターンシップに参加
4年生	5月 海外大学院に出願、卒業論文作成へ	5月 内定獲得、卒業論文作成へ
卒業	語学力を下地に海外大学院進学、研究者の道	海外経験を活かし、グローバル人材として活躍

短期留学・研修プログラム

大学が休みの期間を利用して語学留学などの国際体験を積むことができます。

第2クォータープログラム　2年次前期後半の間に参加するプログラム。

（2022年度参考）

プログラム種別	プログラム内容	行先大学	費　用
特定学部向けプログラム	専門分野のトピックスについて取り扱う特別講義を受講しつつ、語学力を実践的に鍛える。	ビクトリア大学（カナダ）、チェンマイ大学（タイ）、サンディエゴ州立大学（アメリカ）	約30~70万円
英語研修プログラム	さまざまな期間・レベルの英語語学コースの中から選択し、集中的に英語を学ぶ。	ド・モントフォート大学（イギリス）、ニューヨーク州立大学ストニーブルック校（アメリカ）、サンディエゴ州立大学（アメリカ）、ビクトリア大学（カナダ）	約40~80万円
初習外国語研修プログラム	英語以外の言語について、リーディング・ライティング・スピーキング・リスニングの4技能を学ぶ。	トゥーレーヌ語学学院（フランス）、ウィーン大学（オーストリア）、サンティアゴ・デ・コンポステラ大学（スペイン）、国立政治大学（台湾）、延世大学校（韓国）	約30~60万円
学部授業／サマースクール	夏休み期間に開講する学部授業やサマースクールに参加し、現地学生と専門科目を学修する。	ニューヨーク州立大学ストニーブルック校（アメリカ）国立政治大学（台湾）、延世大学校（韓国）	約40~約100万円

第2クォータープログラム参加者インタビュー

ユニークなアプローチで経営学を学べた。

参加プログラム
特定学部向けプログラム

留学先
カナダ（ビクトリア大学　2022年7月）

国際商学部 国際商学科 3年
東京都　私立田園調布学園高等部卒
望月 美嘉　Mika Mochizuki

コロナ禍以降、オンライン留学が主流になる中で、このプログラムでは実際に海外へ行き、英語で対面授業を受けられることが魅力的でした。留学先では、世界各国から集まった留学生たちと寮で共同生活しながら、主に経営学について幅広く学びました。授業は、グループワークや教室外での実習などもあり、とてもユニークでした。身近な物を実際に交換しながらトレードの概念を学んだ授業などが印象に残っています。授業も日常生活も、自分で積極的に行動することが必要で、困難を乗り越える力が付き、経験を重ねる事の大切さも実感しました。今後はインターンや長期留学などにも失敗を恐れず挑戦していきたいです。

長期留学・研修プログラム

詳しくは WEBで

YCUの留学プログラムは、外国の文化、言語、社会等に関する知識を修得し、
現地での交流を通して豊かな国際感覚を養う事を目的としています。
大学プログラムではYCUからの補助金や、後援会からの助成金等、さまざまな経済的支援制度があります。

長期留学プログラム 【出発時に学部２年次以上】

（2022年度参考）

国　名	プログラム名	語学要件	プログラム期間	費　用
アメリカ、イギリス 中国 等	交換留学プログラム	派遣先によって異なる	8月～9月より半期または1年	派遣先によって異なる
アメリカ、カナダ イギリス 等	セメスター留学	TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上 （但し派遣先による）	8月～9月より半期または1年	350～950万円（YCU学費免除） 半期 250万円～／1年 350万円～
オーストラリア、 アメリカ、イギリス 等	ブリッジプログラム	TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上 （但し派遣先による）	2月～5月より1年	300～500万円（YCU学費免除）
アメリカ	ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム※ （大学非公式プログラム）	PE取得以上／TOEIC600相当以上 （他の英語力試験において相当であれば選考対象）	2月～8月／8月～1月 （年2回派遣）	100～120万円

※ 応募可能な学部が指定されています。

交換留学プログラム協定校（2022年度募集）

■ ヨーロッパ

イギリス	キール大学
イギリス	ド・モントフォート大学
イギリス	リーズ・トリニティ大学
イタリア	ベネチア大学
フランス	リヨン第３大学
ドイツ	ゲーテ大学（経済経営学部）※1
ドイツ	ゲーテ大学（社会科学部）※1
ドイツ	フライブルク大学
オーストリア	ウィーン大学
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学
ベルギー	サンルイ・ブリュッセル校
スペイン	ナバラ大学
スペイン	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学
スペイン	マドリード・コンプルテンセ大学
スウェーデン	オレブロ大学※1
スウェーデン	ハルムスタード大学
フィンランド	オウル大学※1
ハンガリー	エトヴェシュ・ローランド大学
ポーランド	ヤゲウォー大学
トルコ	中東工科大学

■ 北米・中南米

アメリカ	ウィーバー州立大学
アメリカ	サンディエゴ州立大学
アメリカ	サザン・メイン大学
アメリカ	ニューヨーク州立ストニーブルック校
アメリカ	サウスカロライナ大学エイキン校
アメリカ	セントクラウド州立大学
カナダ	モントリオール大学
カナダ	メモリアル大学
カナダ	ヒューロン大学
メキシコ	アメリカス・プエブラ大学

■ アジア

中国	上海師範大学
中国	北京師範大学（漢語文化学院）
台湾	東海大学
台湾	国立台湾科技大学
韓国	仁川大学校
韓国	高麗大学校（世宗キャンパス）
韓国	淑明女子大学校※2
タイ	タマサート大学
タイ	チェンマイ大学
マレーシア	マレーシア科学大学

※1 応募可能な学部が指定されています。 ※2 性別問わず応募可能です

セメスター留学体験者インタビュー

現地でのジャーナリスト経験を将来の進路に活かしたい。

留学先

アメリカ（カリフォルニア州立大学チコ校　2022年8月～2023年5月）

国際教養学部 国際教養学科 4年
大阪府立生野高等学校卒

中島　寛登　Hiroto Nakajima

留学を志した理由は、本場アメリカでジャーナリズムを学びたかったからです。授業では、報道現場で活躍するジャーナリストたちの講義のほかに、地元で起こった事件などを取材し、記事を執筆して学内の媒体で発表するという実践的な学びもありました。時には学生同士で、報道機関をテーマに議論を戦わせることも。授業に取組む姿勢が日本とは大きく違うのが印象的で、学生たちが自主的に学ぶ姿には感銘を受けました。アメリカでの生活によってこれまでの自分の価値観が180度変わり、物事を幅広く捉えられるようになったと感じています。この経験を、今後の大学での研究や将来の進路に生かしていきたいと考えています。

詳しくは ヨコ知り！

交換留学体験者インタビュー

いろいろな文化や価値観に触れ多様性を認め合う大切さを学んだ。

留学先

オーストリア（ウィーン大学　2022年2月～2022年7月）

国際商学部 国際商学科 4年
東京都　私立田園調布学園高等部卒

西尾　奈津実　Natsumi Nishio

コロナ禍の影響で半年という短い留学期間でしたが、何ものにも代え難い経験ができました。第二外国語として学ぶドイツ語を上達させることが目的で、留学先に選んだのはドイツ語圏であるオーストリアのウィーン大学。ドイツ語での講義には苦労しましたが、以前から興味を持っていたヨーロッパにおける経済政策を具体的な事例で勉強できたのは大きな収穫です。また、音楽の都、ウィーンだからこその豊かな音楽文化にも触れられ、音楽家の方とも交流を持つなど日本では経験できない体験の連続でした。苦労も多々ありましたが、その経験は確実に成長につながったと思います。留学中は様々な国の人と出会え、多彩な文化や価値観があることを改めて実感する機会でした。その経験を通して、多様性を認め合うことの大切さについても学ぶことができました。

交換留学体験者インタビュー

留学ならではの困難を乗り越えて生まれた環境適応能力や行動力。

留学先

スペイン
（マドリード・コンプルテンセ大学　2022年1月～2022年5月）

国際教養学部 国際教養学科 4年
東京都立南多摩中等教育学校卒

渡辺　菜月　Natsuki Watanabe

高校時代からスペイン留学を希望しており、YCUに進学したのも提携大学にスペインがあったからです。留学先の大学で驚いたのが授業のスタイル。講義形式はほぼなく、グループワークやプレゼンテーションが毎週ありました。苦労しましたが、自分自身で考えたり調べたりしながら問題を解決しなければならないので、環境適応能力や自発的な行動力が身に付いたと思います。また、周囲には日本人がいなかったので、現地で日本語を話す機会はありません。しかし、他の学生と交流を深めていくなかで、言語はあくまでもコミュニケーションのツールに過ぎず、大切なのはその核であるコミュニケーションそのものだと感じました。留学中は多くの人に支えていただきました。あの時貰った優しさを忘れず、今度は私が人に寄り添い、支えられるような人間になりたいと思います。

医学部のグローバル教育

01 医学科のグローバルプログラムの紹介 P.64・65
02 看護学科のグローバル教育の取組 P.68・69

海外フィールドワーク支援プログラム

詳しくはWEBで

YCUでは、国際的な視野を持った人材を育成するために、海外での実践的な教育活動を支援する「海外フィールドワーク支援プログラム」を行っています。授業の一環として実施する、海外での実践的な教育研究活動を支援するため、渡航経費の経済的補助を行っています。

プログラム例　国際教養学部（都市学系）

科目名	海外地域政策実習
渡航先	スウェーデン（ウプサラ、ストックホルム）
概要	SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた先進的な環境取組みや、プラスチック廃棄物による河川、海洋への影響と海洋環境保護の取組みについて、現地政府機関、地方自治体、ウプサラ大学等を訪問し、意見交換を行う。

フィールドワーク参加者インタビュー

環境に配慮した社会を実際に見て環境に対する意識が高まった。

参加プログラム

スウェーデン海外地域政策実習
（オンライン形式）

国際教養学部 国際教養学科 4年
北海道釧路湖陵高等学校卒

杉井　翠　Akira Sugii

環境問題を研究課題にするゼミの学修の一環で、スウェーデンへ10日間の研修に行きました。ストックホルムとウプサラを訪れ、環境保護庁や市役所など公的機関や大学、環境保護団体、発電所、ゴミ処理所などを視察しました。現地では私たちが用意したプレゼンテーションをもとにディスカッションを行うなど、両国の環境課題を考える有意義な時間を持ちました。スウェーデンは国民の政治に対する意識が高く、また、政府も環境政策に積極的で、ごく自然に国民が環境に配慮できる仕組みが整備されていました。今後は自分も、より政治に関心を持ちつつ、環境保護に貢献し、啓蒙もしていきたいです。

オンラインプログラム

詳しくはWEBで

渡航プログラムとは異なる新しい形の留学として、世界中の大学で推進されているオンラインプログラム。
日本国内にいながら、充実した国際体験をする事ができます。

プログラムについて	YCUでは、学外推奨団体の実施するオンラインプログラムを多数紹介しています。 開講時期や学習内容から、自分の好みに合うプログラムを見つけることが可能です。 授業時間数などの要件を満たす一部のプログラムについては、YCUの単位認定を受けることも可能です。
プログラム内容	＜アメリカ＞ ・ニューヨーク州立大学オールバニ ・カリフォルニア大学デービス ・サンフランシスコ州立大学 ・オレゴン大学 ＜カナダ＞ ・トロント大学 ・ブリティッシュコロンビア大学　※2023年度春季プログラム

海外インターンシップ

海外の企業等で実際に就業体験ができるプログラムです。世界で活躍する人材になるために必要不可欠な国際感覚やリーダーシップ、語学力等を実践の場で磨く事ができます。参加にあたってはYCUからの補助金や後援会からの助成金等、さまざまな経済支援制度を利用する事ができます。

時期

学年	前期	夏季休業期間	後期	春季休業期間
学部1年				
学部2年	第2クォータープログラム（6月～9月）			
学部3年		夏季プログラム（8月～9月）		春季プログラム（2月～3月）
学部4年				
大学院1年				
大学院2年				

インターンシップ先

大学と直接連携するインターンシップ先。下記の他、サポート会社を経由して英語圏からアジア圏まで、さまざまな国・地域の企業・団体等のプログラムへの参加も可能です。

インターンシップ先	業　種	国　名	費　用
横浜市米州事務所	地方自治体の在外事務所	アメリカ（ニューヨーク）	約40万円
コニカミノルタ株式会社	複写機製造・販売等	オーストラリア（シドニー）	
		シンガポール	約35万円
イオン株式会社	小売	カンボジア、マレーシア、ベトナム等	約20万円
Ayala Business Club	金融、自動車、通信、建設、ホテル 他	フィリピン（イロイロ）	
横浜市/IDEC上海事務所	地方自治体の在外事務所	中国（上海）	
上海良図商務諮詢有限公司	コンサルティング	中国（上海）	

※上記インターンシップ先は過去5年間のYCU学生参加実績より抜粋しています。
※インターンシップ先により、応募可能な学部や語学力、履修科目が指定されている場合があります。
※インターンシップの時期や期間はインターンシップ先により異なります。
※費用は旅費や滞在費等から大学補助金と後援会助成金を引いた金額の目安です。
※2020～22年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部プログラムのみの実施となり、またオンライン形式での実施となりました。

海外インターンシップ 参加者インタビュー

グループ活動に自信が付き経営学への意欲がより高まった。

参加プログラム

イオングローバルインターンシップ

国際商学部 国際商学科 3年
神奈川県立横須賀高等学校卒

矢島　萌乃　Moeno Yajima

2週間のうち、1週目はイオングループ各社の社員の方が講師となり、ワークショップも交えながらイオンの経営の特徴などを学びました。2週目は、ベトナムのイオン社長の話を聞き、ベトナムでの経営、経営学のフレームワークをどう使うかなどを学び、最後はグループでプレゼンも行いました。インターンシップによって自分の普段の学びと、実際の経営との関連性を知れたことで、経営学の授業に対して、より高いモチベーションで参加できるようになりました。また、オンライン形式ではありましたが、様々な大学の学生とグループ活動したことで、自分の強みと弱みを考慮して行動できる力も付いたと思います。

ヨコハマで学ぶ

横浜という地域が学びの場となる

横浜市は日本最大の政令指定都市としてさまざまな産業が集積する大都市です。そこには多くの都市型の課題や地域の課題が存在しています。YCU では、ゼミやボランティア活動等を通じて、行政や企業、地域住民とも関わり合いながら、社会課題への実践的なアプローチを学ぶ事ができます。また、カリキュラムとして地域に関する学修を行う「地域志向科目」も用意されています。

中西 正彦 教授

地域貢献センター長
国際教養学部

これからの社会を生きていくために
～地域貢献が学びの深化につながる～

大学での学びの本質は、深い専門性に裏打ちされた人間や社会の原理・真理への理解ですが、地域貢献、すなわち実社会での実践は、そのような学びを深める方策としても重要です。座学で得た知識や理論を実践する事で、学びの真の意味に気づく事ができます。そして、経験に裏打ちされた広い視野、思考力は、自分が今後の人生を生きぬいていく力を高めるだけでなく、社会や地域を変え、持続可能性を高めていく事にもつながるでしょう。

横浜は、都市問題とそれに対する先駆的な取り組みのショーケースであり、それらに触れ参加できる機会も豊富で、まさに実践的な学びの場として最適な都市・地域です。
現代社会は一層多様化や複雑化の様相を呈していますが、それに対応し乗り越えていくためにも、理論と実践の往還によって総合的な学びの質を高めることが必要です。それを得られる環境がYCUにはあります。皆さんとお会いできる事を大いに期待しています。

地域志向科目 総合講義（まちづくり学入門）

まちづくり学入門では、横浜のまちづくりを中心に学ぶオムニバス講義です。前半は国際教養学部都市学系の教員を中心に、大都市横浜の歴史や都市計画・まちづくり・防災・観光などについての講義が行われます。後半は横浜のまちづくりの第一線で活躍するプロフェッショナルの方達をゲスト講師に招いて、「まちづくり」の現場で行われている様々な取組みとその課題について知り、大学での学びとの関連性について考えていきます。

地域志向科目 総合講義（鎌倉・金沢を知る）

横浜市立大学が所在する金沢区は、歴史的にみると相模国と武蔵国の境目に位置し、朝夷奈切通しを通じて鎌倉まで歩いて行くことができ、中世都市鎌倉と歴史を共有する場所です。授業では、この鎌倉・金沢地域の歴史・地理・文学・芸術に関する知識や、地域や場所のとらえ方を各分野の専門家から学び、神奈川県立金沢文庫や鎌倉歴史文化交流館を訪れ直に文化財に接することで、地域社会の課題について歴史的・文化的観点から解決する力を養う人材を育みます。

科学倶楽部「親子で楽しむ実験講座」の企画・運営

学生団体「科学倶楽部」の学生たちによる「親子で楽しむ実験講座」は、YCUのエクステンション講座（市民公開講座）として、毎年開催。地域の小学生に人気の講座となっています。講座の運営はすべて学生たちが担い、「サイエンスの楽しさや面白さを伝える」をテーマに、理科が苦手な子も得意な子もひらめきや感動を味わえる実験を企画しています。
実際に子どもたちに教える楽しさ、伝える難しさが体感できる、YCU学生たちにとっても学びのある取組みです。

キャンパスタウン金沢

YCUと関東学院大学、金沢区が連携し“大学の活力を生かしたまちづくり”に取り組んでいます。2022年度は、①区内の空き家をDIYで再生し「まちの学校」として運用する活動　②金沢シーサイドタウンの魅力を発信するプロジェクト　③福浦キャンパスを地域の方々に開放し健康情報を提供する活動　④区内小中学校で医療に関する訪問授業を行う活動　⑤金沢区を含む三浦半島で活動する方を応援するマルシェを開催する活動などが採択され、活動しました。

医学部学生団体YDCによる並木第四小学校での訪問授業

学生のボランティア活動

さまざまなボランティア活動

◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【YCU×SEED ブリスター回収プロジェクト】

「1Day Volunteer 2022/野島海岸 清掃」
■学生団体　Clover（シーラバー）

SDGs目標12や14に着目し、リサイクルやゴミの問題を考えながら、環境を守る活動を行っています。ゴミの収集を通して海洋ゴミ問題の現実を体験し、意識を高めてもらう野島海岸の清掃活動（2022年度は4月と12月に実施）や、株式会社シードと協働で行っているブリスター（使い捨てコンタクトレンズケース）の回収活動などを進めています。

◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【循環型食の協働プロジェクト（食のサイクル活動）】

「継続的な食の支援」と フードロスの削減活動

コロナ禍によるアルバイト収入の減少などで厳しい生活を送っている本学学生を対象に、公益社団法人フードバンクかながわ（以下「フードバンクかながわ」）などと連携して「食の支援」を実施しています。またフードロスを解決するため、フードバンクかながわから「ロス品」の提供を受ける一方、学生・学生団体はボランティアとしてフードバンクかながわでの活動（食品の仕分けなど）や、フードドライブ活動を行い「食のサイクル」を進めています。

◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【YCUウクライナ支援プロジェクト】

ウクライナカフェ・ドゥルーズィでの ワークショップ

横浜市が開設し公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）が運営する、ウクライナから避難されて来た方々を支援する「ウクライナ交流カフェ・ドゥルーズィ」。こちらで開催されているワークショップなどで、避難民の方々との交流活動を行っています。

◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【YCU病院ボランティアプロジェクト】

病院でのボランティア活動
■学生団体　YCU病院ボランティアグループ

2021年度は、横浜市立大学附属市民総合医療センターの入院患者に向けて折り紙を提供し、作品を回収してフォトモザイクアートを作る活動を行いました。2022年度は「世界患者安全の日」イベントでの啓発活動を行なうなど、徐々に院内でできる活動が戻ってきています。

横浜マラソン2022

3年ぶりに開催された今大会では、南部市場給水所の給水サポートと救護ボランティアに45名の学生が参加しました。

フランス映画祭2022横浜

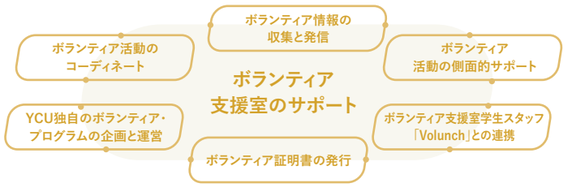
フランスから監督・俳優などのゲストを招いて3年ぶりの開催に、40名の学生が参加しました。

ボランティア支援室とは

学生の自主的なボランティア活動を支援

学生の「地域に貢献したい」という意欲や、地域での主体的な学びをサポートするため、YCUボランティア支援室ではさまざまな活動を行っています。学生の活動希望と地域からの要請（ニーズ）のコーディネート、ボランティア情報の収集と発信、また初めてボランティアに参加する学生が安心・安全に活動できるようサポートを行うなど、地域社会でのボランティアを通じて成長する学生の側面的支援を行っています。

詳しくは WEBで



ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」（以下「Volunch」）

「Volunch」は、ボランティアの楽しさを発信し、①地域と市大生をつなげる、②ボランティアに参加することで自らの経験値を上げる、という二つの目標を掲げ活動しています。

Volunchの声

◆ボランティアを一から企画してみたいと思い、Volunchに参加しました。1～2年前期は「オンライン履修相談会」や「ヨコイチ・トークルーム」などに参加。2年後期は国際交流グループで講演会を、3年ではジェンダーグループを立ち上げ勉強会を企画しました。
◆以前から食品ロスに関心があり理解しているつもりでしたが、フードバンクでのボランティアを通して、廃棄される食品が想像以上に多いことを実感しました。またフードドライブでは地域の方々の温かさを実感し、ボランティアでしか学べないことがあると感じました。
◆ボランティアを通して、ウクライナ避難民支援など横浜市の取組みを知り、より横浜が好きになりました。今後は一市民として自分の住んでいる横浜をよりよくしていくため、積極的にボランティアに参加したいと思います。

領域横断教育

YCUならではのキャリア形成プログラム

YCUでは、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部に分かれて専門を究めていきます。その専門性を究めると共に、将来のキャリア形成を視野に入れ、体系化した知識を身に付けた人材を育成するための各種プログラムが設けられています。

※2023年3月時点のプログラムです。2024年度は、変更になる可能性があります。

さまざまなキャリア形成

理数マスター育成プログラム

自主研究を主体としながら各自の能力向上のための研究環境を提供し、将来の科学技術を担う人材の育成を目指した研究活動支援プログラムです。

リーダーシップ開発プログラム

このプログラムは、チーム、組織の目標達成のために各々のメンバーが主体的に行動する、世界基準のリーダーシップの修得を目指すプログラムです。

医療イノベーション経営管理人材育成プログラム

日本の医療・介護分野を支える医療経営の専門人材を育成する事を目的としています。医学部を抱え、また横浜市との密接なつながりのあるYCUだからこそ実現したプログラムでもあります。

YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

このプログラムは、原則英語のみで行われる授業によって構成されており、16単位以上の修得により、「グローバル・スタディーズ修了証」が交付されます。

起業家育成プログラム

このプログラムは、ビジネスプラン作成のスキルを身に付けると共に、自分自身のアイデアを実現したいという強いパッションを発露できる人材を育成するプログラムです。

ADEPTプログラム

このプログラムでは、データを読み、説明し、扱う事ができる基礎的能力を身につけ、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を基に適切な活用方法ができる人材育成を目的としています。

共通教養

国際教養学部 | 国際商学部 | 理学部 | データサイエンス学部 | 医学部

実践的英語学習

学生の声

理数マスター育成プログラム

益川 茉莉子 Mariko Masukawa

理学部 理学科 4年
東京都　私立青稜中学校・高等学校卒

単為生殖(メスのみで増える生殖方法)を行うザリガニ「ミステリークレイフィッシュ」の研究を行いました。実は高校生の頃から興味があり研究していた内容でしたが、大学でデータの処理方法などが身に付いた事で、生態を定量的に見る事ができるようになり、産卵やふ化後の成長にさらに興味を持つようになりました。ここで身に付いたデータ処理技術や、結果を報告書にまとめる能力を、今後の研究室生活でも生かしたいです。

学生の声

リーダーシップ開発プログラム

犬塚 栞菜 Kanna Inuzuka

国際商学部 国際商学科 4年
大分県立佐伯鶴城高等学校卒

知識のインプットだけではない、実践的な講義を中心に履修し、リーダーシップというものを体系的に学びました。特に「Global Human Resource Development」の授業では、リーダーシップの特性や考え方を理論的に学んだ後、多くのグループワークを通してその内容を体感できました。今後はここで得た学びを生かし、組織内で自分に適したリーダーシップを発揮し、全員で大きな目標を達成できるよう行動していきたいです。

学生の声

医療イノベーション経営管理人材育成プログラム

比嘉 信之祐 Shinnosuke Higa

国際商学部 国際商学科 3年
沖縄県立首里高等学校卒

経営学入門、経営労務、そして診療報酬や病床回転率といった医療制度の知識を学びました。夏休みには医療経営合同インターンシップにも参加し、医療と経営を両立する現場の取り組みも知りました。初診患者数を増やし、病床を最大限活用するため、医療業界は様々な取り組みを行っていて、経営学と医療業界との繋がりを感じました。今後、医療経営を研究するゼミや海外フィールドワークで、この学びを生かしたいです。

学生の声

YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

齋藤 椎奈 Shiina Saito

国際教養学部 国際教養学科 3年
サンティアゴ（チリ）
The International School Nido de Aguilas 卒

日本や世界について多方面から理解を深められる講義を中心に幅広く履修しました。「グローバル公共政策論」では地球規模課題の解決策を考え、国際社会における日本の在り方を追究しました。また「海外調査実習」で実際に国連機関を訪問し、課題解決に向けた取組みを深く学べたことは大きな糧となりました。このプログラムで得た知識や物事を多角的に捉える力を生かし、国際的に活躍できる人間を目指して挑戦し続けたいです。

学生の声

起業家育成プログラム

古谷 百合香 Yurika Furuya

国際商学部 国際商学科 3年
東京都　私立大森学園高等学校卒

「企画立案型実習A」の授業は、ラッピングバスのデザイン発案とプレゼンテーションを行い、マーケティングやブランド・マネジメントの基礎理論を実践的に学べる機会でした。また、「起業家人材論」ではビジネスモデルの作り方を学びました。本プログラムを通してビジネスプランなど自分のアイデアを実現したいというパッションを見出せたと思います。今後は学びを生かしてビジネスコンテストなどにも挑戦したいです。

学生の声

ADEPTプログラム

安田 楓 Kaede Yasuda

データサイエンス学部
データサイエンス学科 3年
愛知県　私立南山高等学校女子部卒

ExcelやWordの操作方法といった基礎的な内容から統計学や情報倫理などの専門的な分野までを学べました。さらにデータサイエンス学部の先生方や起業家の方々のお話を聞く機会もあり、データサイエンスの具体的な活用法を理解するとともに、視野が広がりました。ここで得た基本的な知識・技能を土台として、より専門的な知識を増やしていき、現代の情報化社会に貢献できるデータサイエンティストを目指したいです。

詳しくは WEBで

SCHOOL OF
INTERNATIONAL
LIBERAL ARTS

国際教養学部

国際教養学科 / 教養学系・都市学系

学位：学士（学術）/ 取得できる資格：教員免許（英語）

国際教養学部では、英語をはじめとする外国語の運用能力、文化的背景に基づいた多様性への理解、理論を実践に応用する能力、そして共感を獲得し課題を解決するためのコミュニケーション能力を身に付けます。また、確かな専門性に裏打ちされた論理的思考力を身に付ける「教養学系」と世界と日本の都市や地域の課題に実践的に取り組む「都市学系」という2つの学系での学びを通して、真のグローバル人材を育てます。

こんな学びを志向する人に

- 世界の人々の相互理解に貢献したい
- 複雑化する現代社会が抱える問題の解決に貢献したい
- 外国語をその背景となる文化や歴史を理解しながら学びたい
- 人間の心のメカニズム、発達や成長について学びたい
- まちづくり、都市計画、都市デザインに関心がある
- 都市・地域の課題解決に貢献したい

国際教養学部の特色

国際教養学部は、豊かな教養と高い思考力、さらに、高い外国語運用能力と課題解決に向けた実践的な力を養う教育を展開します。それにより、多文化共生社会の実現や世界規模の課題、現代のさまざまな都市における諸問題の解決に貢献できる人材を育成します。教養教育と専門教育の融合をベースとしながら、社会・文化・人間に関わる多様な学問群の中から、自らの関心に沿って「主体的な学び」を進め、それぞれの分野における「専門的な知見」を修得します。また、幅広いアプローチを学ぶ事で「多角的視点」に立ち、ものごとの本質や根本を捉える豊かな教養と高い思考力を養います。加えて、このような教養と思考力に裏打ちされた、現代の都市・地域社会が直面する現実的な課題を解決するための実践力を持つ人材を育成していきます。

特色 1 『専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得』

グローバル化が進み、複雑化する社会で生きていくために必要な事は何でしょうか。それは、ものごとの本質を見極められる深い思考力と未知の事象に出会った時に対応できる柔軟な発想力です。国際教養学部では１年生全員が国際社会論、国際文化論、人間科学論、都市政策・まちづくり論という学問入門科目を受講し学びのスタートを切ります。２年次からは、社会・文化・人間の諸問題を多角的に捉える教養学系と都市・地域の課題に実践力で挑む都市学系の２学系、４つのクラスター（科目群）の中から自ら選択した分野の学びを深めます。さらに関連するクラスターの学問領域を融合的に学ぶ事によって、深い思考力と柔軟な発想力を身に付けていきます。

特色 2 『理論に裏打ちされた実践力を鍛える』

大学での学びの大きな特徴は、専門性を持つ事、そしてその専門性を武器に理論的な思考ができるようになる事です。さらには、身に付けた力を社会に還元する事が大学を卒業した人の使命といえるでしょう。国際教養学部の学びの中には、社会に還元するための実践力を鍛えるプログラムが用意されています。海外、国内で行う実習プログラムはその一例です。国連やJICA、海外、国内の大学、自治体等と連携したフィールドワークや共同研究で学びのカタチを変えていく体験をします。講義で学んだ事を現実の課題に当てはめて思考したり、国内外の同世代の学生とディスカッションしたりという体験を通して、理論と実践の両面から学びを深めていきます。

特色 3 『グローバル時代の未来を切り拓くコミュニケーション能力』

より良い学びのためには、学んだ事を形にして人に伝える事、相互に理解しあう事が必要です。国際教養学部の学びにはコミュニケーション能力を鍛える仕掛けがちりばめられています。少人数で行われるゼミでの発表や討論、講義中に課されるプレゼンテーション等、発表や討論の機会がたくさんあります。経験を積む事によって、コミュニケーション能力を磨いていきます。高度な英語運用能力の修得に加えて、もうひとつの外国語を学ぶ事にも力を入れており、国際教養学部教養学系では英語以外の言語を学ぶ「初習外国語」を必修としています。２年次前期後半から夏休みにかけての期間に海外体験をする事を強く推奨しています。以心伝心ではなく、ことばとことばの積み重ねによって相互理解をする体験がグローバル時代の未来を切り開いていく力へとつながります。

Message from the Dean

深い専門性、幅広い教養、そして
高い外国語運用能力に基づいて、
主体的に課題を解決できる
実行力のある人間を育てる場。

国際教養学部長
鈴木 伸治 Nobuharu Suzuki

国際社会では多角的な視野に立って課題を発見し、確かな思考力と高い対話能力で課題を解決できる人材が求められています。そこで必要とされるのは、外国語能力を含むコミュニケーション能力、多様な社会・文化的背景の理解、自文化の相対化、根拠に基づいて主体的に行動できる能力です。国際教養学部では、選択したクラスターで体系的に専門の軸を固めると共に、隣接する学問領域との融合をはかり、専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得を目指します。

ゼミの活動では、他者との協働作業を通して理論に裏打ちされた思考を応用できる実践力を鍛えます。さらに、海外留学や国内外におけるフィールドワーク、インターンシップ等、さまざまな体験を積む事で相互理解に基づく日本語および外国語でのコミュニケーション能力に磨きをかけます。共に作り、共に育つ場としての国際教養学部での学びを通して、あらゆる社会、文化、思考を認め合い生かす事ができる、グローバル時代の未来を切り開いていく国際人を目指しましょう。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の特長	国際教養学部の入門科目を学び、基礎を固める	専門性を深めるため教養学系、都市学系のどちらかを選択し、専門性を確立するために 4 つのクラスター（科目群）からひとつを選択する	海外留学、インターンシップ、英語で行われる専門科目等を履修し複文化・複言語を体験。専門を深めると同時に、学問間の融合を図る	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
		プレゼミ	演習	卒論演習
				大学院科目の早期履修
教養学系		地域調査実習・海外調査実習・海外文化実習		
		インターンシップ実習		
	初習外国語			
都市学系		都市課題実習I	都市課題実習II	
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ／基礎ゼミ			
	Practical English		Advanced Practical English	
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

専門性を深める学系とクラスター

国際教養学部は、「教養学系」と「都市学系」という二つの学系を持ち、少人数で行われるゼミを中心にそれぞれの専門性を深めていきます。その専門性を確立するために4つのクラスター（科目群）を設けています。学生はその中から必ずひとつのクラスターを選択し、集中的に学ぶ「専門の軸」を持ちながら、関連する学問領域の科目まで融合的に学修する事ができます。＜国際文化＞＜人間科学＞＜国際社会＞＜都市政策とまちづくり＞の4つのクラスターを専門の軸として、下記の専門科目における「文化」「人間」「社会」「都市」のカテゴリーから関連する科目を履修していきます。

国際文化（教養学系）	人間科学（教養学系）	国際社会（教養学系）	都市政策とまちづくり（都市学系）
文学、言語学、歴史学等	哲学、身体科学、心理学等	社会学、国際関係学等	地域科学、都市計画学等

国際教養学部専門科目一覧

文化			人間		社会			都市	
日本文化史A	アメリカ文化論	Explication of American Literary Text B	哲学的人間論A	社会福祉論	現代社会論	男女共同参画社会論	日本外交論	都市計画論	不動産マネジメント論
日本文化史B	表象文化論	英米言語文化A	哲学的人間論B	宗教論	社会学	南アジア研究	農村振興論	都市解析	CSR実践論
中国文化論A	British Literature in English	英米言語文化B	現代倫理学	東洋思想	エスニシティ論	中国研究	国際機構論	地域活性化論	非営利組織論
中国文化論B	欧米の歴史	翻訳文化論A	臨床心理学A	認知心理学	アジア地域論	ヨーロッパ社会論	Global Issues	都市と暮らし	観光政策論
東南アジア史	都市文化論	翻訳文化論B	臨床心理学B	社会心理学	国際協力論	アメリカ社会論	芸術社会論	比較社会システム論	比較地方自治
アメリカ文学A	歴史学	西洋古典学A	臨床心理学C	運動生理学	国際開発学	社会開発論	メディア・リテラシー論	行政法I	横浜の都市づくり
アメリカ文学B	現代美術論	西洋古典学B	発達心理学	オルタナティブ教育論	グローバル政治論	市民社会論	ヨーロッパ統合論	行政法II	都市経済学
イギリス文化論	コミュニケーション論	英文学史	現代思想	インクルージョン論	国際法I	経済地理学	ラテンアメリカ研究	住環境計画論	労働生活政策論
フランス語文学	日本近代文化論	英米文学講読	文化人類学	体育学研究法	国際法II	グローバル公共政策論	アフリカ社会論	地球環境政策論	港湾都市論
ドイツ文化論A	日本近代文学	英語学	心理学研究法	スポーツ文化論	メディア社会論	平和構築論	Japan and International Cooperation	地方自治論	環境まちづくり論
ドイツ文化論B	日本古典文学	演劇文化論	身体運動科学	世界の福祉	社会理論	家族社会学	Learning Global Cooperation in English	都市空間形成論	文化政策論
言語学	日本近現代史A	音楽文化論	現代教育論	高齢社会論	東南アジア研究	ジェンダー論	International Cooperation in Urban Development	地域CSR論	地域保健医療福祉論
アングロ・アメリカ文芸批評論	日本近現代史B	映像文化論			東アジア社会経済論	文化社会学A	国際人権法	都市デザイン論	労働経済学
イギリス文学A	Japanese Literature in English	ヨーロッパ史			国際移住論A	文化社会学B		参加・協働論	環境経済学
イギリス文学B	東アジア史A	社会言語論A			国際移住論B	韓国朝鮮研究		都市財政論	資源経済学
フランス文化論	東アジア史B	社会言語論B			海洋法	地域開発論		資源循環論	環境ISO論
Linguistics (DscourseStudies)	中国古典文化	理論言語学			多文化社会論	国際経済社会論		都市防災計画論	品質ISO論
第二言語習得論	中東社会・文化論	日本メディア史							日本の都市計画と都市開発
日本応用言語論	アメリカ史	東洋文化							
日本語文学	American Literature in English	Elements of Fiction							
日本思想史	Explication of American Literary Text A	European Culture in English							
日本古典文化論		英語構文研究							
イスラーム地域史A		メディア英語							
イスラーム地域史B		ロシア・東欧の文化							

外国語・実習・専門ゼミ

専門外国語A（フランス語）　専門外国語B（フランス語）
専門外国語A（ドイツ語）　専門外国語B（ドイツ語）
専門外国語A（スペイン語）　専門外国語B（スペイン語）
専門外国語A（中国語）　専門外国語B（中国語）
専門外国語A（韓国・朝鮮語）　専門外国語B（韓国・朝鮮語）
アジア諸言語I（タイ語）　アジア諸言語II（タイ語）
アジア諸言語I（ベルシャ語）　アジア諸言語II（ベルシャ語）

地域調査実習　都市課題実習I　海外文化実習　都市課題実習II　海外調査実習　地域課題実習　プレゼミA　海外都市課題実習　プレゼミB　インターンシップ実習　演習I　演習II　キャンパス起業体験実　演習III　卒論演習I　卒論演習II　卒業論文

国際教養学部のSDGsへの取組み

社会学や国際移民が専門の演習（坪谷ゼミ）で外国人児童生徒との交流や支援活動を通して考える多文化共生

プレゼミAで培った社会学を中心としたクリティカル・シンキングを実践に移すべく、アクティブ・ラーニングを活かした学びを深めながら、地域社会に対する貢献活動（サービスラーニング）に取組んでいます。まず、金沢八景キャンパス近くの横須賀市内での外国人労働者の集住地区のフィールドワークを行った後、外国人児童生徒の学習教室におけるインターンシップ、外国人児童生徒の保護者へのインタビュー等を実施し、それらの活動をもとにゼミでのディスカッションを行いました。その結果、外国人児童生徒のための学習教室と協働し、大学生が主体的に計画したイベントを複数回実施しました。頼ってもいい大学生が身近にいることを子どもたちに知ってもらう居場所づくりだけでなく、子どもたちの母国の文化や価値観についての理解を大学生も深め、子どもたちの勉強や課外活動に対するモティベーションを引き出す、多文化共生のモデル構築を学生が推進しました。

Pick up 授業

観光政策論

有馬 貴之

観光は古くから世界中で注目されてきた現象です。それは平和の証でもあり、異文化理解の手段でもあります。そして、近年では経済振興の手段として、各国政府や各地域の政策に観光が組み込まれるようになりました。本講義では日本の観光政策の歴史や制度、各地域の取り組み等を授業の前半で学びます。観光の起源とはどのようなもので、外国の観光政策にはどのようなものがあるのでしょうか。さらに、観光心理学や観光地理学の理論も学びます。人は何故旅行に出かけるのか、観光地はどのように変化していくのかなど、学術の理論で観光を理解していくことも大切で重要です。また、授業の後半では観光マーケティングや観光プロモーションの基礎を学ぶとともに、ゲスト講師をお呼びし、日々変化する観光のトレンドも体感します。そして、最終的に任意の地域を対象にした分析と提案レポートを書き上げることが受講生のゴールです。学際的な観光学が感じられる講義です。

現代教育論

阿内 春生

国際教養学部では教職課程を履修することで、中高英語科の教員免許を取得することができます。しかし、この現代教育論は教職課程の授業ではありません。この授業では教職を取らない学生にも、現代の教育問題に関心を持ってもらうために、学校教育の課題や教育問題など時事な話題を中心に取り扱うことにしています。社会人として報道等で扱われる教育問題を理解し、自分なりの意見を持てるようにすることがねらいです。コロナ禍で縮小してしまっていましたが、徐々にディスカッションなども多く取り入れて、意見交流し自らの考えを相対化する機会も積極的に設けていきたいと思っています。
国際教養学部の学生が視野を拡げ、様々な考えを持つきっかけにしてもらいたい、その中で教育や学校にも関心を持ってほしい、という思いをもって授業に取り組んでいます。

主な科目紹介

参加・協働論

我が国の大きな課題となっている地域活性化や都市再生。多様な主体が他の組織と連携・協働し、市民が参画する形のまちづくり活動を通した実現が期待されています。この講義では、参加・協働とまちづくりの基礎的理解の後、人口370万都市の大都市・横浜に焦点をあて、生活圏域での地域が抱える課題やその背景について知見を深めると共に、様々な事例から参画型まちづくりを進めるための手法等について学びます。

イギリス文化論

イギリスでは英語の話し方によってその人の階級がわかると言われています。しかし標準英語とされるキングス・イングリッシュを話せる人は国民の数パーセントしかいません。ではなぜほとんどの人が喋ることができない言葉が標準と言われるのでしょうか。本授業では、多文化主義を標榜するイギリスの文化を被支配者や弱者の立場から捉え直すことにより、このような疑問の答えを一緒に考えていきます。

グローバル政治論

気候変動を始めとする地球環境問題、格差・貧困、紛争、パンデミックなど、地球規模課題、そして日本を取り巻く国際問題は、一般に知られているよりもはるかに深刻です。この授業では、地球社会の事実・実態を正確に把握し、問題の根本原因を探り、解決策を見つけていきます。そして、映像やディスカッション、ワークショップなど参加型授業を通じて、地球規模課題に果敢に挑戦するチェンジ・メーカーになる力を養成していきます。

大学院紹介

都市社会文化研究科

Graduate School of Urban Social and Cultural Studies

詳しくはWEBで

都市社会文化専攻

私たちの暮らしに身近なテーマをはじめ、現代社会に迫るさまざまな課題を総合的に捉え探究する力、課題の解決を実践する力を身に付けます。大学が立地する横浜を基盤とした“ローカルな視点”、そして対極にあるかのように見える“グローバルな視点”、さらに人文社会科学や自然科学等の多分野の領域を横断する「知」を獲得しながら、現今の世界や社会が当面する課題に向き合います。そして、環境問題やジェンダー等、多様な視点から、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）を学ぶ事を強化し、そのためのプログラムも用意しています。また、本学卒業後プラス1年で大学院を修了する事が可能です。国際的な視野を持ち、都市を学ぶにふさわしい、みなとみらいのサテライトキャンパスでの講義や近辺地域のまちあるきや現地見学は都市を学び、考え、実践する問題意識を高める事につながります。

教員一覧

詳しくはWEBで

阿内 春生 Haruo AUCHI 准教授 教育制度論	青 正澄 Masazumi AO 教授 地球環境政策論	有井 巴 Tomoe ARII 講師 言語学	新垣 二郎 Jiro ARAKAKI 准教授 地方自治論
有馬 貴之 Takayuki ARIMA 准教授 観光政策論	有馬 斉 Hitoshi ARIMA 教授 倫理学	石川 永子 Eiko ISHIKAWA 准教授 都市防災計画論	岩崎 徹 Toru IWASAKI 准教授 英文学
上村 雄彦 Takehiko UEMURA 教授 グローバル政治論	浮田 徹嗣 Tetsuji UKITA 准教授 臨床心理学	大澤 遼可 Haruka OSAWA 講師 ドイツ文学	大島 誠 Makoto OSHIMA 准教授 都市財政論
乙坂 智子 Tomoko OTOSAKA 教授 中国前近代史	小野寺 淳 Jun ONODERA 教授 アジア地域論	小幡 敏行 Toshiyuki OBATA 教授 中国文化論	柿崎 一郎 Ichiro KAKIZAKI 教授 東南アジア研究
影山 摩子弥 Makoya KAGEYAMA 教授 比較社会システム論	加藤 千博 Chihiro KATO 教授 イギリス文化論	後藤 寛 Yutaka GOTO 准教授 都市解析	齊藤 広子 Hiroko SAITO 教授 不動産マネジメント論
佐藤 響子 Kyoko SATOH 教授 コミュニケーション論	塩尻 智之 Tomoyuki SHIOJIRI 准教授 身体運動科学	庄司 達也 Tatsuya SHOJI 教授 近代日本文学	鈴木 伸治 Nobuharu SUZUKI 教授 都市デザイン論
髙橋 力也 Rikiya TAKAHASHI 准教授 国際機構論	滝田 祥子 Sachiko TAKITA 教授 多文化社会論	陳 礼美 Limei CHEN 教授 社会福祉論	土屋 慶子 Keiko TSUCHIYA 准教授 英語学
角田 隆一 Ryuichi TSUNODA 准教授 現代社会論	坪谷 美欧子 Mioko TSUBOYA 教授 エスニシティ論	中谷 崇 Takashi NAKATANI 准教授 アメリカ文学	中西 正彦 Masahiko NAKANISHI 教授 都市計画論
平松 尚子 Naoko HIRAMATSU 准教授 フランス文化論	松本 郁代 Ikuyo MATSUMOTO 教授 日本文化史	三上 真司 Shinji MIKAMI 教授 哲学	三輪 律江 Norie MIWA 教授 参加・協働論
本宮 一男 Kazuo MOTOMIYA 教授 日本近現代史	山﨑 和美 Kazumi YAMAZAKI 准教授 中東社会・文化論	山田 剛史 Tsuyoshi YAMADA 教授 教育心理学	山根 徹也 Tetsuya YAMANE 教授 西洋史
吉田 栄一 Eiichi YOSHIDA 教授 国際協力論	渡會 知子 Tomoko WATARAI 准教授 社会学	和仁 道郎 Michiro WANI 准教授 国際経済社会論	

（2023年5月時点）

学生の声

詳しくはヨコ知り！

ゼミや講義での実践的な学びから進路を考えるヒントがもらえた。

国際教養学部 国際教養学科３年
神奈川県立横浜緑ケ丘高等学校卒
橋本 みなみ Minami Hashimoto

都市学や国際社会に興味があり、その両方が学べるYCUは自分に最適な大学です。現在は「市民まちづくり」が専門のゼミで、小中高生の放課後居場所事業を学生主体で運営しています。学部には市職員やディベロッパー、草の根の活動家がゲスト講師となり、タイムリーな市の課題や変容を学べる講義もあります。都市はさまざまな人が関わりあいながら動き、同時に人の動きを生んでいると気付かされました。夏からドイツに留学して、こども・青少年育成団体の調査を行ったり、こども参画のまちづくりを実践している市民団体のインターンに参加したいと思っています。卒業後は大学院に進んで、若い世代を中心とした市民の生活を支えていけるまちの仕組みづくりについて研究したいです。

実習を通して興味や関心を耕し、専門性や語学力を高められる。

国際教養学部 国際教養学科 ３年
神奈川県立希望ケ丘高等学校
阿久 綜浩 Souharu Aku

国際教養学部を選んだのは、語学力とまちづくりの両方を身に付けたかったからです。１年次からさっそく、必修授業でまちづくりや英語が学べました。ほかにも幅広い分野が学べて、自分の興味や関心の対象が広がりました。２年次では、不動産マネジメントのゼミに所属して、戸建てやマンションの住宅地を見に行き、不動産の作り方や維持の取り組みなどを現場の方から伺うことができました。一方、短期間の語学留学でカナダに行きました。そこでは、英語力の向上は元より、現地の人とかかわることでコミュニケーション能力を磨くことができました。３・４年次では、1・2年次で身に付けた学びをもっと深掘りしていきたいと思っています。

卒業後の主な進路

1	製造業	8.8%
2	情報通信業・マスコミ	13.5%
3	広告・コンサルティング・専門サービス業	11.9%
4	公務員・教員・特殊法人	14.5%
5	商社・卸売・小売業	10.9%
6	建設・不動産業	13.0%
7	金融・保険業	3.1%
8	その他	24.3%

※2023年3月31日時点での情報

詳しくは WEBで

SCHOOL OF ECONOMICS AND BUSINESS ADMINISTRATION

国際商学部

国際商学科

学位：学士（経営学）・学士（経済学）

グローバル企業に必要な経営管理能力、新事業を創造する企画立案力、マネジメントの高度な実学能力を養います。ビジネスの国際的な共通言語である経営学・経済学を学び、ビジネスの現場で役立つ確かな英語力も身に付けます。海外・国内インターンシップやフィールドワーク、海外大学とのサマープログラムなどの多彩な学外実習で、学問的な理論・知識に加えて実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関で活躍できる職業人を育成します。

こんな学びを志向する人に

- 企画立案する方法や起業する方法を学びたい
- 金融機関の活動や金融等の政策について学びたい
- グローバル企業で活躍するための経営管理能力を身に付けたい
- 「経営学」と「経済学」を1年間学んでから深く追求する学問を決めたい
- さまざまな専門職（公認会計士、税理士）を目指したい
- 民間企業から公務員まで、幅広く自分の可能性を広げる学びをしたい

国際商学部の特色

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性に基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶと共に、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的思考力を養い、数理的理解力やデータ分析力等を生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的な専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な「実学」力により、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。

特色1 『英語で学ぶ専門科目でビジネスに強い英語力を強化』

皆さんが大学を卒業する頃には、会議での公用語が英語となっている企業は増えている事でしょう。そうでないとしても、仕事で英語を使用する機会は確実に増えています。つまり、グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、コミュニケーションのための英語力だけでなく、仕事に生かせる実践的な英語力だと考えます。そこで、国際商学部では、英語による専門科目（Global Business Strategy、Advanced Topics in Economics、Introductory Accounting等）を多数学ぶ事ができます。たとえば、Introductory Accounting Ⅰを2年次前期に学修してもらうために、1年次に簿記入門を事前に日本語で学修できるように計画されているので、英語での専門科目の学修も無理なく進める事ができます。

特色2 『海外で実践力を養う、海外インターンシップ』

グローバル企業は世界各国に支社や事業所を開設しています。日本企業もこれから急速に世界中の都市に進出していく事でしょう。つまり、近い将来、「企業で働く」という事は国内だけでなく海外をフィールドとして活躍する事を意味するのです。そこで、国際商学部ではこれからのビジネスには欠かす事のできないグローバルな視点と経営管理能力を入学後の早い段階から意識し、確実に獲得してもらうため、また、在学中に海外で働く事を体験してもらいたいという思いから、海外企業等へのインターンシップに参加する機会を提供していきます。

特色3 『データ分析、起業、医療経営等多様な専門性を育成』

ビジネスの世界、たとえば、新商品を開発し販売し収益を上げるまでには、どこに工場を建設するのか、原材料はどこから購入するのか、工場の作業員をどのように確保するのか、商品の広告費にいくらかけるのか、そして、商品の価格はいくらにするのか、その他、決断しなければならない課題がたくさんあります。こうした課題解決に経営学と経済学の知識は必須です。しかし、今ではこうした課題の解決に経営学や経済学以外の知識も必要となっています。そのひとつが膨大なデータを分析し見える化する能力です。また、経済成長が見込まれない社会で企業が発展していくためには、新事業を創り出す（起業する）ための企画立案力も必要となってきます。その他、人口が減少していく社会では医療に関係する課題も山積しており、こうした諸課題に経営的な視点からの解決が強く求められています。そこで、国際商学部では、本学のデータサイエンス学部や医学部と連携し、「計量経済学」、「起業家人材論」、「医療イノベーション経営管理論」等特色ある科目を設け多様な専門性を育成します。

Message from the Dean

「人と進んで交わり共に資質を高める」
という理念のもと
豊富な卒業生ネットワークを生かして、
グローバル社会で活躍するための実学力を高める。

国際商学部長
大澤　正俊 Masatoshi Osawa

国際商学部は、1928年設立の横浜商業専門学校を開学の祖とし、1949年に新制大学（学校教育法に拠る大学）商学部として発足しました。その後、2005年から国際総合科学部（経営科学系）として、これまで、開国・開港の地である横浜にふさわしく、開放的で国際性・進取性に富む学風は受け継がれ、実践力の溢れる人材を多数輩出してきました。現代社会は、グローバル化、ICT（情報通信技術）の急速な発展、少子高齢化による市場の縮小や労働人口の減少等が、想像以上のスピードで進んでいる状況です。これに伴い大きく変化してきているビジネスの世界でも活躍できるリーダーを養成する事が、これからの横浜市立大学の使命であると受け止め、2019年4月国際商学部を設置するに至りました。国際商学部でも「人と進んで交わり共に資質を高める」という開学当初からの理念のもと、精力的に実業界と関わりながら実学力（経営学・経済学の専門性に裏付けられたマネジメントに関する実践力）を養っていきます。そのため学外実習では、実業界で活躍している多くの卒業生とのネットワークと国際商業都市である「横浜」というフィールドを生かし、学問的な理論・知識に加え、実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関等で活躍できる職業人の育成を目指します。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の特長	国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
		プレゼミ / 演習		卒論演習
		英語による専門科目（基礎）	英語による専門科目（応用）	
		海外留学・学外実習 前期には、海外留学・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップ等 積極的に海外体験を推奨する期間があります。		
				大学院科目の早期履修
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ / 基礎ゼミ			
	Practical English		Advanced Practical English	
領域横断		領域横断型人材育成プログラム		

実践で学ぶための海外体験や実習

１年次は国際商学部の入門科目を学び、２年次には経営・経済の基礎理論をしっかりと学びます。さらに、２年次の６月中旬から９月にかけて、海外企業インターンシップや短期留学等、積極的に海外での体験を積める期間を設けています。そして２年次後期になると専門ゼミに配属され、専門を深めていく事になります。また、国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」を設け、アクティブラーニングによる学びで実践的なテーマに挑戦します。

国際商学部専門科目一覧

専門科目

医療イノベーション経営管理論
サービス・ビジネス論Ⅰ
サービス・ビジネス論Ⅱ
公会計論
起業家人材論
起業プランニング論
医療経営論
Global Business Administration
Global Business Strategy
Global Organization Theory
Japanese Industry
Japanese Economy
Global Leadership
Global Service Management
Global Human Resource Development
Introductory Accounting Ⅰ
Introductory Accounting Ⅱ
Intermediate Accounting
International Business
Basics of Corporate Analysis and Valuation
Global Innovation Management
Global Marketing

Advanced Topics in Economics
Introduction to IFRSs
Business Economics
民法・物権Ⅰ
民法・物権Ⅱ
民法・債権Ⅰ
民法・債権Ⅱ
環境法
財務諸表分析Ⅰ
財務諸表分析Ⅱ
経済統計Ⅰ
経済統計Ⅱ
経済政策Ⅰ
経済政策Ⅱ
ミクロ経済学Ⅰ
ミクロ経済学Ⅱ
マクロ経済学Ⅰ
マクロ経済学Ⅱ
行政法Ⅰ
行政法Ⅱ
国際金融論Ⅰ
国際金融論Ⅱ

金融論Ⅰ
金融論Ⅱ
計量経済学Ⅰ
計量経済学Ⅱ
経営財務論
財政学Ⅰ
財政学Ⅱ
公共経済学
地方自治論
コーポレート・ファイナンス
ビジネスエコノミクス
商業簿記Ⅰ
商業簿記Ⅱ
会計学原論Ⅰ
会計学原論Ⅱ
工業簿記
経営労務
経営組織論
マーケティング論
国際経営論
原価計算論
国際会計論

経営戦略論
マーケティングリサーチ
組織行動論
人的資源管理論
企業論
経営情報論
財務諸表論
コーポレート・ガバナンス
コストマネジメント論
イノベーション・マネジメント
組織文化論
経営史
証券市場論
監査論
ベンチャービジネス論
多国籍企業論
管理会計論
企業戦略論
国際税務戦略
生産管理論
リスクマネジメント論

中小企業論
税務会計論
消費者行動論
流通ロジスティックス論
情報の経済学Ⅰ
情報の経済学Ⅱ
経済数学
国際経済学Ⅰ
国際経済学Ⅱ
ゲーム理論
公共政策
都市経済学
ファイナンス理論
契約理論
産業組織論
労働経済学
社会保障論
地理情報システム論
港湾都市論
資源経済学
環境経済学
経済成長論

景気循環論
金融システム論
公共選択論
地方財政学
会社法
租税法
ビジネス法務
手形小切手法
金融商品取引法
倒産法
サマープログラム
インターンシップ実習
企画立案型実習A
企画立案型実習B
文理融合型実習A
文理融合型実習B
医療経済学
医療政策学
等

専門ゼミ

プレゼミA　演習Ⅰ　演習Ⅱ　演習Ⅲ　卒論演習Ⅰ　卒論演習Ⅱ　卒業論文

国際商学部のSDGsへの取組み

マーケティング、消費者行動が専門の演習（柴田ゼミ）で社会的課題解決に貢献するブランド戦略立案と実践

コロナ禍でゼミ生達は、自身の食と健康、持続的な社会に強い関心を持ちました。これをきっかけに、同じ問題意識を持つ横浜南部市場の水産会社(株)横浜食品サービスや、横浜中華街の発展に寄与する活動を行う横浜中華街発展会協同組合と、それぞれ連携活動をスタート［17（パートナーシップ）］。水産エコラベルのMEL認証認知拡大策［14（海の豊かさを守る）］や、食品加工時に発生し食品ロスになってしまう「端材」の商品化とプロモーション［12（食品ロス）］、魚食文化継承に向け大手量販店で「おさかなお弁当」の販売［3（健康に貢献する食）、12（食品ロス）］、中華の伝統文化である「打包（ダァパオ）」という食べ残しの持ち帰りを推進するマーケティング活動［12（食品ロス）］、横浜中華街の未来につながるファンづくり［11（持続可能な街）］のほか、SDGsに対応しながらブランド力や企業価値向上に寄与するマーケティング的アプローチにチャレンジしています。

おからまぐろコロッケ
（学生によるイラスト）

レシピカード
（学生によるイラスト）

Pick up 授業

医療イノベーション経営管理論

原 広司

医療は身近なサービスであり、私たちの生活にはなくてはならないものです。しかしながら、一人の医師や立派な建物があれば良い医療が提供できるわけではありません。そこには多くの人が関わり、たくさんのモノを活用し、必要なお金や情報を管理しなければなりません。例えば、「様々な職種の人がうまく一緒に働くためにはどんな仕組みが必要か」、「病院の半数は赤字経営と言われる中で、収益性や効率性をどうやって向上させるか」など、医療には経営的課題が山積しています。そこで、医療と経営学の融合によるイノベーションが社会的に求められています。本講義では、医療制度・政策、医療の質、医療マーケティング、経営戦略などについて実例を交えて解説します。また、現場でご活躍の講師による講演を通じて実践的な視点も学習します。本講義は本学にしかない特色講義の一つであり、医療へのイノベーションを起こす事ができる人材の育成を目指します。

景気循環論

中園 善行

ある国の経済について語りたい。そんなときはマクロ経済学の出番です。マクロ経済学には二つの問いがあります。第一の問いは「なぜ貧しい国と豊かな国があるのか?」という問いです。第二の問いは「なぜ景気は良くなったり悪くなったりするのか?」という問いです。第一の問いを扱う講義が「経済成長論」です。経済成長論では、経済格差が生じる背景を模型（モデル）を使って考えます。第二の問いを扱う講義が「景気循環論」です。景気循環論では景気が良くなりすぎたり、悪くなったりする理由について学びます。講義ではまず消費者がお金を使う際の意思決定や、企業が投資をする際の意思決定について、理論的に整理します。そうすることで、消費者や企業の意思決定の結果として景気が良くなったり悪くなったりする背景が理解できるようになります。講義では景気の振幅に対し、政府や中央銀行に何ができるのかについても学びます。

主な科目紹介

経済統計Ⅰ・Ⅱ

さまざまな経済活動のベースになるのが、データです。データを用いた意思決定が、ビジネスの現場で一般的になりつつあるからです。この講義ではデータの利活用に必要な統計学のテクニックを幅広く学びます。授業の前半では理論などの解説をし、後半ではパソコンを使った実習を行います。練習問題を自ら着実に解くことにより、みなさんが自分のアイディアをデータ分析によって表現できるようになります。

公共選択論

この講義では、公的な意思決定に関し考察が行えるようになる事を目指し、公共選択論あるいは社会的選択論の文脈から政府の在り方に関して学びます。ミクロ経済学の復習を行うと共に、市場の失敗について改めて取り上げ、期待される政府の役割が望ましい形で行われているか、また望ましい形で行われるためにはどうしたらよいのかを考えていきます。

Global Human Resource Development

この講義では学術的に裏打ちされた理論にしたがい、実践的なチーム活動を通じて世界標準のリーダーシップスキルを涵養することを目的としています。実際の企業から与えられる経営課題の解決に４名程度のチームで取り組み、チーム活動のプロセスでやり取りされたメンバーの行動を内省と他者からのフィードバックの言語化によって自己認識を深め、自分らしいリーダーシップ行動を高次元で意識的にとることができる能力を獲得します。

企画立案型実習A

神奈川、横浜の経営課題について、実習形式で「課題の発見と解決」を学びます。そこで、トピックに関連した、地域企業の講演、ワークショップやフィールドワーク等の機会を積極的に設けます。具体的には、「基礎講義」「講演」「ワークショップ、フィールドワーク」「グループディスカッション」を通じて、理論と実践の融合を図ります（2023年のテーマは「マーケティング」）。

大学院紹介

国際マネジメント研究科
Graduate School of International Management

詳しくはWEBで

国際マネジメント専攻

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、博士前期課程では履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」で構成し、段階的に専門知識を身に付けていける体制を整えると共に、特定の指導教員による2年間の研究を通し、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。経営管理手法を用いて社会課題解決をめざす学生を対象として、経営学・経済学の知識やスキルの習得を目指すソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム（SIMBA）も、本研究科の特色です。所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により、ソーシャル・イノベーション研究プログラム修了者として認定しています。

教員一覧

詳しくはWEBで

芦澤 美智子 Michiko ASHIZAWA 准教授 起業家人材論	岩佐 朋子 Tomoko IWASA 准教授 ビジネスエコノミクス	大澤 正俊 Masatoshi OSAWA 教授 民法・物権	太田 塁 Rui OTA 教授 国際経済学
大塚 章弘 Akihiro OTSUKA 准教授 都市経済学	大坪 徹也 Tetsuya OTSUBO 准教授 情報マネジメント	加藤 弘陸 Hirotaka KATO 講師 医療経済学	康 聖一 Seongill KANG 教授 情報の経済学
鞠 重鎬 Joongho KOOK 教授 財政学	黒木 淳 Makoto KUROKI 教授 管理会計論	小泉 大輔 Daisuke KOIZUMI 准教授 人的資源管理論	坂口 利裕 Toshihiro SAKAGUCHI 教授 社会工学
柴田 典子 Noriko SHIBATA 准教授 マーケティング論	白石 小百合 Sayuri SHIRAISHI 教授 計量経済学	随 清遠 Qingyuan SUI 教授 金融論	高橋 隆幸 Takayuki TAKAHASHI 教授 税務会計論
張 櫻馨 Ying-Hsin CHANG 教授 国際会計論	中條 祐介 Yusuke NAKAJO 教授 財務諸表分析	中園 善行 Yoshiyuki NAKAZONO 教授 マクロ経済学	長畑 周史 Shushi NAGAHATA 准教授 会社法
中村 祐太 Yuta NAKAMURA 准教授 ゲーム理論	根本 裕太郎 Yutaro NEMOTO 准教授 サービス・ビジネス論	原 広司 Koji HARA 准教授 医療イノベーション経営管理論	藤﨑 晴彦 Haruhiko FUJISAKI 准教授 原価計算論
三浦 敬 Takashi MIURA 教授 会計学原論	吉永 崇史 Takashi YOSHINAGA 教授 経営組織論	和田 淳一郎 Junichiro WADA 教授 公共経済学	

（2023年5月時点）

学生の声

詳しくはヨコ知り！

可能性を広げるプログラムの数々で国際社会に貢献できる人として磨きをかける。

国際商学部 国際商学科 3年
茨城県立水戸第二高等学校卒
川瀬 桃香 Momoka Kawase

子どもの頃から工場見学や企業潜入などのテレビ番組を見るのが好きで、いつしか「商品企画」に興味を持つようになりました。また海外の文化にも触れたいと考えていたので、国際交流が盛んなYCUの国際商学部に入学。経営学を英語で学ぶ講義のほか、医療経営論、経済政策、サービス・ビジネス論など幅広く学んでいます。なかでも企画立案型実習として行ったバス会社への広告デザインの提案はマーケティングとブランド・マネジメントについて実践的に学べた、有意義な経験でした。今後はマーケティングの専門性を高め、語学力や国際感覚も強化しながら成長していきたいです。

マーケティングの知識を活かして、国際舞台で活躍を目指す。

国際商学部 国際商学科 3年
神奈川県立光陵高等学校卒
近藤 優一郎 Yuichiro Kondo

将来は、海外の人々とコミュニケーションを交わせる企業で活躍したいと思い、YCUの国際商学部を選びました。英語で行なわれる専門科目や海外留学プログラムが充実しているので、実践的な英語力が向上しました。また、ゼミでは現在リサーチ実習を行い、マーケティングに欠かせない市場調査の方法などを学んでいます。ライフスタイルの多様化やグローバル化にともない、企業は様々なニーズを満たすことが求められます。自分も将来は、ゼミや講義で学修・実践した知識を活用して、グローバルな企業で、消費者の視点に立ったマーケティングを行いたいと考えています。

卒業後の主な進路

1	製造業	14.1%
2	情報通信業・マスコミ	25.5%
3	広告・コンサルティング・専門サービス業	17.3%
4	公務員・教員・特殊法人	7.7%
5	商社・卸売・小売業	8.6%
6	建設・不動産業	5.0%
7	金融・保険業	8.6%
8	その他	13.2%

※2023年3月31日時点での情報

詳しくは WEBで

SCHOOL OF SCIENCE

理学部

理学科

学位：学士（理学）/ 取得できる資格：教員免許（理科）

「生命現象」の理解と解明のためには従来の生物学だけではなく、物理学や化学などを含めた総合的な理学的知識が必要であり、さらにナノテクノロジーやデータサイエンスなどの最先端テクノロジーを駆使した多面的なアプローチが必要です。理学部では、物質科学や生命科学、そしてこれらの融合領域の専門知識を学修し、物質科学の概念を持ちながら、細胞・個体スケールの生命現象をとらえる事ができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物理・化学現象としてとらえる事ができる人材、医学・工学・農学などとの連携研究にも積極的に挑戦できる人材を育てます。

こんな学びを志向する人に

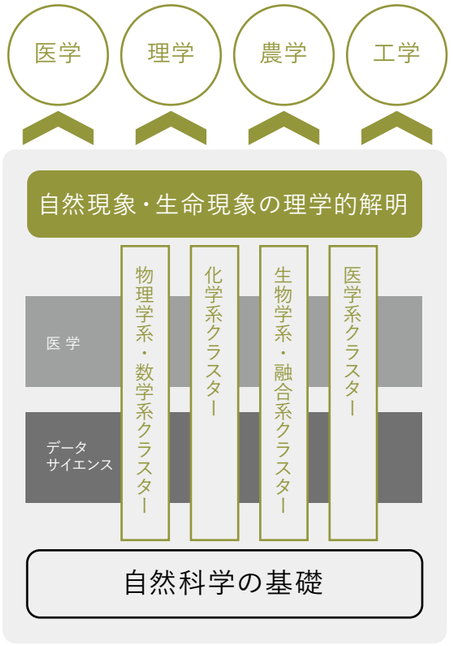
- 物理学・化学・生物学・地学分野の基礎を体系的に学び、さらに高度専門分野を探究したい
- エネルギー・環境・食糧問題に関心がある
- 物理学・化学で生命の仕組みを理解し、社会に役立てたい
- 最先端科学技術・未来科学技術に興味がある
- 自然現象を理解し、イノベーションを起こしたい
- 生命科学や医療に関連した仕事、研究に興味がある

理学部の特色

理学部は、自然科学の基礎を全般的に学ぶ事で、物質科学の概念を踏まえて細胞・個体スケールの生命現象を捉える事ができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物質科学として捉える事ができる人材の育成を目指しています。そして、理学的専門教養をもとに、医学・農学・工学等の連携研究にも積極的に挑戦できる人材を養成します。理学部では、生命とそれを取り巻く環境を対象として、それらを構成する物質の構造・機能・反応をシステムとして捉え、それぞれの生命における階層を接続する事で生命現象を理解する事を目指します。

特色 1 『物質科学や生命科学、およびこれらの融合領域の専門知識を学修する』

理学部では、すべての学生が物理学、化学、生物学、地学の基礎を一通り学んだ上で、物質科学、生命科学、あるいはこれらの融合領域分野へ進みます。高等学校で物理あるいは生物を履修していない学生に対して、1年次にリメディアル講座の授業を用意しています。6つの履修モデル（物理学で自然現象を解明できる人材育成、化学で自然現象を解明できる人材育成、生命を脅かすさまざまな環境要因に対する生命の防御機構や適応機構を深く探究できる人材育成、食糧問題や環境浄化に取組める人材育成、生体分子の構造と機能を理解し、創薬に応用できる人材育成、細胞・生体の働きを理解し、医療関連に応用できる人材育成）に沿って、高度な専門的知識・技術を身に付けます。



特色 2 『グローバルな研究マインドと実力を身に付ける「国際リトリートプログラム」』

自然を対象とする研究は、自然現象の観察とそれを理解するための検証実験や理論の構築により発展してきました。原子分子サイズから地球規模のものまでを対象とする自然科学は、国や地域にとらわれない世界中どこでも通用するグローバルな学問です。自然科学で世界に貢献するためには、グローバルな視点を持ち、英語を使って研究成果を発表する必要があります。「国際リトリートプログラム」は、卒業研究によって得られた成果を海外の大学等で英語を使って発表し、海外の研究者とディスカッションできるプログラムです。本プログラムは、グローバルな研究マインドと世界で通用する研究者としての実力を養うためのもので、大学院生命ナノシステム科学研究科を主体として実施されています。

特色 3 『１年次から研究活動を行える「理数マスター育成プログラム」』

自然科学研究では実験に基づく研究が不可欠であり、理学部の学生は卒業研究で配属された各研究室において研究を行い成果を卒業論文としてまとめます。しかし、学生にとっての研究スタートは３年次後期あるいは４年次であり、それまで待たなければなりません。本学理学部の特別プログラムである「理数マスター育成プログラム」では、プログラム参加学生は1年次から自主的に研究活動を行う事ができます。そのための専用教室「理数マスター室」をいつでも使用する事ができるように整備しました。学生自らが決めたテーマに従って、教員の個別指導のもとで研究を進め、その成果を学内外の発表会で発表します。これまで物理学、化学、生物学、物質科学、生命科学、医科学、計算科学、植物科学等さまざまな分野の自主研究が行われています。

Message from the Dean

物質科学と生命科学で
生命現象を細胞・個体スケールでとらえ
原子・分子スケールの観点から解明する。

理学部長
横山　崇　Takashi Yokoyama

今日の科学は、これまでの物理学・化学・生物学といった分野で構成されていたものが、より高度・専門的に深化した結果、いくつもの小さな分野・領域に細分化されてきました。一方で、エネルギー・環境・医療等の諸問題は、このような細分化した分野からのアプローチだけでは対応しきれないほど、高度化・複雑化が進んでいます。本学理学部では、「ヒトの生命現象」の理解と解明をひとつのターゲットとし、生物学だけではなく、物理学や化学の概念や理論も含めた総合的な理学的知識を身に付ける事で、物質科学の概念を持ちながら細胞・個体スケールの生命現象を捉える事ができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物理・化学現象として捉える事ができる人材、医学・農学・工学等との連携研究にも積極的に挑戦できる人材の育成を目指します。この他にも理学部では、物質科学分野、生命科学分野、またはその融合分野において、多様な研究が活発に行われており、これらの学修成果をさまざまな領域で発揮する事ができます。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の特長	物理学、化学、生物学、数学に関する基礎知識と技術を学ぶ	専門科目を4つの科目群に分類し、そのうち2つを選択し、専門性を深める	選択した科目群の知識・技能をもとに高度な専門科目を履修する	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業研究を行う
			研究室配属	
		Global Science	Science English/Scientific Writing in English	大学院科目の早期履修
	実験の基礎科目	実験技法の修得科目	専門実験科目	
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ/基礎ゼミ			
	Practical English		Advanced Practical English	
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

6つの履修モデルと4つのクラスター（科目群）

1年次には全員が物理学、化学、生物学の基礎実験を必修で学びます。それにより、理学全般の基礎的な知識や、必要とされる実験技術をしっかりと修得し、専門教育にスムーズに移行できる基礎力を養います。2年次以降はさまざまな専門領域から目的を持って学ぶため、6つの履修モデルを用意し、体系的に学修できるようになっています。さらに、各科目は学問領域ごとにグループ化された4つのクラスター（科目群）を置き、このうち2つを選択して学びます。理学部では3年次後期に研究室に配属され、専門領域を追求していきます。

6つの履修モデル			
	物理学で自然現象を解き明かせる人材	化学で自然現象を解き明かせる人材	分子・細胞・個体レベルで生命現象を解き明かせる人材
	ゲノム科学、生命科学の推進を通じて、食料・環境問題解決に貢献できる人材	生体分子の構造と機能を理解し、創薬に応用できる人材	細胞・生体の働きを理解し、医療関連に応用できる人材

理学部専門科目一覧

物理学系・数学系クラスター	化学系クラスター	生物学系・融合系クラスター	医学系クラスター
振動と波動	基礎有機化学	細胞生物学	人体の解剖生理学
電磁気学	基礎無機化学	遺伝学	分子細胞医科学
熱力学	化学熱力学	植物生理学I	臨床概論・疾病病態学
地学概説	分析化学	植物生理学II	薬理学
基礎量子力学	有機化学	分子生物学	生命医科学特別講義
統計力学	無機化学	生化学I	
基礎生命物理学	溶液化学	生化学II	
地球科学入門	先端機器分析化学	微生物学	
自然科学数学A(微分方程式)		動物生理学I	
自然科学数学B(フーリエ解析)		分子細胞生物学	
自然科学数学C(複素解析)		放射線生物学	
自然科学数学D(ベクトル解析)		糖鎖生物学	
		タンパク質の構造生物化学	
		遺伝子の生物化学	
		構造創薬科学	

総合学修科目群						
Global Science	特講（Science English）	課題提案型演習A	課題提案型演習B	理数自主研究I	理数自主研究II	理数自主研究III

専門発展科目群						
量子力学	地震学	先端科学技術	量子化学	細胞工学	環境毒性学	生命情報科学
固体物性	電子物性	創薬有機化学	天然物有機化学	資源生物利用学	極限環境生物学	創薬分析化学
物理学演習	マテリアルデザイン	錯体化学	エネルギー変換	ゲノム遺伝学	先端植物科学	遺伝子機能科学
生命物理学	知覚情報科学	化学反応速度論	動物生理学II	再生発生学	環境保全学	先端タンパク質科学
特講（Scientific Writing in English）	特講（応用統計力学）					

実験実習科目群			卒業研究関連科目群		
自然科学実験I	地球科学実験	生命機能計測実験	先端科学演習	先端科学実習	卒業論文
自然科学実験II	生命科学実験	物質計測実験	卒業研究I	卒業研究II	

理学部のSDGsへの取組み

理学から未来の世界を拓く木原生物学研究所

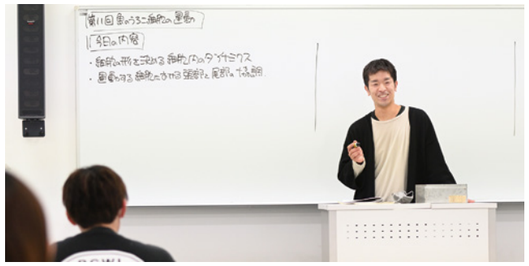
舞岡キャンパスにある木原生物学研究所では、植物・食料科学を通じて環境と健康のつながりを考え、SDGs達成に貢献する植物科学・食料科学の研究と教育を進めています。特に、一粒の麦から植と食をつなぎ心に緑の種子をまくプロジェクト「みらい麦畑化計画」では、ワークショップや麦作りの農作業イベント等を通して、人と人、環境と人とのつながりを考え、私たちの学びを社会に生かす取組みに挑戦しています。中でもユニークな取組みとして、舞岡で種から育て収穫した大麦を使ったビール造りで、横浜市立大学発クラフトビール「KORNMUTTER」として販売もされる等、学生にとっても実社会で実践する場となっています。自然と物質の“二つの循環を調和”させた、グローカルな社会ネットワークの実現を考え、学びと研究成果を地域に役立てる事でSDGsへの貢献を目指します。

Pick up 授業

基礎生命物理学

谷本 博一

生命物理学は、生命現象を物理学の立場から理解することを目指す、生命科学と物質科学の境界領域にある学問分野です。「基礎生命物理学」では、理学部2年生を対象として、生命物理学に関する入門的な講義を行います。基礎的な物理を用いた生命現象の解析を通じて、生命現象に関する理解を深めるとともに、ともすれば「物質を理解することが目的の学問」だと思いがちな物理学を新鮮な視点から見直す機会にして欲しいと思っています。



Global Science

Robert A. KANALY

理学部2年生を対象とした「Global Science」では、科学に関連するさまざまなトピックについて、国際的な視点を重視しながら、理学部の各教員による講義を行います。海外での研究経験等、国際的な経験を積んだ教員による各専門分野（物理学・化学・生命科学）の紹介を通して、国際的な視野や、科学英語を用いたコミュニケーション能力を高める事を目的としています。

大学院進学を見据えた取組み

学部・大学院の一貫教育

学部教育で修得した物理学、化学、生物学を基盤とした生命科学に関する基礎知識をもとに、大学院・生命ナノシステム科学研究科、生命医科学研究科に進学し、更に高度な研究技術の修得、生命現象を理学的に解明する力を養います。

大学院科目早期履修

3年次を終了した時点で、要件を満たした学生が博士前期課程の開講科目を履修できる制度です。履修を許可された学生は、学部4年次に早期履修する事ができます。本制度を活用する事で、大学院に進学した際に、研究活動に専念する事ができます。

理数マスター育成プログラム

将来の科学技術を担う人材育成を目指した理学部の特別プログラムで、高い研究意欲を持つ学生を対象に各自の能力向上のための研究環境を提供します。特徴は、1年次から学生自らが決めた研究テーマに従い、教員の個別指導のもとで 研究活動に取り組みます。

大学院紹介

生命ナノシステム科学研究科

Graduate School of Nanobioscience

詳しくはWEBで

物質システム科学専攻

物質システム科学専攻では、電子・原子・分子の視点から、実験科学（合成・計測・評価）と計算科学（計算・情報・予測）に基づき、生命現象を含めた物質システムを解明するための教育と研究を行っています。これらの研究により得られた成果を、環境・エネルギー等の諸問題の解決に向けて応用し、社会に貢献する事を目指しています。

生命環境システム科学専攻

生命環境システム科学専攻では、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生命を維持するシステムについて、基本設計図であるゲノムをはじめとするさまざまな生体分子の構造と機能を解明し、生物個体の生命活動システムの基本原理、および生物集団としての遺伝子適応や遺伝子進化を理解するための教育と研究を行っています。

生命医科学研究科

Graduate School of Medical Life Science

詳しくはWEBで

生命医科学専攻

生命医科学研究科では、既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学を統合する事で細胞生物学を含めた先端医科学研究へ応用展開していく教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスにあり、理化学研究所との連携大学院を一層発展させると共に、生命医科学の出口を見据えた連携をより一層広げるために、本学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所（AIST）、国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）へと連携を広げた教育体制を構築しています。さらに、生命医科学研究の基盤となるさまざまな新技術の開発も推進しています。

教員一覧

詳しくはWEBで

明石 知子 Satoko AKASHI 教授 構造生物化学	足立 典隆 Noritaka ADACHI 教授 生物系薬学	荒谷 康昭 Yasuaki ARATANI 教授 免疫生物学	有田 恭平 Kyohei ARITA 教授 構造生物化学
池上 貴久 Takahisa IKEGAMI 教授 構造生物化学	池口 満徳 Mitsunori IKEGUCHI 教授 生命情報科学	石川 裕一 Yuichi ISHIKAWA 准教授 天然物合成化学	一色 正之 Masayuki ISSHIKI 准教授 植物分子・生理科学
伊藤 健太郎 Kentaro ITO 助教 分子生物学	入江 樂 Raku IRIE 助教 天然物化学	内山 英穂 Hideho UCHIYAMA 教授 発生生物学	浴本 亨 Toru EKIMOTO 助教 生物物理学
及川 雅人 Masato OIKAWA 教授 生物有機化学	大江 弘晃 Hiroaki OOE 助教 表面界面物理学	大関 泰裕 Yasuhiro OZEKI 教授 糖鎖生物学	片岡 浩介 Kohsuke KATAOKA 准教授 遺伝子発現制御科学
Robert A. KANALY 教授 環境毒性・微生物学	川浦 香奈子 Kanako KAWAURA 准教授 育種学	川崎 ナナ Nana KAWASAKI 教授 糖鎖生物学	北 幸海 Yukiumi KITA 准教授 理論分子科学
木下 郁雄 Ikuo KINOSHITA 准教授 電子物性科学	木下 哲 Tetsu KINOSHITA 教授 植物エピゲノム科学	金 亜伊 Ahyi KIM 准教授 固体地球惑星物理学	沓名 伸介 Shinsuke KUTSUNA 准教授 基礎ゲノム科学
古久保 哲朗 Tetsuro KOKUBO 教授 分子生物学	小島 伸彦 Nobuhiko KOJIMA 准教授 ナノマイクロシステム	小沼 剛 Tsuyoshi KONUMA 助教 構造生物化学	斎藤 慎太 Shinta SAITO 助教 分子生物学
坂倉 正義 Masayoshi SAKAKURA 准教授 構造生物学	佐々木 幸生 Yukio SASAKI 准教授 神経科学	佐藤 友美 Tomomi SATO 教授 内分泌学	塩田 肇 Hajime SHIOTA 准教授 植物発生生理学
篠﨑 一英 Kazuteru SHINOZAKI 教授 無機光化学	島崎 智実 Tomomi SHIMAZAKI 准教授 計算科学	嶋田 幸久 Yukihisa SHIMADA 教授 植物ホルモン	菅原 亨 Tohru SUGAWARA 准教授 創薬再生科学
鈴木 厚 Atsushi SUZUKI 教授 分子細胞生物学	鈴木 凌 Ryo SUZUKI 助教 結晶工学	関本 奏子 Kanako SEKIMOTO 准教授 質量分析学	高橋 栄夫 Hideo TAKAHASHI 教授 構造生物化学
高見澤 聡 Satoshi TAKAMIZAWA 教授 構造生物化学	橘 勝 Masaru TACHIBANA 教授 ナノ材料科学	立川 正志 Masashi TACHIKAWA 准教授 生物物理学	立川 仁典 Masanori TACHIKAWA 教授 量子科学・材料設計
立石 健祐 Kensuke TATEISHI 准教授 腫瘍学・脳神経外科学	谷本 博一 Hirokazu TANIMOTO 准教授 生物物理学	J.R.H. TAME 教授 生物物理学	寺山 慧 Kei TERAYAMA 准教授 生命情報科学
殿崎 薫 Kaoru TONOSAKI 助教 植物育種学	中島 忠章 Tadaaki NAKAJIMA 助教 動物生理学	西澤 知宏 Tomohiro NISHIZAWA 教授 構造生物化学	禾 晃和 Terukazu NOGI 准教授 構造生物化学
野々瀬 真司 Shinji NONOSE 准教授 物理化学	朴 三用 Sam-yong PARK 教授 基礎生物学	服部 伸吾 Shingo HATTORI 助教 無機化学	林 郁子 Ikuko HAYASHI 准教授 構造生物化学
坂 智広 Tomohiro BAN 教授 植物遺伝育種学	東 昌市 Shoichi HIGASHI 教授 構造生物化学	藤井 道彦 Michihiko FUJII 教授 機能生物化学	本多 尚 Hisashi HONDA 教授 物性物理化学
丸山 大輔 Daisuke MARUYAMA 准教授 細胞生物学	Ruggero MICHELETTO 教授 知覚情報	水谷 健二 Kenji MIZUTANI 助教 構造生物化学	守 次朗 Jiro MORI 助教 環境微生物学
山田 重樹 Shigeki YAMADA 准教授 物性物理学	山本 浩太郎 Kotaro YAMAMOTO 助教 物質計測科学	横山 崇 Takashi YOKOYAMA 教授 表面・ナノ構造物性科学	吉本 和生 Kazuo YOSHIMOTO 教授 固体地球惑星物理学
李 勇燦 Yongchan LEE 助教 構造生物化学			

（2023年5月時点）

学生の声

詳しくはヨコ知り！

魅力的な研究室が多く 幅広い分野の学びを深められる。

理学部 理学科 3年
神奈川県立平塚中等教育学校卒
林　大雅 Taiga Hayashi

昔からものづくりが好きで、特に世の中や産業を大きく変える材料の分野に興味がありました。志望校選びの際、YCUホームページ・研究室紹介の有機系や炭素系などの興味深い研究内容に惹かれたため、理学部への進学を決めました。1年次は分野に縛られない幅広い授業を受けて基礎を固めるとともに、「理数マスター育成プログラム」に参加し、先輩方と一緒に、セルロースナノファイバーなど専門の先端研究に携わることができました。2年次は20～30人の少人数で、統計力学や基礎量子力学などの専門科目を学びました。今後は大学院への進学を視野に入れつつ、幅広い分野の知見を広め、さらに海外留学で様々な経験を積みながら、研究の道を深めたいです。

理化学研究所や医学部との連携で 研究を深め、交流もできる。

理学部 理学科 3年
神奈川県立柏陽高等学校卒
梅澤　遥佳 Haruka Umezawa

高校の生物の授業で、生体膜と膜タンパク質によって引き起こされる化学反応の巧妙さに感動し、この研究をしたいと考え、YCUの理学部に入学しました。1年生では英語や科学の基礎を幅広く学び、2年生になると理数マスター育成プログラムの一環として研究室に所属。インフルエンザウイルスと創薬に関する研究を行っています。今後は念願だった膜タンパク質の研究にも着手したいと思います。YCUは国内に数台しかない解析装置を有し、研究環境が非常に整っていると感じます。また、医学部の先生による講義や実験があり、鶴見キャンパスでは隣接する理化学研究所と協働して研究活動を行うなど、他学部、他機関との連携による深い学びができるのもうれしいです。

卒業後の主な進路

1	製造業	15.4%
2	情報通信業・マスコミ	30.8%
3	広告・コンサルティング・専門サービス業	12.8%
4	公務員・教員・特殊法人	12.8%
5	商社・卸売・小売業	12.8%
6	建設・不動産業	2.6%
7	金融・保険業	2.6%
8	その他	10.2%

※2023年3月31日時点での情報
※全体の約6割の学生が進学

詳しくは WEBで

SCHOOL OF
DATA SCIENCE

データサイエンス学部

データサイエンス学科

学位：学士（データサイエンス）

今社会はIoT（Internet of Things）の活用によりすべてのモノがつながり、「第4次産業革命」を迎えつつあり、医療関連のデータからSNSの何気ないつぶやきまで、日々膨大なデータが生まれ蓄積されています。データサイエンス学部が育成するのは、そんな膨大なデータの中から新たな社会的な価値を創造できる人材。データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション能力や、イノベーションを起こす発想力、そして次世代に通用するビジネス力を学んでいきます。

こんな学びを志向する人に

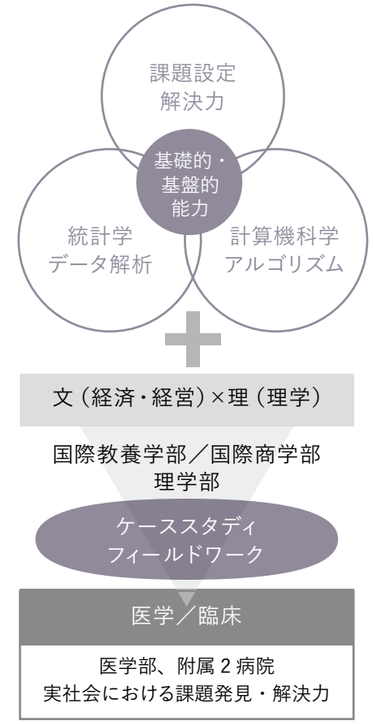
- 統計学とコンピュータを武器に問題解決に立ち向かいたい
- コミュニケーションを大切にしながら人や社会に貢献したい
- ビッグデータを駆使して社会の課題を発掘し、解決したい
- データの力をベースに、発想力で勝負する経営者になりたい
- 自らの興味のある分野をデータの立場からじっくり見つめたい
- さまざまなバックグラウンドを持つ人たちと積極的に交流したい

データサイエンス学部の特色

社会はIoT（Internet of Things）の活用によりすべてのモノがネットでつながる、「第４次産業革命」を迎えつつあります。医療関連のデータからSNSの何気ないつぶやきまで、日々膨大なデータが生まれ蓄積される社会において、データサイエンス学部が育成するのは、そんな膨大なデータの中から新たな社会的な価値を創造できる人材です。データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション能力や、イノベーションを起こす発想力、そして次世代に通用するビジネス力を養い、データサイエンティストに必要な素養を身に付けた人材を輩出する事こそが、本学部の目的です。そのために、文系・理系という枠にとらわれない柔軟な思考と発想を大切にし、データが生まれる企業や官公庁といった「現場」での実践的な学びの機会を多く提供します。また、世界をフィールドに活躍するデータサイエンティストに必要な国際水準の英語力の修得にも力を入れます。

特色 1 『文理融合』

数値や数式を扱うのが理系、文字や文章を扱うのが文系、と思ってはいませんか?現代の社会におけるデータは数値だけとは限りません。ネットやSNS上での文字情報、音声や画像、動画等のすべてがデジタル化されたデータなのです。まさに文理融合の世界と言えるでしょう。とはいえ、データサイエンスの基礎をなす学問分野は統計学や情報科学で、理系的な要素が多い事は確かです。しかし、それらを応用する社会は、自然現象の解明や工業製品の生産あるいは医学をはじめとした健康科学という理系分野だけでなく、経済・経営やマーケティングさらには文学といった文系分野と多岐に渡ります。文理を分離するのではなく融合する。これがデータサイエンスの魅力です。



特色 2 『現場重視』

現場重視といっても、決して基礎理論を軽視するという意味ではありません。しっかりした基礎・土台を作らないとその上には何物をも構築できないのは理の当然でしょう。データサイエンスは変化のスピードがものすごく速い分野です。目の前の流行のみを追っていたのでは、いつまでたっても追いつき追い越す事はできません。まずは基礎を固め、その基礎力がどんな現場であれ、必ず生きるのです。基礎的な力を養った上で、いくつかの企業や横浜市の各部局と連携し、データが実際に生まれる現場でPBL（Project-Based Learning、課題解決型学習）を行い、実践的に学びます。共にデータと格闘し、教員には思いもよらない解決法を見出してくれる若さに期待しています。

特色 3 『国際水準の英語力』

自分の考えやアイディアを他の人に伝える手段は、言葉で伝えるか文章を書くかです。どんなに素晴らしいアイディアであっても内に秘めて外に出さないのでは、アイディアがないのと区別がつきません。外に出す以前に、人の意見を聞いたり文章を読んだりする事で自分自身のアイディアを醸成するという段階があり、これらに必要なのは言語です。
データサイエンスのフィールドは「世界」です。フィールドが世界であるならば、その言語は英語が中心で、学会や国際会議あるいはビジネスの場では英語が共通言語です。専門的な討論はもちろん、会議後の懇親会やプライベートな場でも英語が飛び交います。データサイエンティストの活躍の場となる世界で通用する英語力をしっかり鍛えていきます。

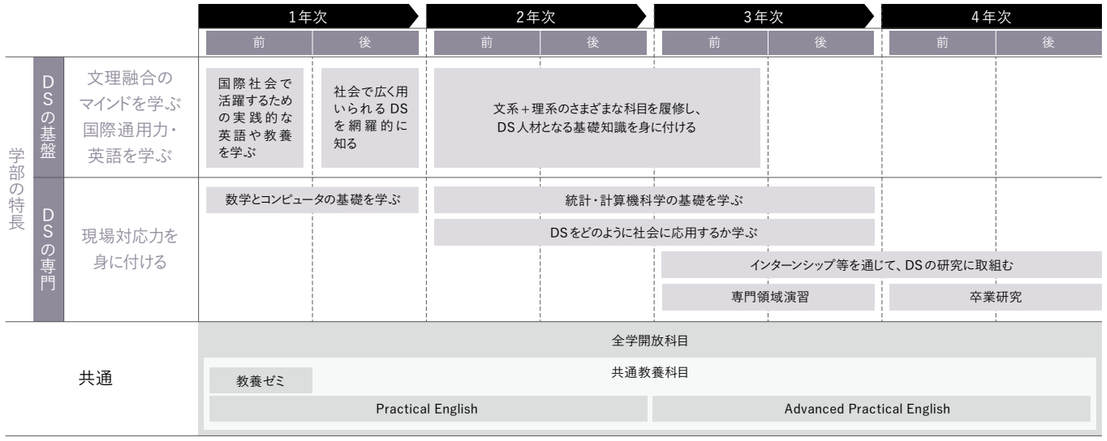
Message from the Dean

首都圏初のデータサイエンス学部。
データを武器に未来を切り拓く
データサイエンティストを育成。

データサイエンス学部長
山崎　眞見　Masami Yamasaki

2018年4月に首都圏初のデータサイエンス学部が始動しました。2022年3月には無事に第1期生が卒業し、約6割が就職し社会へ羽ばたいていき、約4割がさらに研鑽を積むべく大学院へ進学しました。データサイエンスに対する社会の期待は大きく、マスメディアで目にする事も多くなりました。文部科学省は、全ての大学においてデータサイエンスのリテラシーレベルの向上をはかるために「数理・データサイエンス・AI」教育プログラム認定制度を創設するなど、社会の期待へ応える大学教育改革を進めています。日本が目指すべき未来社会の姿としてSociety 5.0が提唱されています。これはサイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムを構築し、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会です。さらに、デジタル技術とデータの活用によって社会・産業・生活のあり方を根本から転換するデジタルトランスフォーメーション（DX）も求められています。Society 5.0もDXも、その成功の鍵がデータサイエンス分野における人材育成です。本学部はこのような社会の動きに先鞭をつけた学部として、データサイエンスの教育と研究及び社会実装に精力的に取組んでいます。データサイエンスは新しい学問分野です。若い皆さんと共に学び実践し、共にこの分野を作っていく事を楽しみにしています。

4年間の学びのイメージ



基礎から応用、実践的PBLへ

1年次前期から「線形代数学」や「微分積分学」等を学び基礎を固めながら、「PBL入門」の中で実施しているデータサイエンスセミナーを通してデータサイエンスが社会において果たす役割を学びます。後期からは「プログラミング演習Ⅰ」でPython言語を学びデータを計算機で処理する基本技術を修得します。また、「統計学Ⅰ」を学び、データサイエンスの基礎をなす統計学の基礎知識を身に付けます。2年次以降は、「プログラミング演習Ⅱ」や「データ可視化法」、「統計モデリングⅠ」、「サンプリング法」、「多変量データ解析」等のデータサイエンスの基礎科目を学びつつ、「マーケティングデータ分析」や「医療統計学」といった、修得したデータサイエンスに係る知識や技能を社会展開に応用していく事にシフトしていきます。3年次以降の演習では、企業や官公庁と連携したPBLを通じて実践的に学ぶと共に、それらの成果を卒業研究としてまとめていきます。

データサイエンス学部専門科目一覧

2023年4月現在の予定

データ数理基礎	データアナリティクス力	データエンジニアリング力	社会展開力
代数学	データ可視化法	アルゴリズム論	PBL 入門
微積分学Ⅰ	多変量データ解析	データ解析演習	PBL 演習（ビジネス・サイエンス）
微積分学Ⅱ	応用統計学Ⅰ	プログラミング演習Ⅰ	PBL 演習（非構造化データ）
数学の基礎	応用統計学Ⅱ	プログラミング演習Ⅱ	サンプリング法
数学実習Ⅰ	機械学習	並列分散処理	データサイエンス倫理
数学実習Ⅱ	統計モデリングⅠ	実験計画入門	ビッグデータ解析
最適化理論	統計モデリングⅡ	情報理論	マーケティングデータ分析Ⅰ
確率入門	計算機統計学	計算機数理	マーケティングデータ分析Ⅱ
組合せ論	音声言語処理	計算機概論	医療統計学
統計学Ⅰ		非構造化データ	時空間データ分析入門
統計学Ⅱ			環境データ解析論
線形代数学Ⅰ			臨床研究・疫学入門
線形代数学Ⅱ			調査設計論

データサイエンス学部のSDGsへの取組み

気候変動や都市化の進行に伴う環境問題とSDGsをテーマとする国際環境・まちづくりワークショップ

2022年3月18日に気候変動や都市化に伴う環境問題とSDGsをテーマとした国際環境・まちづくりワークショップをオンラインで開催しました。本ワークショップでは、アジアの研究者や自治体の有識者が集まり、横浜、フィリピン、マレーシア、台湾における気候変動や環境問題の現状とその対策について主に議論しました。何より新型コロナウイルス感染拡大に伴い変容した我々の価値観や生活様式、そして都市自体のあり方が問われる時代になっており、新たな都市像を考える絶好の機会となりました。さらに、気候変動や環境問題、そして都市計画や都市デザインにおけるデータの利活用の重要性を考えるうえでも意義がありました。
この活動を通じて、気候変動のような世界的な課題を議論すると共に、新しい時代に向けた私たちの都市と環境、そして生活のあり方を考えることで、今後の研究情報交換の促進と共同研究につながる良い機会となりました。

Pick up 授業

データ解析演習Ⅱ

佐藤 彰洋

データ解析演習Ⅱは統計処理ソフトRを用い、テーマに沿って課題中心型の学修スタイルでより実践に近いデータ解析の方法（データの収集、データの分析と可視化、解釈）を学修します。自ら収集したデータによるデータ解析レポートを作成する過程を通じ、以下3つを学修到達目標と設定して、実践的なデータ解析の理解を深めていきます。①統計解析環境Rを用いて、基本的なデータ解析ができるようになる。②Rにおいて簡単なプログラミングができるようになる。③データの収集とRによる分析を通じたレポーティングができるようになる。
2021年度は次の4つのテーマを取り扱いました。・マクロ社会経済指標を用いた回帰問題 ・データに基づくリスク推計・多群の比較・生存分析

調査設計論

土屋 隆裕

世の中では様々な統計調査が行われています。例えば内閣支持率などを調べるマスコミの世論調査、施策の根拠とするために国や自治体が行う統計調査、さらには学力を調べるための学力調査も統計調査と言えるでしょう。物の長さや重さの測定とは違って、人を対象に行う統計調査では、得られるデータの質は調査の実施方法によって大きく異なります。Garbage In、Garbage Outと言われるように、大きな誤差を含んだ質の低いデータでは、いくら高度な統計分析手法を駆使しても有益な結果は得られません。本講義では、調査票の作成における注意点から調査実施の具体的な手順、さらにデータ整理のための手法や調査倫理に至るまで、統計調査の設計・実施の各段階における方法を具体的な実例に基づきながら学ぶ事で、信頼性・妥当性の高いデータ取得のための調査設計の考え方を身に付けていきます。

データサイエンス学部の社会連携

データサイエンス学部では、企業や官公庁と連携した教育・研究を展開しています。2018年度より、「データサイエンスセミナー」と題して、企業や官公庁等の現場の第一線で活躍するゲスト講師を迎え、実社会でのさまざまなデータ活用事例に触れるセミナーを開催しています。企業におけるマーケティングやビジネス戦略、ものづくりの品質管理等に、どのようにデータが分析され、活用されているのか、また、官公庁においてはデータの利活用による政策立案やオープンデータ活用推進の取組み等を生の声から学ぶ事で、データサイエンス学部の学生が、自分の学びが将来どのような分野で活用する事ができるかを考える機会となっています。また、企業との産学連携協定を締結し、データが分析・活用される現場でのインターンシップ（PBL）や共同研究等を推進し、社会との連携を今後ますます進めていきます。

主な科目紹介

統計学Ⅰ

「記述統計学」、「確率」、「確率分布」について学修します。具体的には、統計データやグラフの意味を理解に加え、独自にデータを要約できるようにデータの取得法、および数値的・グラフ的要約法を学びます。また、母集団、標本、確率、確率変数、確率分布の性質を熟知し、積率母関数等の方法による確率分布の性質に関する考察ができるよう学修し、理解を深めます。

サンプリング法

世の中にあふれるさまざまな統計調査は、対象すべてを調べる事なく、その一部だけを統計的な方法を用いて選び出す事で、効率的に実施されています。本講義では、サンプリングと推定の理論と方法について、応用例を交えながら具体的・体系的に学ぶ事で、データサイエンスの基盤となる適切なデータ取得の方法、データの取り扱い方法について学びます。

アルゴリズム論

コンピュータでデータを扱う上で基本となるアルゴリズムとデータ構造について学びます。具体的には、計算量の考え方等の基本概念を学んだ上で、ソートや探索等データを扱う上で必要となるアルゴリズムとそれを支えるデータ構造について、演習を交えながら体得します。これらを通じて、処理効率を意識した「良い」プログラムを作成するための基本的な素養を身に付けることを目指します。

ビッグデータ解析

現代社会ではインターネットにより個々人が大量の情報を受発信でき、IoT技術でさまざまなモノから大量のデータ取得が可能となりました。これらデータと企業・行政機関の保有データを総称してビッグデータと呼びます。従来の経験に基づく意思決定は、ビッグデータに基づく方法への転換が期待されている事から、本講義では大量・多様・高頻度というビッグデータの特性に対応した解析技術を学びます。

教員一覧

詳しくはWEBで

上田 雅夫 Masao UEDA 教授 行動計量	大西 暁生 Akio ONISHI 教授 環境影響評価・環境政策	小野 陽子 Yoko ONO 准教授 統計科学	越仲 孝文 Takafumi KOSHINAKA 教授 知覚情報処理・知能情報学
小屋 良祐 Yoshihiro KOYA 教授 線形代数学	佐藤 彰洋 Aki-Hiro SATO 教授 計算科学	末廣 大貴 Daiki SUEHIRO 准教授 知能情報学	鈴木 雅智 Masatomo SUZUKI 准教授 統計科学
竹内 由則 Yoshinori TAKEUCHI 准教授 統計科学	土屋 隆裕 Takahiro TSUCHIYA 教授 統計科学	戸田 浩之 Hiroyuki TODA 教授 知能情報学	冨田 誠 Makoto TOMITA 教授 環境リスク制御・評価
藤田 慎也 Shinya FUJITA 准教授 情報学基礎理論	森山 卓 Taku MORIYAMA 准教授 統計科学	山崎 眞見 Masami YAMASAKI 教授 知能情報学	

（2023年5月時点）

大学院紹介

データサイエンス研究科
Graduate School of Data Science

詳しくはWEBで

データサイエンス専攻

学問領域としてのデータサイエンスは、統計科学や情報科学、計算科学に基盤を置き、自然科学、人文・社会科学のさまざまな関連学問領域を対象とする文理融合の性質を持っています。データサイエンス専攻では、現実社会との対話から課題を発見し、データを収集・解析し、その結果を社会に還元・実装する一連のプロセスを学ぶ「実践的データサイエンス演習」等を必修科目として配置する事で、新たな価値を創造する能力の涵養を目指します。
そして、データ解析の理論や手法に関わる「データアナリティクス力」や、データを意味ある形に変換し、活用できるようにする「データエンジニア力」とともに、課題背景を理解し、分析から社会実装までの一連の流れを可能にする「社会展開力」までも含めた三つの力、すなわち「データサイエンス力」を身に付けた人材を育成します。

ヘルスデータサイエンス専攻

わが国においては、超高齢社会における社会保障制度のあり方、がん・循環器疾患などの非感染性疾患の予防と管理、健康格差の是正、健康を支える社会環境の整備などの課題が山積しており、これらの課題に取り組むヘルスデータサイエンスの専門人材を養成する事が求められています。
ヘルスデータサイエンス専攻では、急速にデータが集積されつつあるヘルス領域（疾病予防、医療、介護、保健）において、データサイエンスの知見をいち早く社会応用し、新たな価値を実社会に還元する人材を育成します。

学生の声

詳しくはヨコ知り！

1年次で基礎を固めてから、実践的な講義が増えていくのが楽しい。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 3年
神奈川県　横浜市立桜丘高等学校卒
岡田 拓也 Takuya Okada

例えば橋の設計などにおいて、データがいかに役立っているかを高校生の頃に知り、データサイエンスに興味を持ちました。YCUはそのデータサイエンスを、先生方との距離も近く、少人数で深く学べる点も魅力でした。1年次で基礎的な知識を身に付けた後は、様々な統計学の手法を学んでいき、データ分析の際によく使用される「R」「Python」に関する講義なども受けます。さらにそれらを用いた最適化問題の学習や多変量データの分析など、年次が上がるごとに実践的な講義になり、とても楽しいです。将来は、学んだデータ分析の知識をゲームのアップデートや開発に生かすことがしたいと考えていて、Webアプリを開発するサークルにも所属して、知識を深めています。

理論から実践へ データサイエンスの学びで地方に変革と活力をもたらしたい。

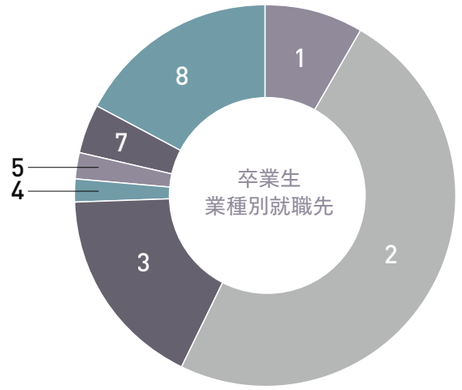
データサイエンス学部 データサイエンス学科 3年
沖縄県立首里高等学校卒
平田 莉未 Riimi Hirata

もともとAIなどの最先端技術に関心があったため、プログラミングスキルも身に付けられるYCUのデータサイエンス学部を選びました。他大学ではめずらしい「医療統計学」を学べる事も魅力的でした。プログラミングやデータ解析、機械学習の理解には数学や統計学の理解も必要であるため、1年次にそれらの基礎固めをしっかり行います。好きな講義は「多変量データ解析」。現役のデータサイエンティストでもある教授から統計モデルの数学的な理解からデータ解析への応用までを実務レベルで学びます。今後、地方自治体のDX化は重要になってくると思います。とりわけ地元・沖縄でどう実践できるだろうかと考える契機になりました。

卒業後の主な進路

1	製造業	8.5%
2	情報通信業・マスコミ	49.0%
3	広告・コンサルティング・専門サービス業	17.0%
4	公務員・教員・特殊法人	2.1%
5	商社・卸売・小売業	2.1%
6	建設・不動産業	0.0%
7	金融・保険業	4.3%
8	その他	17.0%

※2023年3月31日時点での情報
※全体の約3割の学生が進学



SCHOOL OF
MEDICINE

使 命

横浜市立大学医学部は、地域社会や国内外で活躍できる、医学・看護を担う人材育成と、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する事を使命とする。

医学部が求める学生像

- 高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- 思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- 柔軟性と協調性、高いコミュニケーション能力を有する人
- 向学心を有する人
- 自ら問題を発見し、解決するための学修意欲を有する人
- 医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- 医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人
- 医療実践者として社会に貢献する意欲のある人

医学部 医学科

MEDICAL COURSE

学位：学士（医学）

私たちが目標とするのは、豊かな人間性と深い知性を有し、確固たる倫理観に基づく総合的判断力を持ち、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して人類の福祉に貢献する人材の育成です。

医学科の特長

- シミュレーターの活用等による医療体験教育の充実
- 地域における福祉、保健、医療施設での実習の充実
- 基礎、臨床教室での体験型学修としての教室体験演習や研究実習（リサーチ・クラークシップ）の実施
- 学生参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）の推進
- 学生、教職員の積極的な学修意欲に応える講演会、FD等の実施
- グローバルスタンダードに準拠した医学教育カリキュラムの制定
- グローバルな医師・研究者の育成を目的とした海外派遣プログラムの拡充

詳しくは WEBで

医学部 看護学科

NURSING COURSE

学位：学士（看護学）

高い教養と専門性だけではなく、他者の苦しみや痛み、喜びも理解する事ができる豊かな人間力を持ち、未来の看護をけん引できるリーダーの育成に取組んでいます。

看護学科の特長

- アクティブラーニングによるリーダー人材の育成
- 附属2病院を有する充実した実習環境
- グローバルなフィールドで展開される看護実践教育
- エビデンスに裏打ちされた実践力を養うカリキュラム
- 多様なキャリアを実現する豊富な教育リソース
- クラス担任制をはじめとするきめ細やかな指導体制

詳しくは WEBで

医学部

医学科

School of Medicine
Medical Course

医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に主に金沢八景キャンパスで受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の福浦キャンパスでの「医学科専門教育科目」から成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省が提言する学修ガイドライン）および世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づいたカリキュラムを踏まえて学修します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習等を履修し、全国共通の標準評価試験である「共用試験」を受験します。この試験は医学知識の学修レベルを評価するCBTと診療技能や態度を評価するOSCEから成ります。両方に合格しないと臨床実習に進む事ができません。附属病院か附属市民総合医療センターでの臨床実習を修了し、臨床研修開始時に必要とされる臨床能力を現場に即して実施できるかを評価する共用試験Post-CC OSCEおよび、卒業試験に合格すると卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、各学生に担任が配置され、全人的にサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を収めています。

医学科カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	卒業後1〜2年目	卒業後3年目以降
共通教養	共通教養							
医学基礎教育	医学基礎教育							
基礎医学		基礎医学			基礎医学			
基礎医学実習		基礎医学実習						
医学概論		医学概論	医学概論					
社会医学			社会医学	社会医学		社会医学		
臨床医学			臨床医学	臨床医学		臨床医学		
研究実習（リサーチ・クラークシップ）				研究実習				
診療入門				診療入門				
臨床実習（クリニカル・クラークシップ）					臨床実習			
				共用試験（CBT・OSCE）		マッチング / 共通試験（Post-CC OSCE） / 卒業試験 / 国家試験	初期臨床研修	後期臨床研修（専門医養成） 大学院（博士課程） 行政技官 留学 等

Pick up Curriculum

医学基礎教育

1年次

教養ゼミ、Practical English、化学・生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、医師や医学研究者としてのキャリア形成の第一歩として、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。

基礎医学

2年次〜5年次

正常な人体の構造と機能、さまざまな疾患の原因とその病態、また薬物の作用等について、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで幅広い視点から学修します。講義・演習・実習を通して、知識や論理的な考え方と研究手法を学びます。

医学概論

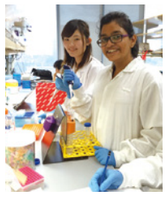
2年次〜3年次

医師にはさまざまなスタッフと連携し、患者さんと信頼関係を築く事が求められます。医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズム、患者さんと医師の関係のためのコミュニケーション技法について医療倫理学や医療コミュニケーション論等の科目を通して学びます。

研究実習（リサーチ・クラークシップ）

4年次

基礎又は臨床医学教室に15週間配属され、医学研究を行います。医療人として知識と技術を駆使するには科学的な視点が必要です。この科目では研究手法修得のみならず、それらをもとに未解明の医学的課題に取り組むリサーチマインドを身に付ける事を目的とします。



診療入門

4年次

診療に関する基本知識、技能、態度について学びます。また医療面接法や身体診察法等の診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの実践的な学修内容（技能や態度）は、共用試験（OSCE）により評価されます。

臨床実習（クリニカル・クラークシップ）

4年次〜6年次

4年次までの全科目に合格するとスチューデントドクターとして診療参加型の病院実習を行う事ができます。医療チームの一員として診療に参加し、指導医のもとさまざまな職種のスタッフと連携して on the job trainingを行います。

卒業時に修得している能力

横浜市立大学医学部医学科生は、卒業時までに以下の能力を獲得し、地域社会や国内外で活躍し、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する人材として羽ばたきます。

1. **プロフェッショナリズム**
2. **医学知識**（修得した医学関連知識を実践に応用できる）
3. **医療の実践**（診断・治療の基本技能および科学的根拠に基づく治療計画が立てられる）
4. **対人関係とコミュニケーション技能**
5. **医療と社会**（医療等に関する制度・規則を理解し、業務を通じて社会に貢献できる）
6. **生涯学習**（知識を探求し、情報を科学的に評価できる。新しい情報を生み出すための研究計画立案ができる）
7. **医学の進歩への貢献に向けた準備**（医学の分野での課題解決に向けた貢献）

Message from the Dean

プロフェッショナルへの第一歩

医学部長　寺内 康夫　Yasuo Terauchi　■内分泌・糖尿病内科学

医療を取り巻く環境は少子高齢化が加速する中、大きく変化しています。新型コロナ感染症の世界的な蔓延に迅速かつ柔軟に対応する経験を積むことができました。横浜市立大学医学部は附属2病院を有し、医学科・看護学科共に実践的な教育を受ける事ができる恵まれた環境にあります。本学は横浜市・神奈川県の地域医療を支える優秀な人材を育成する責任がある一方、社会のグローバル化に対応し、世界に向けて情報発信できる人材を育成する方針を掲げています。皆さんは、このような時代の要請に応える事のできる医療・医学のプロフェッショナルを目指し、大学生活を始める事になります。プロフェッショナルとは卓越した専門知識と技量を有し、使命感と倫理観に裏打ちされた仕事を行う人を意味しますが、それに加え、“人を思いやる心”を持ちあわせる事が求められます。プロフェッショナルへの道は険しく厳しい道ですが、皆さんなら本学の基本方針である“地域貢献”と“国際化”に寄与できるプロフェッショナルになられる事を確信しています。横浜市立大学医学部は皆さんを大切にし、人と人のつながり・温かみのある教育を実践します。

探求心（リサーチマインド）を持った医療人へ

医学部および二つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図る事により、
リサーチ マインド（探求心）を持った優れた臨床医・医学研究者を育成する事を目的としています。
その中心となる「医学教育センター」では、「教育」「研究」「医療」をリードする人材を育成する事を使命とし、
国際都市横浜ならではの国際標準を踏まえた質の高い医学・臨床教育に取組んでいます。

医学科の特長　リサーチ・クラークシップ

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ（研究実習）が始まり、15週間の医学研究に参加します。リサーチ・クラークシップの目的は、各教室の研究活動に一定期間主体的に関わる事で、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組む事」「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らない事」といった物事の本質に迫ろうという姿勢［リサーチマインド］を養成する事です。科学的根拠、発想に基づいた新しい診断、新しい生命現象や病態解明、疾患の診断・治療を開発していく医師・医学研究者のリーダーを養成するためには学生のうちから、リサーチマインドを養成する事が重要であると考えています。

		配属先	人　数		配属先	人　数
リサーチ・クラークシップ配属先	海外	ウェイン州立大学（アメリカ）	2	国内	東京工業大学	1
		シンシナティ小児病院（アメリカ）	1		国立成育医療研究センター研究所	1
		テンプル大学（アメリカ）	2		東京大学	1
	学内	横浜市立大学基礎医学系教室	27		国立感染症研究所	1
		横浜市立大学臨床医学系教室	50		神奈川県立こども医療センター臨床研究所	1
		横浜市立大学理学部研究室	1		産業技術研究所	1

2022年度実績 ※2020-2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外派遣を中止しました。

リサーチ・クラークシップ 参加学生の声

身に付けた“考える姿勢”を活かし 臨床と基礎研究の橋渡しに。

医学部 医学科 5年
高安 笙太 Shota Takayasu
東京都　私立開成高等学校卒

■ 研究実習先：基礎医学系教室
期間：2022年4月～7月（4カ月）

加熱式たばこが 人体に与える影響について、細胞レベルで研究を行いました。先生方に多くの助けをいただきながら、まだわからないことも多いメカニズムの解明を目指しています。基礎実験では失敗することも多く、よく壁に当たりました。しかし、失敗の原因を報告し、情報共有して意見を出し合って試行錯誤することが、基礎研究では大変重要なことを学びました。今後は病院で実習も始まり、臨床医学の勉強が本格化しますが、しっかりとこの研究も続けていき、良い結果を残したいと考えています。

研究の面白さを実感し、 自身を見つめ直せた貴重な日々。

医学部 医学科 5年
山口 詩乃 Shino Yamaguchi
神奈川県　私立湘南白百合学園中学高等学校卒

■ 研究実習先：テンプル大学（アメリカ）
期間：2022年3月～7月（4カ月）

アメリカのフィラデルフィアにあるテンプル大学にて、人工甘味料スクラロースがオートファジーに与える影響というテーマで研究を行いました。実験の組み立て方や手技、考察を一から学び、組み立てた仮説を検証していく研究の面白さを実感できました。また、現地アパートでの一人暮らしや、先生方や学生との関わりを通して、自分に足りないものを多く感じ、将来を見つめ直す機会でした。週末には現地の博物館なども訪れました。この経験を今後の学びに生かし、努力を続けたいです。

医学科領域

基礎医学系　［基礎系教室名］

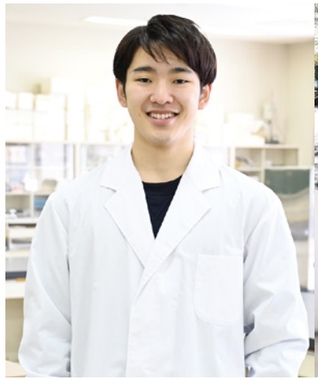
組織学	生理学	薬理学	免疫学	臓器再生医学	臨床統計学	医療情報学
神経解剖学	生化学	RI研究センター	病態病理学	実験動物医学	法医学	臨床疫学・臨床薬理学
循環制御医学	分子生物学	微生物学	分子病理学	遺伝学	医学教育学	公衆衛生学

臨床医学系　［臨床系教室名］

血液・免疫・感染症内科学	肝胆膵消化器病学	消化器・腫瘍外科学	小児科学	放射線診断学	皮膚科学
呼吸器病学	内分泌・糖尿病内科学	麻酔科学	泌尿器科学	精神医学	口腔外科学
循環器内科学	神経内科学・脳卒中医学	救急医学	運動器病態学	眼科学	総合診療医学
循環器・腎臓・高血圧内科学	がん総合医科学	脳神経外科学	形成外科学	視覚再生外科学	リハビリテーション科学
消化器内科学	外科治療学	産婦人科学	放射線治療学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	

医学生の1日

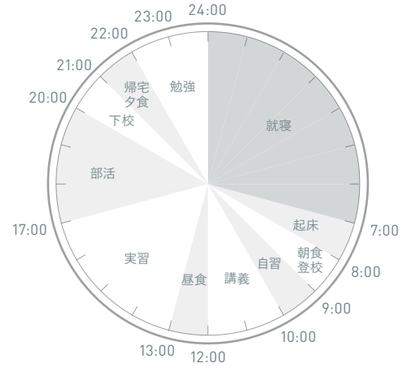
座学に実習にと、日々学びを重ねているYCU医学生の1日をピックアップしてご紹介します。
少人数制なので学生同士は顔見知り、教員とも距離が近く、なんでも相談できる環境です。
附属病院での臨床実習や併設するシミュレーションセンターでのトレーニング等も充実。
そんな中でも部活やプライベートライフを充実させ、学生ならではの体験を楽しんでいます。



医学部 医学科 3年 岩見 隆弘 Takahiro Iwami　神奈川県　私立慶應義塾高等学校卒

医学生の1日のスケジュール

（※学年、学期によって時間割は異なります）

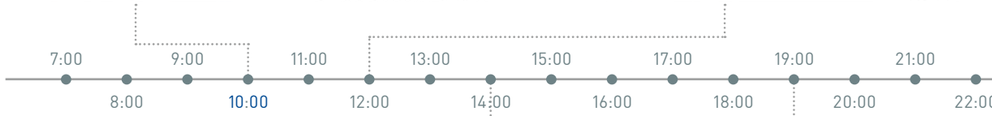


10:00
講義（ヘボンホール）

医学科講義棟1階の多目的ホールの名は、横浜での医療活動に貢献したヘボン博士にちなんでつけられました。医学部の対面授業を行うほか、講演会や演奏会なども開催されます。

12:00
昼食・休憩

医学部のある福浦キャンパスの食堂はカフェテリア方式。好みの料理をチョイスできます。「バランスよい食事を低価格で味わえ、ひとり暮らしの強い味方です」



14:00
基礎医学実習

医学科には「病理・寄生虫実習室」、「組織実習室」、「解剖実習室」などの実習室があります。2年生は3カ月以上をかけて解剖実習室で献体を解剖し、医学の学びを深くします。（写真は病理・寄生虫実習室）

19:00
部活や研究活動

部活は授業修了後の夜や週末に。医学部だけの部活、全学部の部活があり、「僕は両方の剣道部に所属していて、2022年2月には4段に合格しました」。夕方から夜にかけて試験勉強にも時間を割きます。

新入生研修

新入生のモチベーション向上、ならびにモラル・マナー教育の一環として実施しています。主な内容は、教員、卒業生等の講話の他、グループワーク等で構成されています。グループワークでは、与えられたテーマに沿って議論を進め、最後に各グループで発表を行います。

白衣授与式

白衣授与式は、臨床実習を前に、医師を目指す者としての自覚を促すため、学生の氏名と市大のエンブレムが入った白衣を一人ひとりに手渡すものです。学生全員によるジュネーブ宣言がなされる式典は、座学教育から臨床実習へ移行する大きな節目となっています。

学生／卒業生の声

詳しくは ヨコ知り！

様々な切り口で医学を深く探求し 国際化に対応できる力も磨ける。

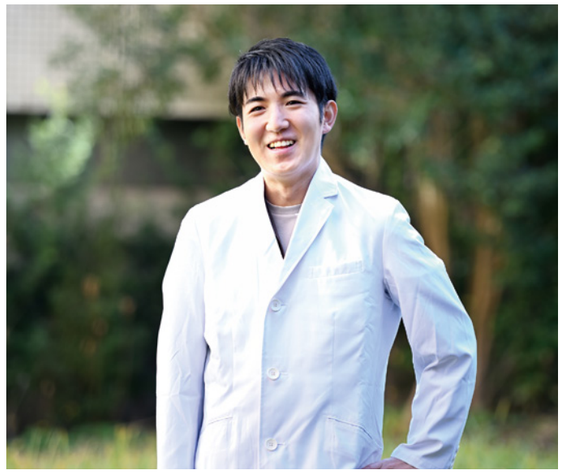
医学部 医学科 3年
広島県　国立広島大学附属高等学校
川野　舞奈 Mana Kawano

幼い頃から、医学で世界に貢献できるような人間になりたいと思っていました。YCUは、医学はもちろんのこと、国際的な取組みに触れ、学べる環境であるというところに惹かれました。夢への「道しるべ」が豊富に用意されている、という印象です。2年次は、各講義のほか神経解剖学・組織学・生理学などの実習を通して基礎医学を学びました。患者に寄り添い、困難な課題に立ち向かう医師に必要な精神力や思考力、国際化が進む未来を見据えたコミュニケーション能力を磨いてきました。YCUの内外を問わず、各分野で世界的に活躍する先生方の講義や志の高い仲間たちとの実習を通し、人間性も高まっていく実感に満ちた毎日を過ごしています。

医療に欠かせない複合的知識を 仲間と助け合いながら学べる。

医学部 医学科 4年
神奈川県　横浜市立南高等学校卒
大用　凌太郎 Ryotaro Oyo

医療の道を志していた自分は、育ってきた横浜という地に対して強い愛着があったので、YCUの医学部は自然な選択でした。入学してみると、学生同士のつながりが密で、協力し合って学べる雰囲気は自分に合っていて、充実した大学生活を送れています。好きな講義は、内分泌・代謝学や腎臓内科学、循環器内科学に関するものです。人間が体内の精緻なシステムで制御されているというところにロマンを感じます。3年では、それまでに学んだ基礎医学をベースに臨床医学を学びますが、様々な科目の知識が複合的に必要で、医学の奥深さを感じます。将来は臨床医として内分泌の領域の診療に携わりたいです。大学で得られる多様な経験を生かしていきたいと考えています。



レベルの高い学びと 培われたコミュニケーション能力。

医学部 医学科　2023年3月卒業
石川県立金沢二水高等学校卒
瀬澤　大 Dai Sezawa

もともとは他大学の理工学部化学科に在籍し、抗がん剤合成をはじめとする有機化学を専攻していました。しかし研究を続けるうち、臨床面へ興味を持つようになり、医学部へ入ることを決めました。5, 6年次の臨床実習では、患者さんとの交流や疾患に対するアプローチなどを通して、実際にベッドサイドでしか学べない多くの事を学びました。YCUではレベルの高い医学が学べるだけでなく、実習や課外活動を通して、周りの人と協力する力など、医師にとって必要不可欠な能力を身に付けることができます。患者さんに良質な医療を提供できるように、培ったコミュニケーション能力をチーム医療の場に生かしていきたいと考えています。

国家試験対策

きめ細かい指導で高い合格率を達成

医学科国家試験対策（2022年度実績）

医師　国家試験

合格率
2023年実施

97.9%
（全国平均 91.6%）
※既卒含む

- 5年次1月、6年次5月、9月、12月に実力試験を実施。
- 年に2回（7月、11月）の民間模試を全員受験。
  さらに2回（12月、1月）民間模試受験を奨励。
  →受験結果のフィードバック（模試結果を踏まえて面談と個別指導を実施）。
- 各分野の教員が協力して国家試験対策授業を実施。

■国家試験対策スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
医学	5年次		6年次										
	実力試験					模擬試験		実力試験		模擬試験	実力試験・模擬試験	模擬試験	国家試験
	国家試験対策授業												
		個人面談（随時）											

卒業後の主な進路

医学科卒業生は、医師国家試験の合格後、2年間の初期臨床研修が必修化されています。医師が将来専門とする分野にかかわらず、基本的な診療能力を身に付ける事ができるよう、2004年度から臨床研修が必修化されました。初期臨床研修の後は、各診療科の専門研修（後期研修）に臨む他、大学院進学・医療分野への就職といった進路が一般的となります。

医学科 初期研修先

研修先		人数 1年目	人数 2年目(予定)
本　学	横浜市立大学附属病院	2	13
	横浜市立大学附属市民総合医療センター	4	6
横浜市内	横浜医療センター	1	1
	横浜栄共済病院	1	0
	横浜市南部病院	2	2
	横浜市立市民病院	8	6
	横浜市立みなと赤十字病院	1	1
	横浜南共済病院	4	3
	横浜労災病院	4	2
	けいゆう病院	1	1
	横浜市東部病院	2	0
	横浜中央病院	2	2
	国際親善総合病院	1	1
	汐田総合病院	1	1
神奈川県内	川崎市立川崎病院	2	2
	関東労災病院	1	1
	横須賀共済病院	3	2
	藤沢市民病院	7	6
	大船中央病院	1	1
	茅ヶ崎市立病院	2	2
	秦野赤十字病院	1	1
	小田原市立病院	2	2
	大和市立病院	3	2
	相模原協同病院	1	1
	神奈川県立足柄上病院	1	0

研修先		人数 1年目	人数 2年目(予定)
東京都	NTT東日本関東病院	1	1
	東京都立多摩北部医療センター	1	1
	がん研有明病院	1	0
	東京女子医科大学八千代医療センター	1	1
	日野市立病院	1	1
	日本赤十字社医療センター	2	2
	大森赤十字病院	3	2
	JR東京総合病院	1	1
	東京品川病院	1	1
	武蔵野赤十字病院	1	1
	東京逓信病院	3	3
	東京大学医学部附属病院	1	4
	東京慈恵会医科大学附属病院	1	1
	聖路加国際病院	1	1
	東京都立多摩総合医療センター	2	2
	国家公務員共済組合連合会　虎の門病院	1	1
	練馬光が丘病院	1	0
	町田市民病院	1	1
	災害医療センター	1	0
	荏原病院	1	1
埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター	1	1
静岡県	中東遠総合医療センター	1	1
	磐田市立総合病院	1	1
長野県	佐久総合病院	1	1
	諏訪中央病院	1	1
	飯田市立病院	1	1
愛媛県	済生会今治病院	1	1
合　計		91	

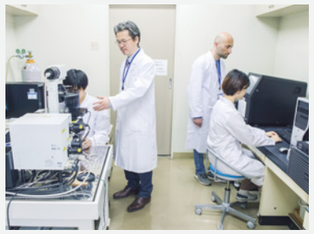
大学院紹介

医学研究科
Graduate School of Medicine

詳しくは WEBで

医科学専攻

医科学は現在、基礎研究とその臨床応用、開発研究が最も盛んな科学分野のひとつです。YCUの医科学専攻が目指すところは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を併せ持ち、理論と実践の双方から学問を探究できる姿勢を持つ医療人材の育成です。さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続け、独創性と人間性の豊かな人材の輩出を目指しています。



・修士課程

修士課程は、医学部医学科以外の学士課程修了者で、医学研究を希望する学生のための2年間のコースです。修了後は、博士課程に進学、あるいは企業や研究所における研究職としてのキャリアを歩みます。多様な生命現象の本質を解明する生命医科学研究から、難治性疾患の病態形成機構の解明まで、幅広く研究が行われています。

・博士課程

博士課程は、医学、歯学、薬学あるいは獣医学等の学士課程を修了した学生、大学院修士課程または博士前期課程を修了した学生を対象とした課程です。修士、あるいは博士前期課程での研究のさらなる発展や、臨床現場で生じた疑問や発想をさらに深化させる研究を展開し、先端医科学をリードする研究者、教育者を育成します。

グローバルプログラムの紹介

－海外経験を通して、新しい時代に活躍できるグローバルな医療人へ－

医学科では海外派遣プログラムの拡充を図り、多くの学生が海外経験を積めるよう、さまざまな取組みに力を入れています。
世界でもトップクラスの研究所や医療機関において、研究や診療等、実践的な内容を含むプログラムに参加します。大学公式のプログラムでは、リサーチ・クラークシップ（研究実習）やクリニカル・クラークシップ（臨床実習）等カリキュラムの一環として参加できる事も大きな特長です。

海外リサーチ・クラークシップ

4年次のカリキュラムの一環として、基礎・臨床研究に一定期間携わるプログラムです。学生は学内教室（基礎・臨床）、学外教室（理研・東大等）以外に海外の研究機関で研究実習を行う事ができます。海外に派遣される学生は、世界トップレベルの研究所や医療機関で行われる一流の研究に触れる事で、研究力や英語力の向上と共に、豊かな国際感覚を身に付ける事が期待されます。また、休学等を要さず約3カ月間というまとまった期間を海外で過ごせる唯一の機会です。さまざまな国籍の研究者が、英語を介し共通の研究目的に向かって奮起するグローバルな環境で自身の力を試してみませんか。

派遣時期・期間	4月～7月中旬 / 3カ月～3カ月半
単位	研究実習（リサーチ・クラークシップ）
費用目安	約60万円（アジア）～150万円（アメリカ） （渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等） ※派遣先地域により異なります　※為替・物価の変動により異なります
対象年次	医学科4年生

海外クリニカル・クラークシップ

5年次のカリキュラムの一環として、海外の医療機関で診療の見学を行ったり、病棟チームの一員として実際に診療に参加するプログラムです。欧米やアジア等、個々の希望に応じたさまざまな環境において、医療システムや医学教育の違いを肌で感じる事ができます。派遣先によっては、日本では稀な症例や術式を経験する事ができます。在学中に海外でクリニカル・クラークシップを行い、さまざまな良い刺激を受ける事が、継続的な学修動機の維持に役立つ他、医師になってからの臨床留学を目指す等、将来の進路選択のきっかけになる事も少なくありません。

派遣時期・期間	3月～4月中旬、8月（プログラムによって異なる）/ 2～4週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安	約30万円（アジア）～60万円（欧米） （渡航費、宿泊費、保険料等 ※地域による） ※為替・物価の変動により異なります
対象年次	医学科5年生

海外派遣先

クリニカル・クラークシップ 参加学生の声

日米の医療システムの差異と、実践的な英会話力の必要性を肌で感じた。

医学部 医学科 2023年3月卒業
験馬 悠介 Yusuke Kenma
神奈川県立湘南高等学校卒

■ スタンフォード大学（アメリカ合衆国）
派遣期間：2022年2月～3月（3週間）

海外の医療現場を直に見て視野を広げたく、スタンフォード大学(病院)の小児心臓外科において、外科の回診やオペ、診察を見学しました。日本では稀な心臓移植も見ることができました。日本よりも遙かに分業制が進んでいた点や、活発なディスカッション、職種間の連携性の高さなどに、日本との差異を感じました。また、アメリカの外科医は多くの時間を手術やその練習に充てられる環境が整っており、魅力に感じました。一方、海外で臨床をするためにはより高度で実践的なコミュニケーションの訓練が必要だと再確認しました。将来アメリカで働くために英会話や医療英語学習に一層励むとともに、視野を広く持って考え行動できる医師を目指す契機となりました。

短期海外研修プログラム

それぞれ目的やレベルの異なる3種類の短期研修プログラムを準備しています。

ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）
Vancouver Summer Program

公衆衛生や臨床研究等医学科生向けに準備された豊富なコースから選択でき、座学授業とベッドサイドでの実習を組み合わせたプログラムで理解を深める。

派遣時期・期間	7月～8月 / 4週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安	約70万円（渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等）
対象年次	医学科4、5年生

ハワイ大学（アメリカ）
Summer Medical Education Institute

ハワイ大学の歴史あるProblem Based Learning (PBL)指導方式を体験し、基本的な問診と診察能力の向上を狙う。

派遣時期・期間	8月 / 1週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安	約35万円（渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等）+参加費
対象年次	医学科3～6年生

シンガポール国立大学シミュレーションセンター
Experiential Simulation Program

最先端の施設とシミュレーターを備えた環境で、スキルのみではなく、コミュニケーション能力、危機管理対応、プロフェッショナリズムについて学ぶ。

派遣時期・期間	7月、8月、10月 / 2週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安	約40～50万円程度（渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等）+参加費
対象年次	医学科5、6年生

各プログラムの募集内容や参加報告は、WEBで確認いただけます

派遣実績（年度）

～コロナ禍を超えて派遣再開！～

	派遣先	2019	2022
短期プログラム	ブリティッシュコロンビア大学	1	※
	ハワイ大学	1	※
	シンガポール国立大学シミュレーションセンター	12	2
クリニカル・クラークシップ	タマサート大学	※	－
	スタンフォード大学	※	2
	Nemours小児病院	2	2
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2	2
	パリ・シテ大学	3	2
	英国大学医学部	1	－
	MDアンダーソンがんセンター	2	※
	テンプル大学	2	※
	ストラスブール大学	1	2
	ルーヴァン・カトリック大学	－	※
	ミュンヘン大学	※	1
リサーチ・クラークシップ	シンガポール国立大学	－	※
	サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所	2	※
	シンシナティ小児病院	－	1
	ウェイン州立大学	2	2
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	1	※
	テンプル大学	2	2

・2020～2021年度および上記※印は、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止。
ただし、2022年3月（2021年度）に2名の派遣が再開（スタンフォード大学）

スケジュール

リサーチ・クラークシップ
募集期間 7月～9月
選　考 10月

クリニカル・クラークシップ
募集期間 7月～9月
選　考 10月

短期プログラム
募集期間 1月～2月/3月
選　考 2月～4月

プログラム		2022 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
リサーチ・クラークシップ																			
クリニカル・クラークシップ																			
短期海外研修プログラム	プリティッシュコロンビア大学/ Vancouver Summer Program																		
	ハワイ大学/ Summer Medical Education Institute																		
	シンガポール国立大学 シミュレーションセンター/ Experiential Simulation Program																		

募集期間　選考　プログラム期間

※プログラムのスケジュール変更・中止の可能性があります

医学部

看護学科

School of Medicine
Nursing Course

看護学科は、1898年（明治31年）に創設された横浜市立十全看護婦養成所が源流となり、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解する事ができる豊かな人間力を持った人材の育成に取組んでいます。看護学の専門教育機関として関係職種や地域住民とも連携し、人々の健康や生活の質の向上に貢献し、高度先端医療を担い、新しい時代の実践の場を改革できる、誇り高い人材の育成を目指しています。

- 看護実践と研究の融合
- 地域・グローバルと豊富な実践の場
- 地域と共に看護教育を展開
- 実践を後押しする学内の多様なリソース

看護学科カリキュラム全体像

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根拠を理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るまでのすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格（選択制）が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を収めています。

取得できる資格
- ●看護師国家試験受験資格
- ●保健師国家試験受験資格（選択制）

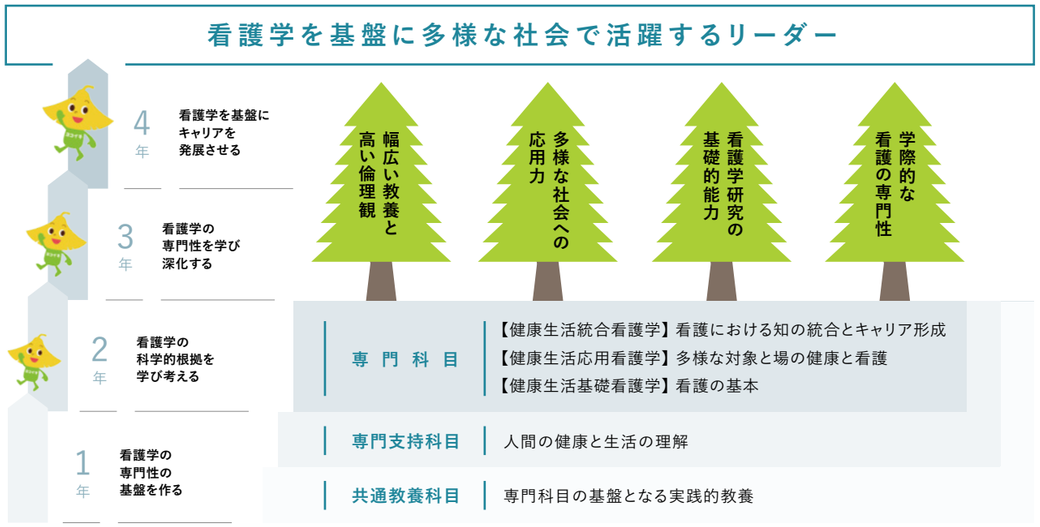
Message from the Dean

横浜から世界へ　ワクワクする 看護学の未来を一緒に創りましょう。

医学部看護学科　看護学科長　赤瀬 智子 Tomoko Akase　■看護生命科学

看護学は生活のある人々の健康を支援する学問です。そのため、本学看護学科での教育内容は、幅広い教養と共に、ヒトを細胞レベル、検査などは測定原理から理解することで、人々の健康の科学的根拠から“人を看る”実践力、“人を守る”質の高いアセスメント力につなげていきます。つまり、豊かな人間力と共に Scientific な思考を持つ看護職の育成を目指しています。
カリキュラムとしては、社会的に重要なテーマを課題に全学部や医学科生と議論していく教養科目、海外フィールドワークや国際学会で発表をするなど各学年での継続的なグローバル教育、人々の多様性や複雑性に対応するための看護学の横断型学習、学生自身のキャリア志向に応じ、教養・実習・留学・研究が自由に選択できるキャリア形成教育などが本学の看護学教育の特徴です。また、本学看護学科では在学中に学生さんたちの科学的思考と豊かな発想から自由に研究に取り組んでいただきたいと思っています。そして人に役立つ新たな看護ケアの開発など、一緒に看護学の未来を創っていきたいと思っています。人の役に立ちたい！また、探求心のある皆さんの受験をお待ちしています。

カリキュラム構成



豊富な教育リソース・実習サポート体制

YCUの看護学科では、学生の興味関心に応じて、自由に学べる環境やリソースがあります。
看護学科の目指す、「明日の看護のリーダー」を育成するため、アクティブラーニングによる能動的学修、基礎研究等の多様な学びを深めます。

看護形態機能学演習

VR（バーチャルリアリティ）による認知症体験

左：附属病院、右：附属市民総合医療センター

横浜市内で最高水準の医療・看護を提供する二つの附属病院が、看護学科の実習生を受け入れ、高度で実践的な指導が行われています。
二つの附属病院には、本学科の卒業生が多数就職しており、技術面の指導だけでなく、学生の将来の姿（ロールモデル）となり、精神面のサポートも充実しています。
さらに、実習の学修目標に合わせて、横浜市内のさまざまな施設でも実習を行っています。

Pick up Curriculum

専門支持科目：看護生命科学　1年次～2年次

看護生命科学では、健康に関わる諸問題・課題を理解する基盤ともなる身体の形態・機能等に加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床病態看護学Ⅰ・Ⅱ等を配置しています。さらに身体各部の構造や位置関係および生理機能について演習を通して理解を深めるために看護形態機能学演習を配置しています。

専門支持科目：看護社会科学　1年次～4年次

看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支えるしくみを広く理解する科目である人間発達学、対人関係論、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学等を配置しています。さらに選択科目として医療安全学、看護経済学、看護情報学、看護教育学を配置しています。

健康生活応用看護学Ⅰ　1年次～3年次

健康生活応用看護学Ⅰは、成人看護学・母性看護学・小児看護学・老年看護学・精神看護学・在宅看護学の６領域から構成されています。ここでは人間の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防等、患者・家族の看護について学修します。各看護学は方法論、演習、実習で構成され、TBLによるアクティブラーニングの手法等も用いて、体系的に学べるよう配置しています。

健康生活統合看護学　1年次～4年次

健康生活統合看護学は、専門共通看護学・国際看護学・統合実践看護学・キャリア形成看護学により構成されています。国際看護学では、講義やフィールドワークを通して地域社会や国際社会の変化や人々の多様な価値観に対応できる基礎的能力を身に付けます。キャリア形成看護学では、看護専門職の実践の基盤となる基本的な知識や技術・倫理観等を各学年で積み上げながら学び、学生個々人の目指すキャリアに応じた関心や課題を明確化し発展させていきます。

グローバル教育の取組

看護学科では、国際化社会における看護の実践と、看護、医療、保健における国際多様性を理解する事によって視野の広い看護職を育成するため、カリキュラムの中に体系的にグローバルな教育プログラムを用意しています。１年次から全学で取り組むPractical Englishで培った英語力を基盤に、さまざまな国際体験を積む事ができる他、意欲のある学生は自主的に海外に飛び出し、実践的な研究活動等に参加し、積極的にグローバルで多様な看護の現場を体験しています。

多様な国際交流プログラム

英語で看護の実践を積む
国際看護学I

１年次の必修科目である「国際看護学I」はコミュニケーションの理論や基本的なスキルを学び、医療において増加する外国人患者に対する異文化コミュニケーションを学びます。この科目は Practical English Center や外国人模擬患者の協力を得て、看護実践を結び付けたアクティブラーニングで、外国人を対象とした医療コミュニケーションを実践的に学ぶものです。日本で生活する外国人の方々のグローバル・ヘルスについてグループで問いをみつけプレゼンをし、国際機関で活躍をしている方、海外で看護師として働いている方、海外の大学院を修了して研究者として活躍をされている方などからご講義をいただき、これからのキャリアを考える機会を持ちます。

途上国における国際看護の現場に飛び込む
国際看護学演習I

2年次「国際看護学演習I」は、母子保健を中心とした国際看護の視点を養うことを目的に、現地での保健活動を含めた海外フィールドワークを実施しています。2022年度はコロナ禍のためオンラインでインドネシアの看護医療系大学生やフィリピンの医療者との相互交流を実施しました。2023年度の渡航は海外情勢を踏まえ検討します。フィールドワーク実施前には海外の保健医療や国際機関等について学習し、ネイティブスピーカーの教員とともに、プレゼンテーション準備を含めた少人数制の英語学習をします。世界の健康課題について視野を広げ、国際的な視野を養います。

海外の看護学部で学び、医療現場を体感する
ハワイ看護フィールドワーク（FW）プログラム

3-4年次「国際看護学演習Ⅱ」では、1年間にわたる「実践的語学トレーニング」と「ハワイ看護 FW」を実施します。「実践的語学トレーニング」では、１年間、本学PEセンターで看護師免許を持つ英語教師が行うクラスを受講し、語学スキルアップを目指します。「ハワイ看護 FW」では、米国ハワイ州の医療現場における上級看護師の実践の見学や、ハワイ大学マノア校看護学部のシミュレーションセンターの演習参加を計画しています。また、ハワイ文化について現地講師から学ぶと共に、プレゼンテーションを通して学生や教員との文化交流を行います。さらに、現地の保険・医療・福祉施設の見学や交流を通し、米国の医療の現状、看護教育の実際を学べるプランも準備し、国際的視野の涵養を目指します。

※2020、2021 年度は新型コロナウイルスの影響により中止

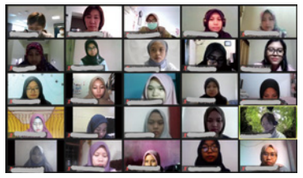
これまで培った国際的視野で課題を追求
海外での卒業研究

海外での卒業研究（調査）は、看護の統合と実践Ⅲ（統合実習）に位置付けられます。看護実践の向上に関わる個々の関心やテーマ（課題）を追求するためのフィールドとして海外における調査が可能です。実際に現地の医療従事者や住民にインタビュー調査を行います。４年次は、学生自身の看護に対する考え方や卒業後の進路が明確となります。それに伴い学生個々の興味関心事が多様化し、近年では、卒業後に海外で働く事を希望する学生が増加しています。そのため YCU では4年間の学修における集大成である卒業研究を、国内だけではなく海外でも行えるよう、学生のニーズを尊重しサポートする体制を整えています。

※2022 年度はコロナウイルスの影響により、現地実施は中止

海外の学生と看護課題を通じた交流
日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンス）

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」は、日本と海外の若者の交流を通じ、日本及び世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的としています。看護学科ではこの助成を受け、コロナ禍以前はアジア圏の大学生を横浜に招聘し、コロナ禍ではオンライン交流を実施しています。2020年度には、本学のオンライン交流が JST よりグッド・プラクティスに選ばれました。2022年度は「ロコモティブ・シンドローム」をテーマにインドネシア・ハサヌディン大学の看護学部生とのオンライン交流を実施し、グループワークなどを通して、医療体制、高齢化率、家族構成、運動・食習慣等などが異なる両国に必要な支援を考えました。コロナ禍終息後は、対面でのプログラム再開を検討しています。



多様な学生の活動

正規のプログラムだけでなく、YCUの看護学生はその多様な興味関心や課題意識により、国内外のさまざまなフィールドに飛び出し、多角的な視点による国際交流で看護を深めています。

持続可能な都市づくり共通教育プログラム（SUDP）の取組み

全学部対象のグローバル都市協力研究センター主催のフィールドワークプログラム「SUDP」に参加しています。SUDPでは世界の都市問題（環境汚染や感染対策など）について、複数学部・研究科の学生が、公衆衛生、環境、まちづくりの観点から解決策を検討します。2023年度はタイでのフィールドワークを検討しています。

学生が新しいフィールドを開拓

看護学科学生がインドネシアの国際学会でフィリピンでのフィールドワークの発表をする事が決まった際、インドネシアの看護についても学びたいと申し出があり、ジャカルタでのフィールドワークを行いました。学生が引率教員に相談をしたので、共同研究者の現地の教員を紹介し、安全に渡航ができるように準備を進めました。ジャカルタでは病院や市役所等の見学を行い非常に良い経験ができました。

国際会議への参加

看護学科学生が様々な教育プログラムへの参加経験を International Council of Nurses (ICN) や International Academic Consortium for Sustainable Cities (IACSC) などの国際会議で発表しています。看護学科での国際的な経験を学術的に報告する機会となっています。

Practical English センター 福浦キャンパス分室

Practical Englishの授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリング等さまざまな学生サポートを行うPractical English センターの分室です。看護師として勤務経験のあるネイティブ講師と自由に英会話ができるコミュニケーション・アワーを設け、医学部学生の英語学習をバックアップしています。

国際交流掲示板

看護教育研究棟内には、学内・学外のさまざまな国際交流に関する情報を集めている掲示板があります。また、不定期に開催されるセミナー等への参加を積極的に促しています。

海外フィールドワーク 参加学生の声

文化的な背景が看護に与える影響など海外の看護について理解が深まった貴重な経験。

渡航先：フィリピン・インドネシア（オンライン）

医学部 看護学科 4年

藤田　桃子 Momoko Fujita　神奈川県　横浜市立南高等学校卒

入学前から海外の看護に触れたいという思いが強くあり、参加しました。コロナ禍でオンラインでの開催でしたが、それぞれの国の文化や医療制度のシステム、看護の実態などを英語で紹介しあい、現地の看護師や看護学生の皆さんと交流できました。また、ディスカッションの時間を通して、宗教と医療への影響など、日本とは大きく異なる背景を知れたことはとても印象に残っています。国を超えて看護について学び合い、将来、看護師として働くうえで重要なことにまたひとつ気付くことができたと感じています。また、他国の医療制度や特色を知れたことで、相違点や共通点に着目しながら、日本の医療制度を改めて深く理解することができました。今後、看護を学んでいくなかでこの知識を生かしていきたいです。

Online Global Health Program in Nursing, 2021
Universitas Hasanuddin & Yokohama City University
September 3rd, 2021

Time	JPN time	IDN time	min	Contents	Facilitator & Timekeeper (*)
AM	9:00	8:00	20	Opening, Orientation, Simple Self Introduction (self-participants)	Ishi-sensei, Hiroshi-sensei
	9:20	8:20	20	Self-Introduction in paired groups (red, green, blue)	
	9:40	8:40		YCU: 1-3 students, Unlike: 2-3 students in each group	
	10:10	9:10	30	Presentation by YCU OKD & Unlike students QSD "Knowing each other's daily life and each other's country" ▶ Listening to presentations (15×3=45(OK)) min) ▶ Discussing in groups (red, yellow, green, blue) (20 min) ▶ Share in all (10 min)	Sakura Leone Arisa Usuki Yuriko Ota*
	11:10	10:10	10	Break time	
	11:40	10:40	30	Special mini-lecture: by Dr. Henry F. Tupas, MD, FPOA, MHA & Ms. Shawnie Jay M. Figueroa, RN, MAN (from QuadMed Hospital Iloilo, Philippines) ▶ Mini-lecture (15 min): COVID-19 Infection in the Philippines: Current Situation ▶ Discussing in groups (red, yellow, green, blue) (10 min) ▶ Share and Q & A in all (10 min)	Mieko Mita Hana Sakaguchi Mizuki Kubo*
	12:10	11:10			
	12:30	11:30	90	Lunch time/ Leave the Zoom room The Zoom will open 15 min before the PM session	
	13:30	12:30			
PM	14:00	13:00	120	Presentation by YCU OKD & Unlike students QSD "Knowing each other's health care system" ▶ Listening to presentations (30×3=(MAX)90 min) ▶ Discussing in groups (red, yellow, green, blue) (15 min) ▶ Share in all (15 min)	Nobuko Wakabe Mari Uozumi Mio Komori*
	16:00	15:00			
	16:10	15:10	10	Break time	
	16:20	15:20	20	Free exchange in paired groups (red, yellow, green, blue)	Momoko Fujita Natsuki Kase Hinata Ogukawa*
	16:40	15:40	10	Closure, Certificate of attendance (YCU: Momoko Fujita / Unlike: Nita Bhattarai), Photography	YCU students Master's-sensei

オンラインプログラムの予定表の一部

学生／卒業生の声

詳しくは ヨコ知り！

国際的な視点と地域密着の視点、両方を活かして物事を捉えたい。

医学部 看護学科 3年
神奈川県　横浜市立桜丘高等学校卒
田村　百花 Momoka Tamura

看護学科ではフィールドワークなどを含め、様々な講義で国際的な保健問題や国際看護について学ぶ事ができます。その一方で、横浜市の大学として地域に密着した講義を受ける機会もあります。「地域看護方法論」では周辺地域の情報をもとに、実際の保健問題に対する計画の立案を行いました。ほかの学生のアイデアを聞き、視野も広がりました。今後看護師として活躍する上でも、多様な視点から物事を捉えられるようになりたいです。総合大学であるYCUは医療分野だけでなく色々な人と関わりを持てます。また、意識高くきちんと学びに取り組む人が多いので、学生生活を楽しみながら、みんなと助け合って頑張る校風は素晴らしいと思います。

患者さんと一緒に考えられる力を充実した実習環境で磨ける。

医学部 看護学科 4年
神奈川県立大和高等学校卒
三宅　春歌 Haruka Miyake

看護師を目指していた私にとって、YCUは総合大学なので自分の視野を広げられる点と、2つの附属病院があって実習環境が充実している点が魅力でした。入学後、2年次の「成人看護方法論Ⅰ」では、現場で実際に働く認定・専門看護師の講義があり、地域との連携なども含めた、実務での具体的な事例を聞く事ができました。3年次の後期からは、実際の患者さんを相手に臨床実習が始まります。患者さんの生活スタイルや価値観などを多角的に捉えて、様々な療法を生活に組み入れるのですが、座学ではわからない、貴重な経験の連続です。今後も経験を積んで、患者さん一人ひとりに寄り添って、一緒に考える事ができる看護師を目指していきたいです。

2つの附属病院で実習をしながら幅広い経験ができることが魅力。

医学部 看護学科 2023年3月卒業
神奈川県立厚木高等学校卒
久保　美月 Mitsuki Kubo

YCUを選んだのは、キャンパスに病院が直結していて医療・看護を学ぶ体制が整っていることがポイントでした。また、附属病院が2つあるので2カ所の異なる環境で学べ、研修先や就職先の選択肢の幅が広い事も魅力でした。3年と4年の実習では附属病院の病棟で幅広い経験をさせていただきました。さらに外部病院の精神科でも実習を受けました。心の健康を失い、言葉で思いを伝えられない患者さんへの接し方には悩みましたが、黙って横に座り、時間を共にすることが看護につながることも学びました。卒業後は横浜市立大学附属市民総合医療センターで勤務します。忙しい職場だと思いますが、それだけに得られることが多いと期待しています。

国家試験対策　きめ細かい指導で高い合格率を達成

看護学科国家試験対策（2022年度実績）

看護師　国家試験	合格率 2023年3月卒業生	100% （全国平均 90.8%） ※既卒含む
保健師　国家試験	合格率 2023年3月卒業生	100% （全国平均 93.7%）

- 4月に4年生全員との個別面談を実施して指導・サポート。
- 看護師模試、保健師模試を年間5回実施し、ほぼ全員が受験。（4年次4、8、10、11、1月）
- 4年生全員を対象とした看護学科教員による弱点科目の補習講義の実施。（12月）
- 学外のパソコン・スマートフォン等からアクセス可能な学修ツール（e-learning教材）が使用可能。
- 伸び悩んでいる学生には補習講義や随時フォローアップ面接を実施。

■国家試験対策スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
看　護	3年次		4年次										
			個別面談								卒業論文提出		国家試験
			模擬試験				模擬試験		模擬試験	模擬試験		模擬試験	
											補習講義	補習講義	
			フォローアップ面談										

看護学科 就職先・進学先 2023年3月卒業生

区分		就職先		人数
就　職	看護師	本学	横浜市立大学附属病院	42
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	38
		横浜市内	神奈川県立がんセンター	2
			神奈川県立こども医療センター	1
			横浜市立市民病院	1
			菊名記念病院	1
		神奈川県内	川崎市立病院	1
			湘南病院	1
		東京都	国立成育医療研究センター	2
			東京医科歯科大学病院	1
			国立がん研究センター中央病院	1
			東京武蔵野病院	1
			武蔵野赤十字病院	1
			日本大学病院	1

区分		就職先	人数
就　職	看護師	自治医科大学附属病院	1
		日高病院	1
		順天堂大学医学部附属浦安病院	1
		聖隷浜松病院	1
		四国こどもとおとなの医療センター	1
		福岡市立こども病院	1
	保健師	横浜市	3
		横須賀市	1
		東京都	4
	その他		1
進　学		横浜市立大学　医学研究科　看護学専攻	1
合　計			110

看護学科卒業生は、看護師・保健師として就職・進学等の進路を選択し、YCUでは多くが横浜市内・首都圏の医療機関へ就職しています。

看護学科 修学資金貸与制度

看護学科3・4年次で、YCU卒業後直ちに附属2病院（附属病院・附属市民総合医療センター）に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。
貸与を受けた期間に相当する期間、附属2病院で業務に従事した場合は返還が免除となります。
また、優秀な人材確保とキャリア支援の一環として、助産課程やYCU大学院への進学期間における修学資金の返還猶予が認められています。

大学院紹介

医学研究科
Graduate School of Medicine

詳しくは WEBで

看護学専攻

YCUの看護学専攻は、地域に貢献する事をミッションに、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関としての歴史があります。少子高齢化社会の進展等により医療、保健、福祉のあり方が大きく変容する中にあって、看護学における高度な専門性と研究能力に裏打ちされた実践を通じて、看護の現場を改革できる人材を育成します。本専攻では、専門看護師受験資格取得、助産師国家試験受験資格取得に加え、特定行為研修（術中麻酔管理領域）を受講できます。また、2018年度より開設された博士後期課程では、複雑化する医療ニーズに対応できる看護理論を創造できる研究者や、CNS（専門看護師）等の高度実践看護専門職を育成できる教育者を養成する、市内唯一の看護学における高度な教育・研究拠点を目指します。

・博士前期課程

広い視野に立脚して看護学の専門性を追求すると共に、エビデンスに基づいた看護実践ができる専門看護師や助産師・周麻酔期看護師をはじめとした高度実践看護師を育成すると共に、看護学の研究能力を持って現場を変革できる看護管理者、また、高い識見を持つ教育者や研究者といった、次世代の看護をけん引するリーダーを育成します。

・博士後期課程

2018年度から開設された博士後期課程では、今後もますます複雑・多様化する看護ニーズに対応できる看護スキルやシステム構築、看護理論等を開発できる看護学研究者の育成を目指しています。またそのような看護ニーズに対応できる高度実践看護専門職やそれらを育成できる看護学教育者、さらに臨床や行政において指導的な立場で専門業務を担う人材を輩出します。

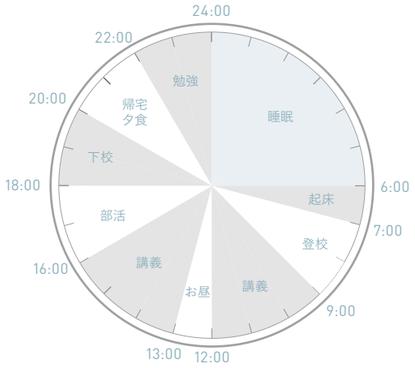
看護学生の1日

YCUの医学部看護学科の学生は、専門課程を福浦キャンパスにある看護教育研究棟で学びます。
看護学生のある1日のスケジュールを通して、看護教育研究棟を紹介します。

医学部 看護学科 2年 半田 奈々佳 Nanaka Handa　神奈川県立川和高等学校卒

一般的な看護学生のスケジュール

（※学年、学期によって時間割は異なります）



9:00
情報処理教室

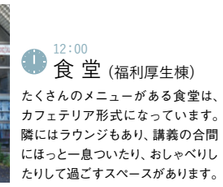
ITリテラシーの育成を目的とする情報処理教室。設置されている100台のコンピュータには、レポート作成や課題発表に使用されるOffice系ソフトだけでなく、看護研究のための統計処理を行う解析ソフトも搭載しています。

11:00
講義室

さまざまな大きさの講義室がある中でも、大講義室は140席あり、音響設備も充実。さらに、電動式黒板が大型スクリーンに切り替わり、映像を用いた授業も行えるようになっています。

12:00
食 堂（福利厚生棟）

たくさんのメニューがある食堂は、カフェテリア形式になっています。隣にはラウンジもあり、講義の合間にほっと一息ついたり、おしゃべりしたりして過ごすスペースがあります。



13:00
母性看護学実習室

女性の妊娠から出産における母性看護の技術を学ぶ実習室です。新生児（赤ちゃん）のモデル人形で沐浴や授乳・おむつ交換等を実習したり、妊婦のシミュレーションで診察から分娩までを演習します。

15:00
基礎看護学実習室

看護の技術や、検査・診療の補助に関する基礎的な看護技術（血圧測定や採血等）を学ぶ実習室。授業の復習のために自主的に利用することも可能で、仲間と練習して意見を述べ合って学びを深めます。

看護教育研究棟

大・中・小の多くの講義室の他に、領域ごとの看護学実習室があり、これらには 130 インチの大画面ビデオプロジェクターをはじめとした AV 設備が設置され、講義やさまざまな催し物に利用されています。

部活動

福浦キャンパスの手話サークルに入っています。病院では耳の聞こえない患者さんや、声が出せない状態の患者さんなどもいると思うので、手話ができると役立つと思ったからです。活動は週一回ほどです。コロナ禍の影響で今は対面ではなく、ZOOM を使ってオンラインで活動しています。感染状況が落ち着き次第、徐々に対面も交えたハイブリッドな形での活動を予定しているので、今からとても楽しみです。

YCUのここがスゴイ！

学生は皆、看護師、助産師や保健師になりたいという志をそれぞれに持っていて、授業中もお互いに活発に意見を出し合っています。みんなの意見を聞くことで、視野が広がるのを感じます。先生方もその意気を汲んで、やさしく丁寧に指導してくれて、授業が楽しいです！

身近な実習機関として貴重な場を提供する、二つの附属病院

■横浜市立大学附属病院

福浦キャンパス

福浦キャンパスに医学部と共に立地する附属病院は、377万人の横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。高度先進医療の開発と発展を推進する、横浜市内唯一の「特定機能病院」であり、「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」「神奈川県エイズ治療中核拠点病院」「災害拠点病院」の役割を担う等、各領域で最高水準の医療・看護を提供しています。また、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協働して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。さらに、地域医療連携の中枢として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。

病院長メッセージ

日本と横浜のインフラ高度医療を通じて社会貢献、研究開発を世界に発信。

横浜市立大学附属病院は、高度専門医療や総合診療等、幅広い医療を通じて医学と地域社会に多大な貢献をしつつ、研究や開発により世界に発信する、まさに日本と横浜のインフラです。YCUは福浦、浦舟町という地に、歴史と特徴の異なる二つの附属病院を有し、高度先進医療から地域密着型医療まで幅広い医療を、多くの症例に接しながら実習・研修できる環境を整えています。医療職は、身に付けた専門知識を目の前の患者さんに直接役立て、目の前で患者さんの喜びを直接感じる、やりがいのある職業です。YCUで社会に貢献する医療人としての資質を大いに高めてください。

附属病院長
後藤 隆久
Takahisa Goto

■横浜市立大学附属市民総合医療センター

横浜市南区浦舟町

附属市民総合医療センターは、1871年に全国で2番目の洋式病院として設けられた市民病院を出発点とし、市民の皆さまのご支援を受けて、2021年には創立150周年を迎えました。横浜市の医療の最後の砦として、市、県や地域の医療機関と連携し、高度で先進的な医療や集学的な治療を提供しています。市内唯一の高度救命救急センターを有する三次救急医療の拠点であり、「神奈川県総合周産期母子医療センター」「神奈川県精神科救急医療基幹施設」「災害拠点病院」「地域がん診療連携拠点病院」等の政策的医療も提供しています。さらに、「地域医療支援病院」として、地域の医療機関との連携や役割分担を進めながら、横浜市の地域医療に貢献しています。

病院長メッセージ

地元密着型医療から最先端の高度医療までカバーする「地域医療 最後の砦」。

横浜市立大学附属市民総合医療センターは、横浜市の中核病院として、優れた医療人の育成に注力すると共に、時代を先取りした理念・基本方針を全職員が共有し、働きやすい職場環境を整備しています。当院では、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、心臓血管センター、精神医療センター、小児総合医療センター等の疾患別センターを中心に救急医療、高度専門医療を実践しています。さらに、「地域医療最後の砦」として新型コロナウイルス感染症の対応も重症患者さんを中心に行っています。当院での経験を通して、皆さんに知識、技術の修得のみならず、医療人としての高い倫理観や責任感を身に付けていただく事を期待しています。

附属市民総合医療センター病院長
榊原 秀也
Hideya Sakakibara

研究施設・連携研究機関

■ 先端医科学研究センター（福浦キャンパス）

Yokohama City University 先端研 SENTANKEN Advanced Medical Research Center YOKOHAMA

がん、生活習慣病等の克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進しています。

横浜市立大学先端医科学研究センターは、2006年に設置された大学直属の研究センターです。臨床への橋渡し研究を推進すると共に、各解析センター等の研究活動を基盤に、これまで文部科学省の「イノベーションシステム整備事業」や、日本医療研究開発機構（AMED）の「難治性疾患克服実用化研究事業」、「再生医療実現拠点ネットワークプログラム」「ウイルス等感染症対策技術開発事業」等、数々の大規模プロジェクトに参画する等、国内有数のライフサイエンス研究拠点として着実な成果を重ねてきました。今後も優れた研究成果をより早く社会に還元できるよう取組みを進めていきます。

基礎研究	橋渡し研究	臨床研究	日常診療 病院における臨床応用
 鶴見キャンパス（生命医科学研究科）			 横浜市立大学附属病院
 福浦キャンパス（医学研究科）	 先端医科学研究センター	 次世代臨床研究センター	 附属市民総合医療センター

■ 次世代臨床研究センター（附属病院）

Y-NEXT
YCU Center for Novel and Exploratory Clinical Trials

臨床研究を円滑かつ安全に実施するための支援を行っています。

大学病院の使命には、「診療」、「教育」と並んで「研究」があります。研究には実験室で行う細胞や動物を用いた「基礎研究」と、実際に健常な人や患者さんを対象として新しい薬や医療機器、手術等の効果を調べる「臨床研究」があります。臨床研究には、大学病院や地域の医療機関で働く医師等、多くの医療者が携わっています。

Y-NEXT（YCU Center for Novel and Exploratory Clinical Trials）は、横浜市立大学を中心として行っている臨床研究を幅広く支援し、新しい治療法がより早く届けられるように病院の研究者をサポートする目的で2015年に設置されました。新しい治療法が開発される過程には、臨床研究が欠かせませんが、その臨床研究は計画、倫理審査申請、研究の遂行、データ管理、統計解析、信頼性確保、論文発表、医薬品・医療機器承認申請等の様々な工程があり、研究者だけでできるものではありません。

そのため、Y-NEXTでは研究者が臨床研究をスムーズに遂行できるように、医師、薬剤師、看護師等多職種がその専門性を発揮して多角的なサポートを行っている、いわば臨床研究・研究者を支える縁の下の力持ちです。

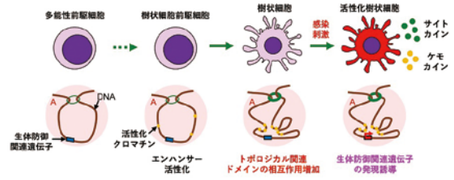
最近の主な研究TOPICS

先端医科学研究センター

感染防御やがん免疫に重要な樹状細胞の分化成熟におけるDNA折り畳み構造を初めて解明

～「Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America」に掲載～

医学部 免疫学 田村智彦教授らの研究グループは、熊本大学、国立感染症研究所、米国国立衛生研究所との共同研究で、感染防御やがん免疫に関わる樹状細胞の分化成熟におけるDNA折り畳み構造の変化とその分子メカニズムを解明しました。この知見を応用して、例えば白血病細胞など病的な前駆細胞のクロマチン高次構造を解析し、その性状を正しく理解することで、新たな診断・治療法開発につなげられる可能性があります。



生体防御関連遺伝子を含むゲノムDNA領域のクロマチン高次構造変化

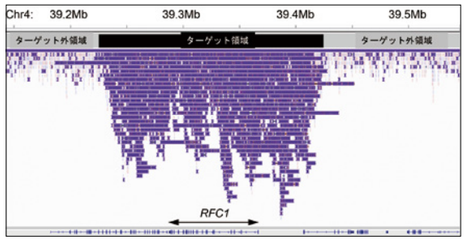
■この研究についての詳細はこちら

■免疫学教室

神経筋疾患の原因となるリピート伸長病の正確・迅速な遺伝子診断法を開発

～「npj Genomic Medicine」に掲載～

医学部 遺伝学 松本直通教授らの研究グループは、ナノポアシーケンサーを用いて、リピート伸長病の原因となる病的なリピート伸長変異を網羅的に検出する手法を開発しました。この手法は、ターゲットロングリードシーケンス法(Targeted Long-Read Sequencing：T-LRS)を利用しており、従来法に比べて、簡便で正確なリピート伸長病の診断が可能になります。



ソフトウェア上で指定すると効率よく全ターゲット領域のシーケンスが可能。
上図はCANVASの責任遺伝子 *RFC1* のリピート伸長領域を含む周辺の解析例。

■この研究についての詳細はこちら

■遺伝学教室

新たなPol IIの一時停止機構とその遺伝子発現制御における役割を解明

～「Nature Communications」に掲載～

医学部 分子生物学 髙橋秀尚教授の研究グループは、メディエーター複合体のコンポーネントMED26が、2つの核内構造体（HLBとCajal body）と協働して、新規のRNAポリメラーゼII (Pol II)の一時停止を引き起こし、細胞増殖に必須なヒストン遺伝子の発現を制御することを解明しました。ヒストン遺伝子の発現破綻は腫瘍性疾患と関連しており、本研究が腫瘍発症の解明につながることも期待されます。

Pol IIがポリA鎖の無いヒストンRNAを正確に産生するために、MED26とLECはヒストン遺伝子(HLB)を転写するPol IIをCajal bodyに“ピットイン”させる

■この研究についての詳細はこちら

■分子生物学教室

肝臓の守り方を遊んで学べる「肝炎すごろく」を開発

先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センターは、国立国際医療研究センターと共同で「肝炎すごろく」を開発しました。ボードゲーム型の教材としてデザインすることで、健康への関心が低い若年層にアプローチすることが狙いです。人生ゲームを遊ぶ感覚で、ウイルス性肝炎や脂肪肝などのリスクとその対策を日常生活と関連づけて学習することができます。

肝炎すごろくは全国の肝疾患の拠点病院を中心に肝炎啓発の教材として使用されており、更なる普及のための改良を進めています。

人生ゲームのように、コインやカードを集めながら肝臓に起こりうる生活習慣の問題や肝炎ウイルス感染のリスクを体感できる「肝炎すごろく」

■この研究についての詳細はこちら

■YCU コミュニケーション デザインセンター

鶴見キャンパス

世界トップレベルの研究設備で学ぶ

鶴見キャンパスでは、生命医科学研究科および理学部の学生が学修、研究を行っています。本キャンパスに所属する教員は、学生の指導はもちろん、生命医科学分野における世界的な研究拠点となる事を目指して、研究活動に取組んでいます。また、生命医科学研究科では、同敷地内にある理化学研究所や、教育研究の出口を見据えて産業技術総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所と連携大学院協定を締結しています。それらに所属する世界トップレベルの研究を背景に持つ研究者が客員教員として教育に参画しています。

NMR装置

950MHz超高感度LC-NMR装置

世界最高レベル高感度NMR装置を用いた生体高分子の研究を行っています。

NMR（核磁気共鳴）装置は、医薬品等の有機化合物のみならず、細胞や組織を構成するタンパク質、核酸、脂質等の生体分子を、非破壊的に原子レベルで観測できる卓越した研究機器です。鶴見キャンパスには500、600、700、800、950MHzとさまざまな静磁場強度の超電導磁石を持つNMR装置があります。中でも950MHz-NMRは世界トップレベルの感度を誇り、高速液体クロマトグラフィーで分離した化学物質をリアルタイムで検出できるように設計されています。これにより、超微量の代謝物質等を分解される前に同定でき、より大きな生体内タンパク質の立体構造や触媒作用に関するダイナミクスも解析できるようになりました。NMR解析から得られる情報は、新たな生命現象の解明の他、タンパク質が関与する疾病の原因究明、薬剤設計等の創薬研究、機能性食品の開発等、多岐に活用する事ができ、最先端の研究を推し進める事が可能となります。さらに950MHz-NMRは溶液の試料だけでなく、神経変性疾患の原因であるアミロイド等固体の試料でも測定できるようになっており、外部の大学や企業からの研究者にも広く利用されています。

スーパーコンピュータ

2017年8月に導入されたスーパーコンピュータCrayXC50

バイオ研究分野の分析を促進させるスーパーコンピュータ

CrayXC50は、並列計算機として、現在最も優れているといわれているスーパーコンピュータのひとつです。このシステムは、4480個の計算コアからなり、344TFLOPSの性能を持ちます。CrayXCシステムの導入により、タンパク質立体構造の情報解析等さまざまな生命科学の研究分野がより推進されるものと期待されています。現在、生命科学の研究分野では、ゲノムの配列情報や、タンパク質の立体構造情報等、大量の情報が作り出され、世界で共有されています。「バイオインフォマティクス」という研究分野は、その名前の通り、バイオ（生物学）とインフォマティクス（情報科学）が融合した研究分野で、インターネットやコンピュータを使って、そのような膨大なデータの中から、重要な情報を取り出すための研究をしています。「生体分子シミュレーション」は、DNAやタンパク質といった生体分子の機能や構造のあり方を、コンピュータの中で、バーチャル（人工的）にシミュレーションして明らかにしようという研究分野です。このように鶴見キャンパスでは、インターネットやスーパーコンピュータをバイオ研究に最大限に生かすような最先端の研究を行っています。

木原生物学研究所（舞岡キャンパス）

最先端の植物科学研究を舞岡から発信する

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、コムギ等の高等植物に関する遺伝学や進化学の偉大な業績でゲノムの概念を世界に先駆けて提唱した木原均博士が設立した研究所を源流としています。現在は大学の附置研究所として、理化学研究所や農業・食品産業技術総合研究機構、名古屋大学ITbM等の他機関と連携し、最先端の植物研究を展開しています。数千系統のコムギや数百系統のトウガラシを保有し、そこから集めた遺伝子情報をもとに遺伝資源を有効に活用する研究、それらのリソースをゲノム情報に置き換える研究、ゲノム情報をもとに現象を解明し実社会で役立てる研究等を行っています。また、研究所の教員は横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科の専任教員として、学部生と大学院生の教育に携わっています。

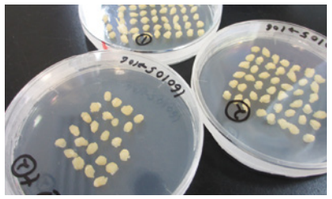
研究部門・各部門が目指すもの

■ 植物遺伝資源科学部門

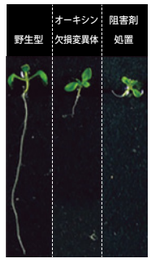
コムギ・トウガラシの系統保存をはじめ、その有効利用の研究や気候・病気に対する食料生産のための研究をしています。

■ 植物ゲノム科学部門

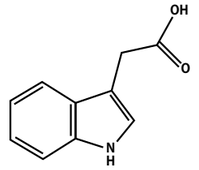
コムギのゲノム情報を解読し、遺伝子レベルでパンコムギの品種改良や小麦粉の品質向上、アレルゲンフリー小麦粉の開発を目指しています。



■ 植物応用ゲノム科学部門

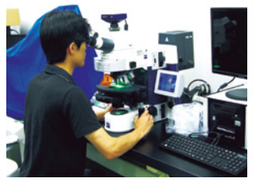


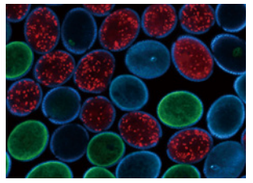
植物ホルモンオーキシンによる生合成の研究やさまざまな植物での作用研究、植物の成長制御を分子レベルで研究しています。



■ 植物エピゲノム科学部門

ゲノム編集、エピゲノム情報解析、イメージング技術を駆使し、植物の生殖過程から種子形成でみられるオス・メスのせめぎ合いを明らかにすべく研究しています。





連携大学院・海外連携機関等

連携大学院とは、協定締結により外部の研究機関の研究者を大学の教員として迎え、
その機関の研究環境を活用しながら研究指導等が受けられるシステムです。YCUではさまざまな機関と連携協定を締結しています。

連携大学院

生命ナノシステム科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス 物質・材料研究機構（NIMS）	海洋研究開発機構（JAMSTEC） NTT 物性科学基礎研究所	農業・食品産業技術総合研究機構
生命医科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス	産業技術総合研究所（AIST）	国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）
医学研究科	量子医科学研究所 国立感染症研究所 国立国際医療研究センター 理化学研究所 神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜市立市民病院 神奈川県立こども医療センター 公益財団法人がん研究会 がん研究所 神奈川県立がんセンター臨床研究所 あいち小児保健医療総合センター	医薬品医療機器総合機構（PMDA） 国立成育医療研究センター 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 国立精神・神経医療研究センター

主な海外連携機関

生命ナノシステム科学研究科	台湾師範大学　チェンマイ大学　UCSDスクリプス海洋研究所　チューリヒ大学　ウボンラチャタニ大学　国立成功大学 サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所　名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所
生命医科学研究科	光州科学技術院　延世大学校
医学研究科	サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所　カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）

みなとみらいサテライトキャンパス

みなとみらいサテライトキャンパスは、横浜ランドマークタワー 7階「産学連携イノベーション拠点NANA Lv.（ナナレベル）」内に設置されています。企業のR&D施設やスタートアップ企業が集積するみなとみらい21地区で、横浜市が掲げる「イノベーション都市・横浜」の実現に貢献することを目指し、イノベーション人材の輩出や企業との新たなコラボレーションによる教育・研究に取組んでいます。また、社会人教育拠点としてリカレント教育も展開しています。

主な事業

- データサイエンス研究科をはじめとする大学院教育
- 社会人向け教育プログラム等の運営
- 各種イベント
- 大学の研究者とプロジェクトスペース利用者等との交流
- 市民向けセミナー・公開講座

教室

企業のプロジェクトスペース

共用会議室

詳しくは ヨコ知り！

データサイエンス学部　教授
研究分野：土木環境システム、環境経済分析、
アジアの環境問題

大西 暁生
Akio Onishi

環境問題は人間社会の問題、志を持って持続可能な豊かな社会を築きたい

私の研究室では、将来の持続可能な発展を目指した環境調和型社会経済システムの構築を支援する研究をしています。そのために、地理情報や数値シミュレーションなどを用いたデータ解析を行っています。具体的な研究テーマは、気候変動を緩和する／気候変動に適応した都市社会づくり、物質循環型の都市社会づくり、環境調和型の交通施策、都市熱環境解析（ヒートアイランド対策）、アジアの水需給構造分析などです。

環境問題は、人間社会が原因で生じる問題です。私自身は微力です。しかし、同じ志の人が増えれば、笑顔あふれるより豊かな社会が永続的に築けると確信しています。

ゼミでの様子

Researcher Interview

若者の抱える生きづらさを科学的に解明し、自分らしく生きることが認められる世界に

若者にとって、現代は楽しくもある一方で多くの困難も抱えていると思います。そうした時代にあって、そこを生き抜いていく力をつけてもらうための研究を行っています。具体的には、心の不調を早期に検出する技術やそれを癒す技術（ゲーム・音楽・書籍など）を科学的エビデンスに基づいて構築する。この取り組みを多くの大学・企業・行政機関を巻き込んで実施しています。

生きづらさを感じる若者を科学的に元気づけるという仕組みは現在どの国にも存在しません。若者が元気に、そして自分らしく生きることを認め合える世界を作ることで、生きていて楽しい、大好きで住みたい日本そして世界を目指しています。

メタバースを活用して若者のこころの支援を推進する「MeeTaa」を、産学官共創で実現に向け進めている

詳しくは ヨコ知り！

研究・産学連携推進センター 拠点事業推進部門 部門長
医学群教授（麻酔科・生理学兼任）
学長補佐

宮﨑 智之
Tomoyuki Miyazaki

学生支援

進路状況

（国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部）

就職先業種割合（医学部を除く）

1 製造業 11.6%
2 情報通信業・マスコミ 23.5%
3 広告・コンサルティング・専門サービス業 14.8%
4 公務員・教員・特殊法人 10.2%
5 商社・卸売・小売業 9.2%
6 建設・不動産業 7.4%
7 金融・保険業 5.6%
8 その他 17.7%

※2023年3月31日時点での情報

国際教養学部

■製造業
エーザイ株式会社
太陽誘電株式会社
日産自動車株式会社
パナソニック株式会社
本田技研工業株式会社
マルマン株式会社

■金融・保険業
株式会社ジャックス
第一生命保険株式会社
日本生命保険相互会社
丸三証券株式会社
三井住友信託銀行株式会社

■建設・不動産業
株式会社オープンハウスグループ
JFEエンジニアリング株式会社
野村不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
三井ホーム株式会社

■広告・コンサルティング・専門サービス業
アデコ株式会社
エン・ジャパン株式会社
有限責任監査法人トーマツ
PwCコンサルティング合同会社
株式会社マイナビ

■公務員・教員・特殊法人
神奈川県教育委員会
神奈川県警察
神奈川県庁
川崎市役所
厚生労働省
茅ヶ崎市役所
出入国在留管理庁
総務省関東管区行政評価局
東京都特別区
兵庫県庁
藤沢市役所
文部科学省
横浜市役所

■商社・卸売・小売業
株式会社紀伊國屋書店
株式会社成城石井
株式会社ファーストリテイリング
株式会社丸井グループ

■情報通信業・マスコミ
SCSK株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（NTTデータ）
株式会社浜銀総合研究所
楽天グループ株式会社

■その他
株式会社グロップ
独立行政法人国立病院機構
全日本空輸株式会社
国立大学法人筑波大学
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
地方独立行政法人東京都立病院機構
株式会社パソナ
パーソルキャリア株式会社
丸全昭和運輸株式会社
株式会社リクルート
株式会社ワタナベエンターテインメント

■主な進学先（大学院）
慶應義塾大学大学院
専修大学法科大学院
東京学芸大学大学院
東京大学大学院
横浜市立大学大学院

他

国際商学部

■製造業
いすゞ自動車株式会社
キヤノン株式会社
キユーピー株式会社
株式会社崎陽軒
株式会社クボタ
グンゼ株式会社
サンスター株式会社
株式会社タカラトミー
株式会社バンダイ
株式会社日立製作所
富士通株式会社
三菱電機株式会社
ユニ・チャーム株式会社

■金融・保険業
株式会社ジェーシービー
大同生命保険株式会社
大和証券株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社三井住友銀行
三井住友信託銀行株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社横浜銀行

■建設・不動産業
株式会社オープンハウスグループ
株式会社関電工
清水建設株式会社
大成建設株式会社
大和ハウス工業株式会社

■広告・コンサルティング・専門サービス業
UUUM株式会社
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
有限責任監査法人トーマツ
株式会社ナガセ
株式会社野村総合研究所

■公務員・教員・特殊法人
会計検査院
国税庁
財務省東北財務局
総務省
東京国税局
東京都庁
東京都特別区
横浜市役所

■商社・卸売・小売業
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
全日空商事株式会社
株式会社マクニカ
三菱商事ケミカル株式会社

■情報通信業・マスコミ
アマゾンジャパン合同会社
株式会社インテージ
株式会社NTTドコモ
株式会社オービック
グリー株式会社
株式会社時事通信社
株式会社ジュピターテレコム
株式会社小学館集英社プロダクション
東日本電信電話株式会社
株式会社ビズリーチ
楽天グループ株式会社

■その他
株式会社JTB
全国農業協同組合連合会
株式会社ディー・エヌ・エー（DeNA）
凸版印刷株式会社
日本航空株式会社

■主な進学先（大学院）
University of Edinburgh Business School
横浜市立大学大学院

他

理学部

■製造業
京セラ株式会社
日本電気株式会社（NEC）
富士通株式会社
ライオン株式会社

■金融・保険業
三井住友銀行グループ

■建設・不動産業
株式会社長谷エコーポレーション

■広告・コンサルティング・専門サービス業
株式会社大和総研

■公務員・教員・特殊法人
神奈川県教育委員会
国土交通省関東地方整備局
東京都特別区
農林水産省
藤沢市役所

■商社・卸売・小売業
株式会社東急ストア
三菱商事パッケージング株式会社

■情報通信業・マスコミ
株式会社NTTドコモ
Sky株式会社
JFEシステムズ株式会社
株式会社トヨタシステムズ
株式会社プリマジェスト

■その他
日本貨物航空株式会社

■主な進学先（大学院）
大阪大学大学院
京都大学大学院
慶應義塾大学大学院
総合研究大学院大学
東京工業大学大学院
東京大学大学院
横浜市立大学大学院

他

データサイエンス学部

■製造業
ライオン株式会社

■金融・保険業
株式会社千葉銀行
株式会社横浜銀行

■広告・コンサルティング・専門サービス業
アデコ株式会社
株式会社インテージヘルスケア
シミック株式会社
株式会社マイナビ

■公務員・教員・特殊法人
愛知県庁

■商社・卸売・小売業
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

■情報通信業・マスコミ
ANAシステムズ株式会社
株式会社エクサ
SCSK株式会社
株式会社JALインフォテック
TIS株式会社
東京海上日動システムズ株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
株式会社日立システムズ
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
三菱UFJトラストシステム株式会社

■その他
株式会社カプコン
全日本空輸株式会社
福岡ソフトバンクホークス株式会社
株式会社リクルート

■主な進学先（大学院）
順天堂大学大学院
東京医科大学大学院
University of Texas at Dallas
横浜市立大学大学院
早稲田大学大学院

他

学生支援

キャリアサポート

詳しくは WEBで

合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討している企業に出展いただき、学内で企業説明会を実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者とより密接なコミュニケーションを図る事ができます。2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの実施となり2月に計8日間、約200社が出展し、延べ約1,300名の学生が参加しました。

■合同企業セミナーの主な出展企業（法人格省略）

IHI、アクセンチュア、イオン、イシダ、伊藤園、内田洋行、EIZO、エーザイ、エクサ、NTN、オービック、オカムラ、鹿島建設、かながわ信用金庫、神奈川中央交通、川崎汽船、キヤノンマーケティングジャパン、京セラ、グンゼ、サカタのタネ、佐藤製薬、サンスター、清水建設、Sky、住友倉庫、セイコーホールディングス、セブン銀行、全国農業協同組合連合会、ソニーグループ、大成建設、大鵬薬品工業、大和証券グループ本社、蝶理、東京ガス横浜中央エネルギー、トクヤマ、都市再生機構（UR都市機構）、凸版印刷、トヨタシステムズ、日産自動車、ニップン、日本政策金融公庫、長谷工コーポレーション、パソナグループ、東日本旅客鉄道（JR東日本）、ファンケル、富士フイルムビジネスイノベーション、古河電工、三菱商事RtMジャパン、明治ホールディングス、明治安田生命保険、横須賀市役所、横浜ゴム、りそな銀行、ルミネ　他

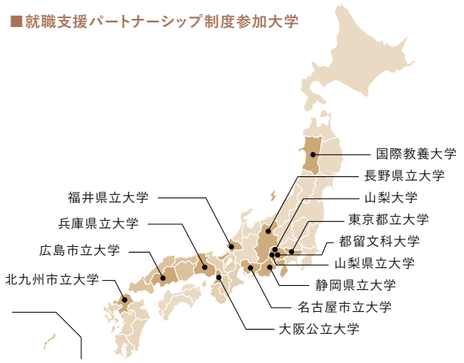
キャリア相談

専門のキャリア・コンサルタントを配置し、マンツーマンで相談に応じています。1年次より利用可能で、希望する進路や将来のキャリア像にあわせて学生の自立をサポートしていきます。また、エントリーシート添削・模擬面接等、就職活動の具体的なアドバイスも行います。

Uターン・Iターン支援

首都圏以外の各地方で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、Uターン・Iターン就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を全国13大学と連携して行っています。学生は、就職を希望する地域のパートナー 13大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談等の就職支援を受けられます。関東圏以外の出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

■就職支援パートナーシップ制度参加大学



キャリアメンター制度

就職活動を終えた4年生、博士前期課程（修士課程）2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程（修士課程）1年生の相談相手となって就職活動の支援をする制度です。これから就職活動をする学生は先輩から就職活動の情報やノウハウを得る事ができ、支援をする側の学生は後輩を指導する事で、社会人として役に立つ指導力やリーダーシップ、コミュニケーション力を磨く事ができる等、両者にとってメリットがあります。キャリア支援センターでは学生同士のWIN-WINの関係を構築する事で学生の成長を支援しています。

内定者の声

キャリア支援センターでの対策が大きな自信に。

国際商学部国際商学科　2023年3月卒業

村松 海斗 Kaito Muramatsu　静岡県立藤枝東高等学校

3年生の春、就職活動を始めるにあたり何から始めるべきかが全くわからず、初めてキャリア支援センターを利用させていただきました。面談では自己分析からエントリーシートの作成、模擬面接など、多岐にわたって指導していただきました。特に選考にむけての模擬面接では、準備不足な点をご指摘いただいて、その対策を行うというプロセスを繰り返した事で、経験値が蓄積されました。そしてこの蓄積が、結果的に大きな自信へと変化しました。実際の選考過程では、模擬面接で十分な準備が出来ていたため、面接官に対して、非常にリラックスした状態で自分の思いを伝えることができました。

内定先　株式会社JCB　■就職活動期間：12カ月　■内定社数：6社　■総応募社数：7社

さまざまな学生サポート

YCUは規模が小さいがゆえに学生と教職員との距離が近く、少人数による教育やお互いの顔の見える関係が学生一人ひとりの学びを高めます。学修面のみならず、専門スタッフによる学生相談や情報交換の場、保護者への説明会等、サポート体制も充実しています。

キャンパス相談

各キャンパスで公認心理師等の資格を持つカウンセラーが、心身の健康、人間関係、修学、将来の進路等、学生生活におけるさまざまな事柄に関する相談に応じます。必要に応じて、教員や学務部門、社会資源につなぐ等、学生生活を円滑に送れるよう、サポートしています。

バリアフリー支援室

専任のコーディネーターが、病気や障害のある学生の相談や修学支援を行います。キャンパス相談や、学務部門と連携しながら、教員との調整や、個々の状況に即した対応を行う他、学内研修やサポートスタッフ（学生による有償サポート）の育成・調整等を行っています。

保護者説明会

YCUでは在学生の保護者の皆様を対象とした説明会を金沢八景キャンパス、福浦キャンパスで実施しています。本学の教育理念や学生生活・留学・就職に関する支援について、保護者の方にも理解を深めていただく事で、学生へのサポートがより充実したものになるよう、教職員による説明や個別相談を行っています。

情報交換会

学生の自治団体（中央委員会、運動部連合会、文化部連合会、浜大祭実行委員会）の代表者と学生支援部門のスタッフが月に1回ミーティングを行い、学生の声をダイレクトに吸い上げるとともに、主に大学行事や部活動、大学施設の利用等に関して、意見交換を行う場を設けています。

図書館

詳しくは WEBで

学術情報センター（金沢八景キャンパス）

約70万冊の豊富な蔵書と充実した学修施設

大学における学修・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵しています。
さまざまな場面で活用できる学修環境や、学修支援サービスも用意しています。

医学情報センター（福浦キャンパス）

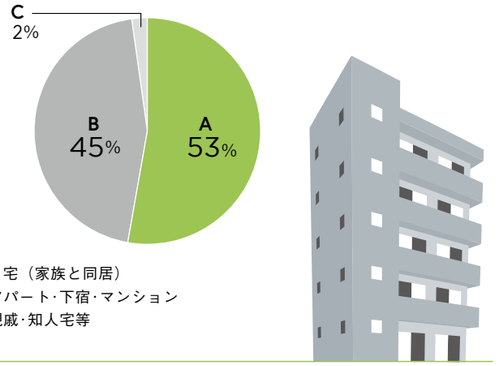
豊富な医学情報で学修・研究と医療の現場をサポート

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。
YCUの学生・教職員に限らず一般の方にも広く開放され、地域医療の情報拠点となっています。

Campus Life

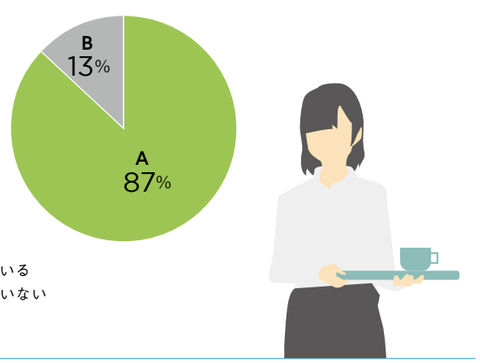
数値で見る学生生活
2022年度学生生活アンケート（学部生の回答結果）、2022年度入試結果より

Q 現在住んでいるところは？



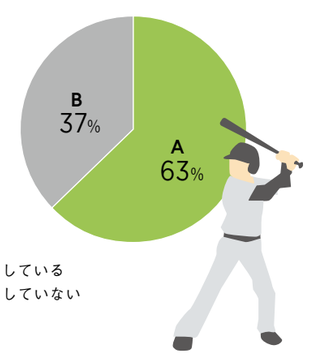
A 自宅（家族と同居）
B アパート・下宿・マンション
C 親戚・知人宅等

Q アルバイトはしていますか？



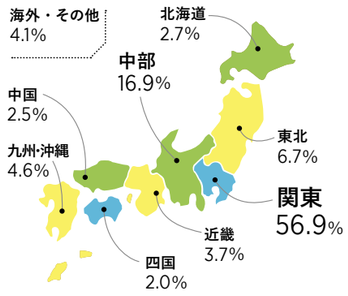
A している
B していない

Q 部活動・サークル活動等をしていますか？



A している
B していない

Q 出身地は？



※2022年度入学者出身高校をもとに作成

ヨッチー YOCHY

横浜市大のイチョウ並木から生まれたイチョウの精。お調子者で元気いっぱいなところが取り柄で、海外旅行のために、苦手な英語も頑張る努力家です。仕事はイチョウの葉の色付けで、特技はマジック。モットーは「時代に流されない」。

MASCOT

学生お気に入りスポット
YCUのメインキャンパスである金沢八景キャンパスと医学部のある福浦キャンパス。
キャンパス内にあるYCU生たちのお気に入りスポットを紹介します!

金沢八景キャンパス

いちょうの館
学生のためのスペース。ガラス張りで明るく開放的な空間は、仲間とのミーティングやグループ学修にも活用されています。

Library Students Plaza
図書館内で会話やディスカッションもOKのオープンスペース。机や椅子を自由に動かす事ができ、YCU生たちはグループ発表の準備やセミナー等に活用しています。

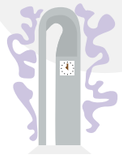
福浦キャンパス

食堂
医学部生のお腹を満たしてくれる医学部食堂はカフェテリア方式。隣に併設されている購買部では、医学書や看護の専門書、白衣や聴診器等も取り扱っています。

看護教育研究棟1階
看護教育研究棟の1階は、福浦キャンパスの中では知る人ぞ知る癒しスポット。陽の光が温かく降り注ぐ窓際のソファーで思わずほっこり。お昼休み等には、学生が奏でるグランドピアノの音色に癒されます。

YCUトリビア
YCUの「実は…」な情報をお届けします!

01
時計台の間を通ると単位を落とすという噂が …!



02
セブンイレブンが24時間営業のようで実はそうじゃない …

03
時々、ドラマ※の撮影に使われている!

04
アーティストH・Kさんが卒業生!

05
いちょうの館のトイレがやたらオシャレ!わざわざ通うファンがいるとか …

※金沢八景キャンパス「ブラッシュアップライフ」、「初めて恋をした日に読む話」、附属病院「アンナチュラル」、「シロでもクロでもない世界で、パンダは笑う。」等

YCUの1年

（参考:2023年度予定）

● 共通年間スケジュール　国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部／医学部

4月	5月	6月	7月	8月	9月
●入学式 ●履修相談会 ●新入生オリエンテーション ●前期授業開始 ●履修登録申請 ●1学期授業開始（医学科） ●前期授業開始（看護学科）	●新入生研修（医学科） ●履修登録確認期間	●東京都立大学との定期戦	●東日本医科学生総合体育大会	●前期終了／夏季休暇 ●ゼミ合宿 ●海外派遣プログラム（夏期） ●関東甲信越大学体育大会	●後期授業開始 ●後期履修申請 ●2学期授業開始（医学科） ●後期授業開始（看護学科） ●実験動物慰霊祭（医3年） ●ご遺骨返還式（医2・6年）

● 金沢八景キャンパス　国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部／医学部（1年）／大学院
● 福浦キャンパス　医学部　医学科（2〜6年）・看護学科（2〜4年）／大学院

10月	11月	12月	1月	2月	3月
●●防災訓練 ●履修登録確認期間 ●共用試験臨床実習後OSCE（医6年）	●浜大祭 ●Medical Festival ●共用試験CBT（医4年） ●医学のために献体された方々への感謝の集い	●冬季休暇 ●卒業論文提出 ●共用試験OSCE（医4年）	●卒業論文発表会（文系） ●3学期授業開始（医学科） ●白衣授与式（医4年）	●後期終了 ●海外派遣プログラム（春期） ●卒業論文発表会（理系） ●医師国家試験 ●看護師／保健師国家試験	●卒業式 ●医学部・医学研究科学位授与式

※変更になる可能性があります。

実家暮らし

谷口 友理 Yuri Yaguchi

医学部 医学科 3年
神奈川県　私立洗足学園高等学校卒
部活 水泳部所属

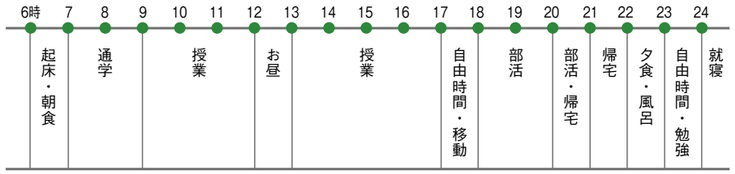
1ヵ月の生活費

収入	
アルバイト代：	3万5千円
支出	
食費：	0円
交際費：	1万5千円
通信費：	0円
娯楽費(洋服等)：	1万5千円

馴染み深い横浜の地で 仲間と助け合って過ごす大学生活

生まれも育ちも横浜なので、家から通えるYCUで医学を学ぶ事に決めました。通学時間は1時間40分ほどかかりますが、テスト前は暗記などで有効に使えるし、暇な時はスマホで映画を丸々1本観たりして、楽しく過ごしています。
キャンパスライフで大切な事は、幅広い交友関係を持つ事。YCUはアットホームな雰囲気なので仲間もできやすく、皆で助け合いながら講義や実習に取り組んでいます。現在は、水泳部、オーケストラ、医学部のボランティアサークルと3つの課外活動にも籍を置き、勉強、部活、遊びのどれも大切にしながら日々を過ごしています。

Schedule (3年次)



実家暮らし キャンパスライフQ&A

Q YCUに入って嬉しかった事は?
A きれいな温水プールがある事!

Q 大学生になって始めた事は?
A K-POPにはまって、韓国語を独学で学び始めました。

Q 楽しみにしているイベントは?
A 医学部の学園祭medical festival。

Q 座右の銘は?
A 「努力こそ自信のもと」。高校の先生に言われた言葉です。

一人暮らし

中尾 莞爾 Kanji Nakao

国際教養学部 国際教養学科 3年
北海道札幌南高等学校卒

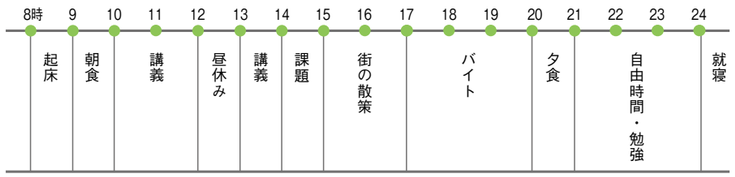
1ヵ月の生活費

収入			
仕送り：	9万円		
アルバイト代：	7~8万円		
支出			
食費：	2万円	娯楽費：	1万円
公共料金：	5千円	家賃：	4万4千円
通信費：	3千円	生活備品費：	1万円

憧れていた横浜に住んで 勉強にも音楽にも真剣に打ち込む日々

北海道出身で音楽が大好きな自分は、好きなミュージシャンが横浜出身だったりするなど、横浜に対して憧れのようなものがありました。実際に横浜に住んでみると、駅ごとに街の個性があって、学部で社会学の科目を学んでいる自分にはとても興味深い。電車旅が趣味になりました。
今住んでいるのは山の上のほうで、自転車で金沢八景キャンパスまで20分くらい。帰りは坂を上がるのでちょっと大変ですね(笑)。キャンパスは、コンパクトで規模感が心地良く、仲間とも集まりやすい点が魅力です。軽音楽部に所属して、大好きな音楽と勉強と、充実した日々を過ごせています。

Schedule (3年次)



一人暮らし キャンパスライフQ&A

Q YCUに入って嬉しかった事は?
A 一生付き合っていくだろうなと思える友達と出会えたこと。

Q アルバイトは何?
A 小学〜高校生相手の塾講師。

Q 一人暮らしの苦労するところは?
A ゴミ出しと掃除。

Q 一人暮らしの楽しいところは?
A 自分好みに部屋を改造できる。大きな秘密基地を持った感覚。

Student's Voice

YCUを選んだ理由は?
- 幅広く多様に学べるカリキュラムと国際的に活動できる立地
- 充実した実習や演習環境・大学の雰囲気

キャンパスはどんな雰囲気?
- 金沢八景キャンパスはいつもワイワイしていて、歩いているとよく友達を見かける!
- 福浦キャンパスはひとつの村みたい!

YCUの学生を一言で表現すると?
- 元気で、積極的で優しい
- 温厚篤実

YCUのいいところは?
- 少人数制度で教授との距離が近いところ
- さまざまな学部の人と仲良くなれる

キャンパスライフのスタートで大事な事は?
- 大学生という貴重な時間をどのように使っていくのかよく考える事
- 学び続けられる目標と仲間を見つける事
- 規則正しい生活習慣

オンライン授業のいいところは?
- 講義資料がpdfで用意
- 通学時間の短縮

コロナ禍での課外活動(部活・サークル等)はどのように行いましたか?
- 福浦キャンパスには入れなかったので金沢八景キャンパスの施設が予約できれば使い、それ以外は万全な感染対策の上外部の体育館を使用して練習
- zoomを使用してミーティングやトレーニング

Club/Circle

詳しくはWEBで

YCUの部活、サークルの団体数は、運動系・文化系を合せて約120。
アルバイトやボランティア活動、インターンシップ等の活動と両立しながら、それぞれの目標に向かって励んでいます。
もうひとつの大学生活の選択肢はさまざまです。

ヨット部（金沢八景キャンパス）

剣道部（金沢八景キャンパス）

チアリーディング部 Seagulls Elite（金沢八景キャンパス）

女子バスケットボール部（福浦キャンパス）

ヨット部（福浦キャンパス）

軟式テニス部（福浦キャンパス）

少林寺拳法部（福浦キャンパス）

東洋医学研究会（福浦キャンパス）

Second Wind Jazz Orchestra（金沢八景キャンパス）

水泳部（福浦キャンパス）

バドミントン部（福浦キャンパス）

茶道部（金沢八景キャンパス）

硬式野球部（金沢八景キャンパス）

女子バスケットボール部（金沢八景キャンパス）

女子グランドホッケー部（金沢八景キャンパス）

剣道部（福浦キャンパス）

金沢八景キャンパス

運動部連合会所属団体

アーチェリー部／アメリカンフットボール部／ウィンドサーフィン部／
応援団チアリーダー・リーダー部／チアリーディング部 YCU Elite／
オリエンテーリング部／空手道部／弓道部／男子グランドホッケー部／
女子グランドホッケー部／剣道部／男子硬式庭球部／女子硬式庭球部／
硬式野球部／サッカー部／柔道部／準硬式野球部／水泳部／スキー部／
卓球部／テコンドー部／軟式野球部／男子バスケットボール部／
女子バスケットボール部／バドミントン部／男子バレーボール部／
女子バレーボール部／男子ハンドボール部／女子ハンドボール部／
男子フットサル部／女子フットサル部／ヨット部／ラグビー部／陸上競技部／
YCU SUP team

文化部連合会所属団体

アカペラシンガーズvoxbox／囲碁将棋部／映画研究部／ESS（英語部）／
演劇研究部／科学倶楽部／ひようボ／環境ボランティアStepUp！／
管弦楽団／ギター部／軽音楽部SESSION／混声合唱団／茶道部／
ジャグリングサークルしゃかりきバンダ／吹奏楽団奏／
Second Wind Jazz Orchestra／探検部／ダンス部ALMA／釣り部HAM／
鉄道研究部／天文部137Mel／陶芸部／パソコン部 CLiP／
学生会HAKKEY+／美術部／ピアノ会／ブルース研究部／文芸部／
漫画研究会／三浦半島研究会／Y.B.C放送研究部／料理部／TEHs

サークル運動系

Orange Pekoe／NPC-どんぱち-／play off／ワンダーフォーゲルサークル／
ランニングサークルサークル・あいす

サークル文化系

かるた会／TABLE FOR TWO 横浜市立大学支部／
YCUデジフォトサークル／Hotcake Mix／Engine／CEBA／会計研究部

福浦キャンパス

医学部運動部連合会所属団体

剣道部／硬式庭球部（男子）／硬式庭球部（女子）／硬式野球部／ゴルフ部／サッカー部／
柔道部／医学部少林寺拳法部／水泳部／ソフトテニス部／卓球部／ダンス部Zero ／
バスケットボール部男子／バスケットボール部女子／バドミントン部／男子バレーボール部／
女子バレーボール部／フットサル部／ヨット部／ラグビー部／山岳部

医学部文化部連合会所属団体

機械情報医学研究会（旧We×Medicine）／ACLS研究会／茶道部／
手話サークル・あしながおじさん／学生赤十字奉仕団／ちちんぷいぷい／東洋医学研究会／
美術愛好会／福浦倶楽部（軽音）／福浦絃楽舎／分子医学研究会／Hepburn's／
Yokohama Medical Klavier(ピアノ会）／外科手技研究会／解剖道場／医学部YDC／
いのちの授業グループ／福浦ボーカーサークルWorld

2023.2月現在

CAMPUS MAP

金沢八景キャンパス

■ 国際教養学部　■ 国際商学部　■ 理学部　■ データサイエンス学部　■ 医学部（1年次）

京浜急行線「金沢八景駅」から徒歩5分という好立地に、
緑に囲まれたキャンパスがあります。
コンパクトにまとまったキャンパスでは、アットホームな雰囲気の中、
学生たちが勉学やサークル活動に励んでいます。
正門から続く銀杏並木は、春夏秋冬でさまざまな表情を見せ、
訪れた人たちの心を和ませてくれます。
落ち着いた雰囲気が漂うキャンパスは、
映画やドラマの撮影にも使われます。

アクセス　横浜駅から約18分 ／ 品川駅から約40分 ／ 羽田空港から約40分

横浜駅から約18分。コンパクトで緑豊かなキャンパス。

1 理学系研究棟

理学部の実験室、演習室や研究室があります。

2 YCUスクエア

2016年春に完成した「YCUスクエア」は、YCUの新たなシンボル。白を基調とした明るく開放的なデザインで、地域の人と学生、教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。

3 銀杏並木

1948年（昭和23年）に横浜医科大学予科（医学部医学科の前身）の学生たちが植えたものです。

4 時計台

YCUのシンボルとなるオブジェです。敷地内の中央に位置し、学生たちが待ち合わせの場所としても利用しています。

5 市大交流プラザ（いちょうの館）

YCU創立75周年記念事業のひとつとして、卒業生からの寄付金等をもとに建設。広く市民の方々や企業の皆様と学生、卒業生、教職員が相互に交流を深め、さまざまな情報を発信していく場として活用されています。

6 第2グラウンド

全面に人工芝が敷かれた多目的グラウンドとテニスのオムニコート3面からなる第2グラウンドでは、主に運動部が活動しています。週末には地域開放も行っており、市民の方々に広く利用されています。

7 保健管理センター

すべての学生、教職員の健康増進、疾病の予防や心身の不調等に、医師・保健師・看護師・臨床心理士が各キャンパスで対応しています。急なケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談だけでなく、人間関係や学業等さまざまな悩み・心配ごとの相談にも応じています。

8 シーガルセンター

約700席の食堂をはじめ、売店やホール、スタジオ、談話室等、学生生活を充実させるさまざまな施設が揃っています。

9 総合体育館

アリーナに加えて、空手・剣道場、柔道場、温水プール、トレーニングルームを備えた体育館です。学生の課外活動や、各種イベントに活用されています。

トレーニングルーム

温水プール

CAMPUS MAP

福浦キャンパス

大学附属病院と隣接。医療現場に近いキャンパス。

■ 医学部（2年次以上）

シーサイドラインの「市大医学部駅」とキャンパスが直結されたアクセスの良さ。
キャンパスは大学附属病院と隣接しており、
早くから医療現場を体験する事ができます。
また、サッカー、野球等が可能なグラウンドの他
テニスコートが3面、体育館、サークル棟を完備し、
充実した運動設備に恵まれています。

1 先端医科学研究センター

がんや生活習慣病等の克服に向けた最先端の医科学研究を行う共同実験施設等が整備され、その成果を市民に還元できるよう研究開発が行われます。

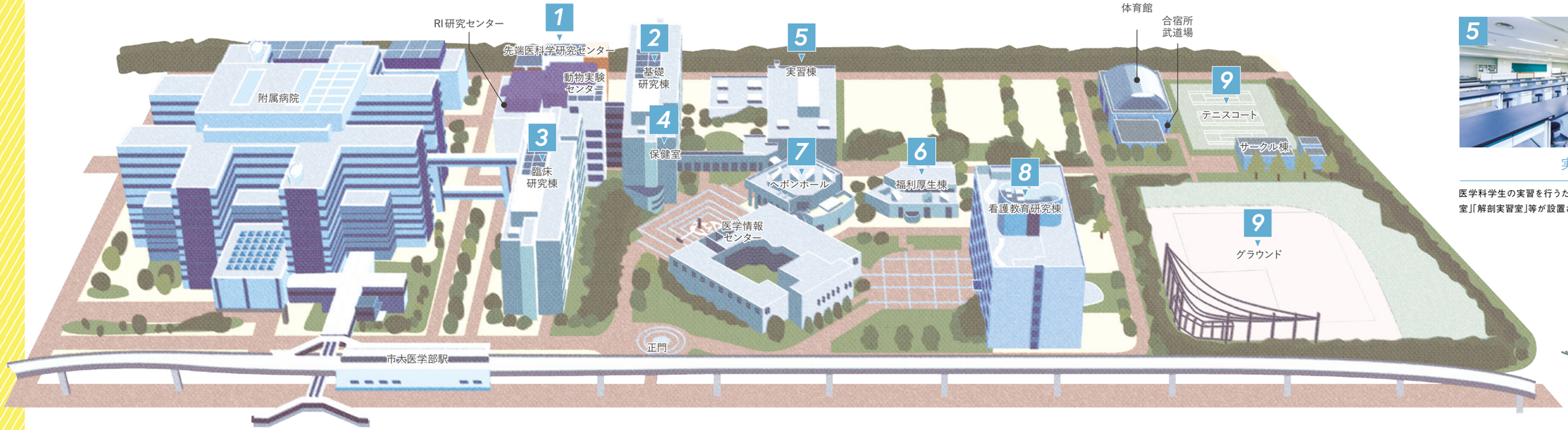
2 基礎研究棟

3 臨床研究棟

臨床医学・基礎医学を担当する教員の研究室があります。附属病院での診察と並行して、臨床・基礎分野での研究が行われています。

4 保健室

看護師が常駐しており、ケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談に応じています。



5 実習棟

医学科学生の実習を行うための施設。実習室は「組織実習室」「解剖実習室」等が設置されています。

6 福利厚生棟

カフェテリア方式の食堂をはじめ、購買では医学書・看護専門書や、日用雑貨、旅行取扱まで幅広く取り揃えています。

7 ヘボンホール（講義棟1F）

横浜近代医療の歴史は、アメリカ人のヘボン博士の横浜における開業医活動から始まりました。その功績を称える趣旨で医学科講義棟1Fの多目的ホールを「ヘボンホール」と名付けました。

8 看護教育研究棟

多くの講義室の他に、領域毎の看護学実習室があり、講義や演習をはじめさまざまな催しに利用されています。また、棟内にはラウンジがあり、ランチタイムや講義の合間にほっとひと息ついたり、おしゃべりしたりと楽しく過ごすスペースが用意されています。

9 テニスコート・グラウンド

キャンパス内には、テニスコートの他、グラウンド、体育館、武道場のスポーツ設備に加えて合宿所も整っています。

アクセス　シーサイドライン「市大医学部駅」直結。京浜急行線「金沢八景駅」より約10分

学費・奨学金

学費等

◆は毎年納入となります。（2023年度実績／単位：円）

学部・学科		国際教養学部・国際商学部		理学部・データサイエンス学部		医学部 医学部医学科		医学部 医学部看護学科	
項目＼入学金区分		市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外
学費	入学金	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000
	施設設備費（初年度のみ）	25,000	50,000	25,000	50,000	150,000	200,000	25,000	50,000
	授業料 ※2 ◆	557,400		557,400		573,000		557,400	
	実験実習費（2年次以降）※2 ◆	—		16,700		35,000		16,700	
諸会費	学術研究会会費	2,000		2,000		2,000		2,000	
	後援会会費	50,000		50,000		50,000		50,000	
	進交会（同窓会）入会費	5,000		5,000		5,000		5,000	
	自治会入会費	3,000		3,000		3,000		3,000	
	自治会会費	12,000		12,000		18,000		12,000	
	倶進会会費	—		—		30,000（6年分）		—	
保険料 ※5	学生教育研究災害傷害保険 保険料 ※3	3,300（4年間）		3,300（4年間）		4,800（6年間）		—	
	学生教育研究災害傷害保険 付帯学生生活総合保険 保険料 ※4	補償内容により 36,790～80,310（4年間）		補償内容により 36,790～80,310（4年間）		59,310～（6年間）［一人暮らし学生用］ 51,050～（6年間）［自宅学生用］		—	
	日本看護学校協議会共済会 保険料	—		—		—		7,000（1年間）	
生活協同組合出資金 ※6		30,000		30,000		30,000		30,000	
初年度納付金合計 ※7		795,400	961,400	795,400	961,400	972,000	1,163,000	795,400	961,400
入学時納付金合計 ※8		238,000	404,000	238,000	404,000	399,000	590,000	238,000	404,000

※1.入学金区分の「市内」とは、入学の日の1年以上前（2023年4月1日）から引き続き本人またはその扶養義務者が横浜市内に住民票上の住所を有する場合に該当します。
※2.本学入学後に授業料・実験実習費が改定された場合は、改定後の授業料・実験実習費が適用されます。なお、授業料は分納（5月・10月）です。
※3.被保険者が正課、学校行事、学内での課外活動、届出した学外での課外活動中に傷害を受けた場合に対象となります。
　任意加入ですが、授業等で実習を行う場合、受入先から加入を求められる場合があります。（理学部のみ加入必須）
※4.学校の内外を問わず、学生自身のケガの他、他人に対する賠償事故や臨床実習中における事故等を補償します。
※5.保険料は入学後のお支払いとなります。
※6.生活協同組合に加入する際は、出資金が必要です。（出資金は、卒業または退学時に返還されます）
※7.「初年度納付金合計」は、保険料、生活協同組合出資金、実験実習費を除いた合計額です。
※8.「入学時納付金合計」は、入学金・施設設備費・諸会費の合計金額です。

諸会費とは

YCUでは、入学者の皆さんに学生生活の充実、福利厚生の向上、教育・研究活動の援助を目的とした活動を行う各団体（学術研究会、後援会、進交会、自治会）への加入をお願いしています。
加入すると、各団体が行っているさまざまな支援（課外活動、就職関係、資格取得関係、留学関係、研究関係等）を受ける事ができます。
また、キャンパス内へのベンチの設置や学内のICT環境の整備等も後援会の助成により行われています。

奨学金

● 高等教育の修学支援新制度

2020年度から、文部科学省による給付型奨学金と授業料減免がセットになった「高等教育の修学支援新制度」が始まりました。
本学は対象校として認定されています（2023年3月現在）。
※日本学生支援機構の給付奨学金の予約採用候補者となっている方については、入学金等の納付期限猶予の手続きができます。

● 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構（旧日本育英会）が行う貸与型の奨学金です。
無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、それぞれ貸与の条件・月額が異なります。詳細は日本学生支援機構のWebサイトをご確認ください。申請方法は高等学校等在学中の「予約採用」と、大学入学後の「在学定期採用」、家計が急変した場合の「緊急・応急採用」の三種類があり、申請後は家計基準・成績基準により審査が行われ、貸与の可否が決定されます。

〔日本学生支援機構Webサイト〕

● 各種団体奨学金

地方自治体や財団法人等各種団体が、学業・人物共に優秀で経済支援が必要な方を対象に、給付または貸与する奨学金です。
申請要件・募集時期は奨学金ごとに異なりますので、本学Webサイト及び各種自治体・財団のWebサイトをご確認ください。
［過去に採用実績のある主な奨学金］
〈学部生〉小原白梅育英基金、樫山奨学財団、佐藤奨学会等
〈大学院生〉吉田育英会マスター21、萬谷記念かながわ奨学基金、松尾金藏記念奨学基金等

〔本学Webサイト（各種団体奨学金）〕

在学中に家計が急変した際の本学独自の救済制度

● 緊急応急対応型授業料減免

主たる生計維持者の死亡、疾病、失業や学生の実家や自宅が災害等により著しい損壊を受けた事により、経済的困窮に陥った場合に半期の授業料が免除される制度です。

● 災害見舞金

火災・地震・風水害により著しい被害を受けた学生に対しては、所定の審査の上、100,000円を限度（被害の程度により異なる）とした災害見舞金を給付します。
申請期限は事由発生後60日以内です。

YCUの最新情報

二つの大学祭で《YCU》の雰囲気を楽しんでください。
またYCUでは、受験生はもちろん、高校1･2年生、保護者の皆様に向けたさまざまな情報発信を行っています。

※オープンキャンパス・進学相談会の日程については、大学Webサイト等で随時、情報発信しますのでご確認ください。

■大学祭

浜大祭　11/4(土)5(日)
▶金沢八景キャンパス

Yokohama Medical Festival　11/18(土)19(日)
▶福浦キャンパス

※開催日程は決まっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止やオンライン開催となる可能性があります。

■WEBサイト

受験生ポータルサイト

入試やイベント情報など、受験生の気になる情報を一つのサイトにまとめました。

詳しくは WEBで

受験生のためのWEBマガジン　ヨコ知り！

現役の学生や卒業生、先生たちの生き生きとした姿を、記事や動画でご覧ください。

詳しくは ヨコ知り！

■進学説明会・ガイダンス

全国各地で行われる進学相談会等（入試相談会）に参加します。本学 WEB サイトで最新情報を確認してください。

詳しくは WEBで

■アドミッションズセンター　Instagramアカウント

ID：ycu_admi2055
URL：https://www.instagram.com/ycu_admi2055/

■SNSで最新情報を発信

Twitter、Instagram、Facebook、LINE、YouTubeでさまざまなYCU情報を発信中。アカウントをフォローして、YCUをもっと知ろう!

Twitter公式アカウント	Instagram公式アカウント	Facebook公式アカウント	LINE公式アカウント	YouTube公式アカウント
ID：@YCU_koho アカウント名：横浜市立大学 https://twitter.com/YCU_koho	ID：yokohama_city_university https://www.instagram.com/yokohama_city_university/	ID：YokohamaCityUniv アカウント名：YCU横浜市立大学 https://www.facebook.com/YokohamaCityUniv	ID：@yokoichi アカウント名：横浜市立大学 https://page.line.me/yokoichi	ID：YokohamaCityUniv https://www.youtube.com/YokohamaCityUniv

スマホ･ケータイで

YCUの各種情報をチェック！

「がんばれ国公立大学受験生!!」サイトから、入試をはじめとする本学の情報を見る事ができます。
メールマガジンの登録をすれば、本学からのお知らせが自動的に配信されます。
情報サイトの利用料もメールマガジンの登録料も無料（通信料は除く）です。ぜひご利用ください！

http://ycu.jp/

各種資料の請求方法

テレメールで請求する

願書・資料の請求方法 テレメール インターネットでご請求ください。

1 テレメールにアクセスしてください

パソコン・スマホ・ケータイなら https://telemail.jp/

2 ご希望の資料を選択してください

資　料　名	資料請求番号	発送開始予定
入学者選抜要項	582620	7月上旬
総合型選抜募集要項	582610	7月下旬
海外帰国生/国際バカロレア【医学部以外】/科学オリンピック特別選抜募集要項	542630	7月下旬
外国人留学生特別選抜募集要項	582590	7月下旬

資　料　名	資料請求番号	発送開始予定
社会人特別選抜募集要項	586270	7月下旬
国際バカロレア【医学科】/特別公募制学校推薦型選抜【医学科】募集要項	953400	9月下旬
国際バカロレア【看護学科】/特別公募制学校推薦型選抜【看護学科】募集要項	762740	9月下旬
一般選抜第2次試験問題･解説集	562580	9月下旬

※料金はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後1週間以内に表示料金をお支払いください。
支払い方法は「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay、PayPay、au PAY）」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒のお支払い）」「クレジットカード払い」がご利用になれます。
なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（ケータイ払い、クレジットカード払いは30円。コンビニ支払い、スマホアプリの請求書支払いは118円。
料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
※一般選抜・公募制学校推薦型選抜の募集要項については大学Webサイトでご確認ください。（インターネット出願に伴い、冊子体の発行は行っていません）

3 ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください

※テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。
※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

4 資料が届きます

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
※予約受付の資料を除き、通常、発送日からおおむね3～5日で資料が届きます。
ただし土曜・日曜・祝日の配達はありません。地域、郵便事情によっては1週間程かかる場合もあります。また発送開始日が変更になる可能性もあります。

「モバっちょ」で請求する

スマホ・ケータイ・パソコンから請求できます。
下記URLにアクセスするか、スマホ・ケータイで右のQRコードを読み取ってください。

資料請求サイト DJC モバっちょ https://djc-mb.jp/yokohama-cu2/

「モバっちょ」

◇入学者選抜要項・各種学生募集要項：各250円

〈料金の支払い方法〉

請求時払い	携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途50円必要です。） ※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払できない場合があります。その場合は、コンビニ後払いを選択してください。
後払い	資料到着後、コンビニでお支払いください。（支払手数料は別途126円必要です。）
「モバっちょ」での請求方法についてのお問合せ先	大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター　☎ 050-3540-5005（平日10:00～18:00）

「LINE」で請求する

LINEから資料を請求できます。※スマートフォン限定サービスです。

直接受け取る

金沢八景キャンパス正門守衛所にて、募集要項等各種案内書を２４時間受け取る事ができます。
※配布開始日はテレメールの発送開始に準じます。